

富山県
人々のつながりに関する基礎調査
調査結果報告書

令和6年3月
富山県

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査の実施概要	1
3 調査事項	1
4 調査結果を見る上での注意事項	2
第2章 調査結果の概要	3
1 孤独の把握方法・状況	5
2 孤独の状況（全国調査との比較）	6
3 孤独の状況（性年代別）	7
4 孤独の状況（地域別）	8
5 孤独の状況（不安や悩みの相談相手の有無別）	9
6 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合に対する主な属性別の結果	10
7 孤独の状況：現在の孤独感に影響を与えたと思う出来事	12
8 孤立の把握方法・状況	13
9 相談の状況（不安や悩みを相談する際の感情）	18
10 相談の状況（行政機関やNPO等の民間団体からの支援の状況）	19
第3章 調査結果の詳細	21
(1) 年齢	23
(2) 性別	23
(3) 地域	23
(4) 婚姻状況	24
(5) 世帯構成	24
(6) 子の有無	24
(7) 子の年齢	25
(8) 同居人数	25
(9) 最終学歴	25
(10) 職業	26
(11) 住まい	26
(12) 世帯年収	27
(13) 現在の暮らし向き	27
(14) コミュニケーションツールの利用状況	28
(15) 外出頻度	29
(16) 外出目的	30
(17) 行動範囲	31

(18)	コミュニケーション手段や頻度	32
(19)	社会参加の状況	36
(20)	困ったときに頼れる人の有無	37
(21)	困ったときに頼る相手の種類	38
(22)	相談相手の有無	39
(23)	相談相手の種類	40
(24)	不安や悩みを相談する際の感情	41
(25)	不安や悩みの有無	42
(26)	不安や悩みの内容	43
(27)	問題解決のための手助けの有無	44
(28)	不安や悩みに対する行政やNPO等からの支援の有無	45
(29)	支援者の属性	46
(30)	支援内容	46
(31)	支援先を選んだ理由	47
(32)	支援先を知ったきっかけ	47
(33)	支援を受けた結果	48
(34)	支援を受けていない場合の理由	48
(35)	他者へのサポート意識	49
(36)	手助けをしようと思わない理由	50
(37)	人とのつきあいがないと感じる事	51
(38)	取り残されていると感じる事	52
(39)	孤立していると感じる事	53
(40)	UCLA孤独感尺度(間接質問)	54
(41)	孤独感(直接質問)	54
(42)	孤独感の継続期間	66
(43)	これまでに経験したライフイベント	67
(44)	これまでに経験したライフイベント(孤独感に影響を与えた出来事)	68
(45)	孤独・孤立が解消したきっかけ	70
(46)	心身の健康状態	74
(47)	生活への満足度	75
(48)	新型コロナ感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況	76
(49)	新型コロナ感染拡大による生活の変化の状況	78
(50)	孤独・孤立状態にある方への支援	82

資料編(調査票)	85
----------	----

第1章 調査の概要

1 調査目的

富山県における孤独・孤立の実態を把握し、関連行政諸施策の基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2 調査の実施概要

(1)調査の名称

人々のつながりに関する基礎調査

(2)調査の対象

富山県に居住する16歳以上の個人 2,000人

(3)調査の方法

Webモニター調査

(4)調査期間

令和5年10月12日（木）～令和5年10月22日（日）

3 調査事項

(1)孤独に関する事項

孤独感（UCLA孤独感尺度・直接質問）、継続期間、これまでに経験・孤独感に強く影響を与えたライフイベント（家族との離別・死別、人間関係の重大なトラブル等）

(2)孤立に関する事項

外出頻度、外出目的、行動範囲、社会的交流（家族・友人とのコミュニケーション手段や頻度）、活動への参加状況

(3)その他関連事項

コミュニケーションツールの利用状況、困った時に頼れる人、不安や悩みの相談相手の有無、不安や悩みを相談する際の感情、日常生活における悩みの状況、まわりの人への手助け、心身の健康状態、生活満足度、コロナ禍におけるコミュニケーションの変化・生活の変化、孤独・孤立解消のきっかけ、孤独・孤立状態にある方への支援で必要なこと

(4)属性事項

年齢、性別、市町村、婚姻状況、世帯状況、同居する子の有無・子の年齢、同居人の数、学歴、就業状態、居住形態、世帯の年間収入、経済的な暮らし向き

4 調査結果を見る上での注意事項

- ①本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ②百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ③複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合があります。
- ④本文、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ⑤回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- ⑥本文中では、調査結果の数値は「％」、比較によるパーセントの差は「ポイント」という単位で表記をしています。
- ⑦本書では、「令和4年人々のつながりに関する基礎調査結果」（内閣官房・郵送調査）を一部引用しています。

第2章 調査結果の概要

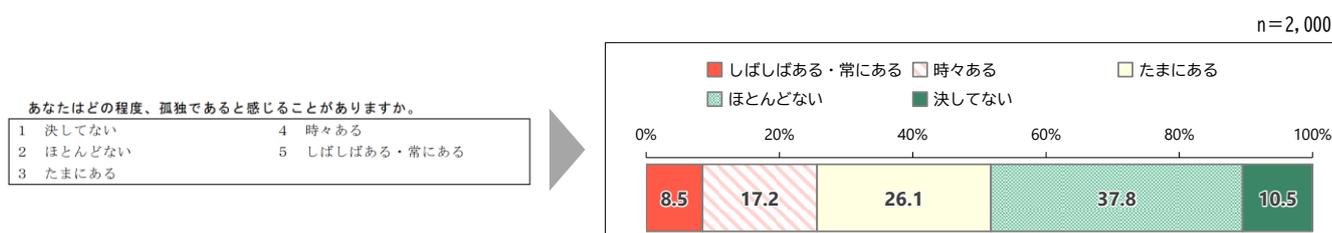
1 孤独の把握方法・状況

孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、この調査では、以下の2種類の質問により孤独感を把握した。

① 直接質問

直接的に孤独感を質問。直接質問の結果、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は8.5%、「時々ある」が17.2%、「たまにある」が26.1%であった。一方、孤独感が「ほとんどない」と回答した人は37.8%、「決してない」が10.5%であった。

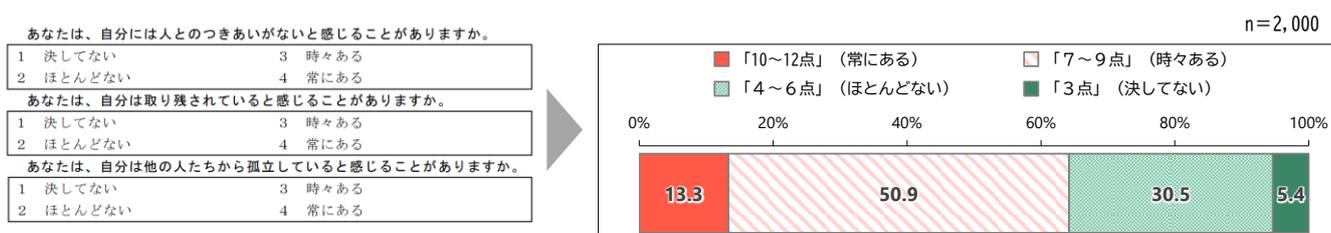
<図表 全体（直接質問）>



② 間接質問

孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定する「UCLA孤独感尺度」に基づく質問。3つの設問への回答を点数化し、その合計スコア（本調査では最低点3点～最高点12点）が高いほど孤独感が高いと評価。間接質問の結果、合計スコアが「10～12点」の人が13.3%、「7～9点」の人が50.9%であった。一方、「4～6点」の人が30.5%、「3点」の人が5.4%であった。

<図表 全体（間接質問）>



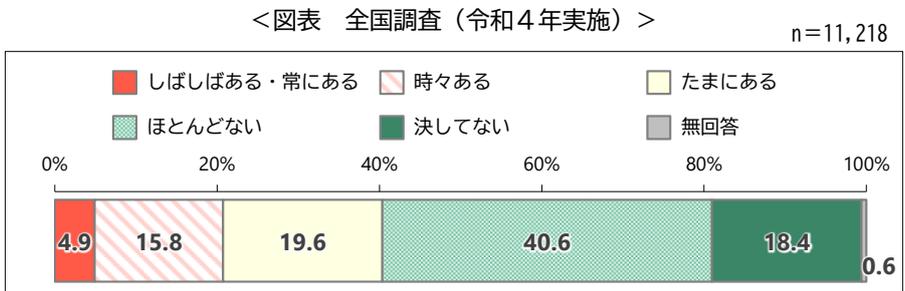
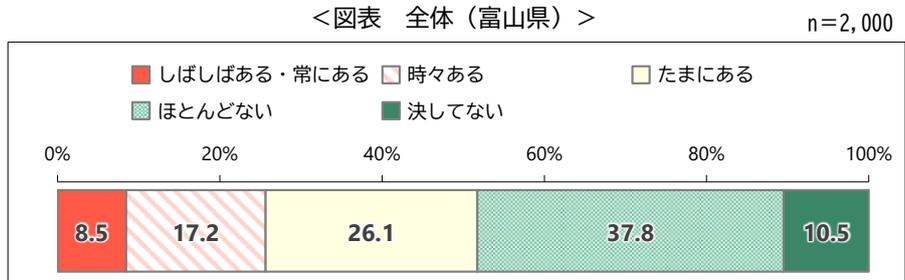
(参考) UCLA孤独感尺度

カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）の研究者が孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定しようと考案したもの。本調査では上記の3項目の設問について、それぞれ4つの回答選択肢（4件法）を設定。「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点とし、その合計スコアにより孤独感の高さを測定。なお、調査によって尺度がアレンジされることがあり、英国では「しばしばある」（3点）、「時々ある」（2点）、「ほとんど・決してない」（1点）の3つの回答選択肢（3件法）を設定。

2 孤独の状況（全国調査との比較）

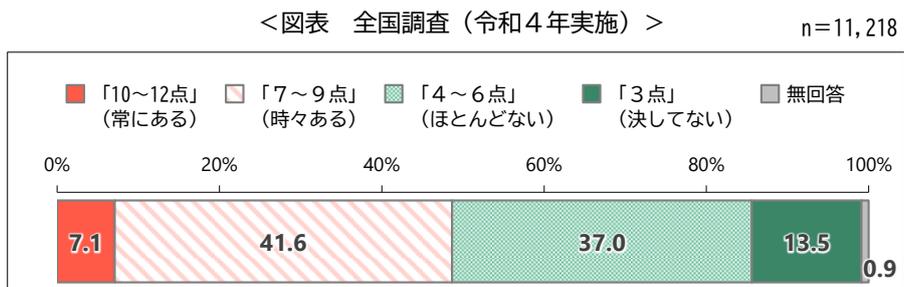
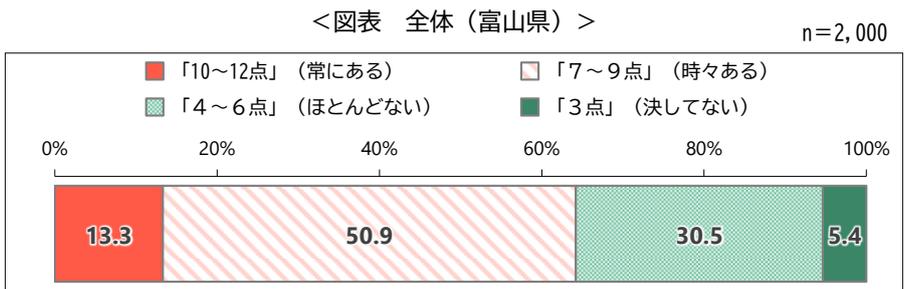
① 直接質問

直接質問を全国調査（令和4年実施）と比較した結果、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、県の方がやや上回る。（県調査8.5%、全国調査4.9%）



② 間接質問

間接質問を全国調査（令和4年実施）と比較した結果、合計スコアが「10～12点」の人は、県の方がやや上回る。（県調査13.3%、全国調査7.1%）

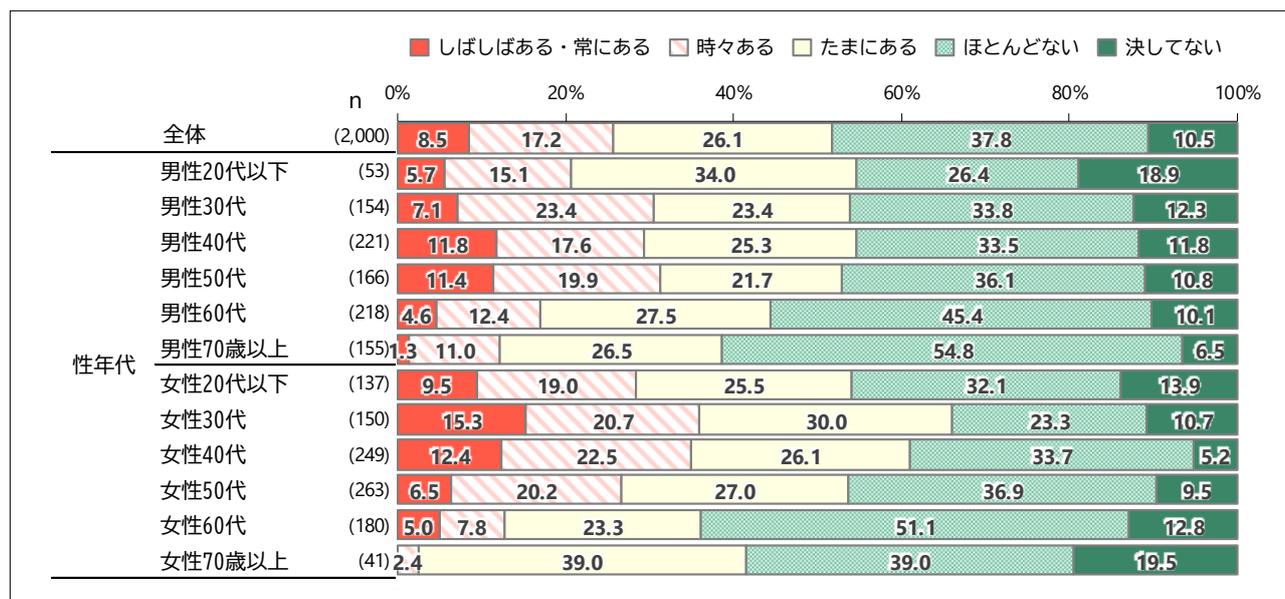


3 孤独の状況（性年代別）

① 直接質問

孤独感（直接質問）を性年代別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性では40代（11.8%）、女性では30代（15.3%）が最も多い。一方、「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男女ともに70歳以上で最も少なくなっている。

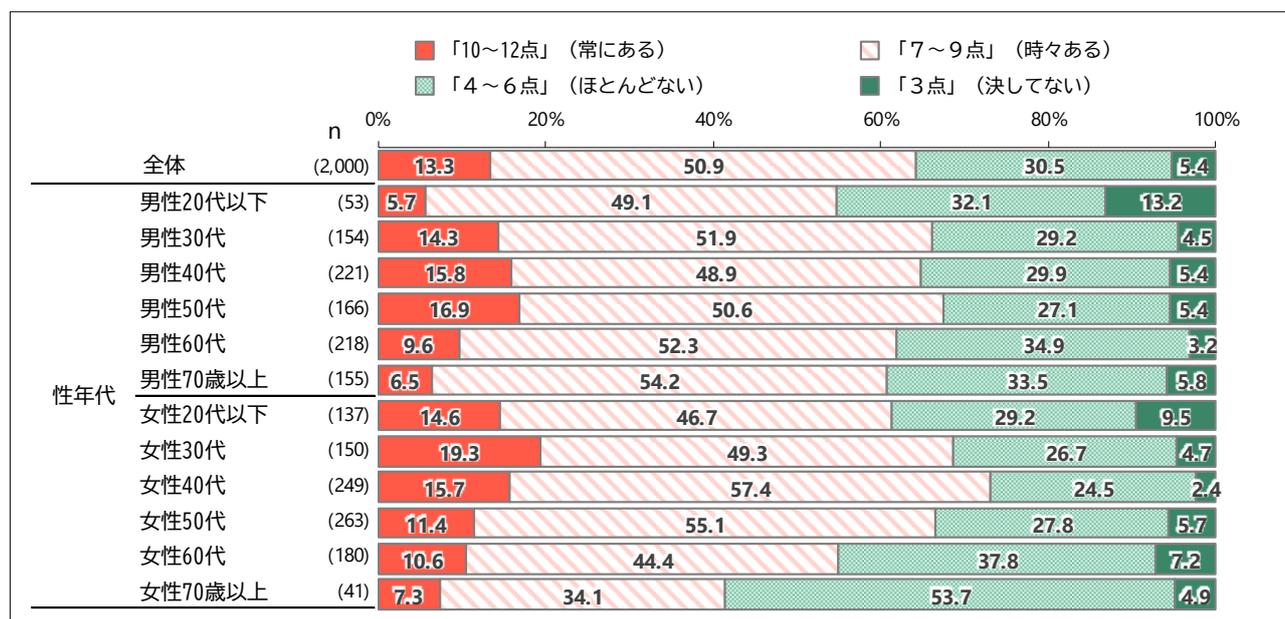
<図表 全体、性年代別（直接質問）>



② 間接質問

孤独感（間接質問）を性年代別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、男性では50代（16.9%）、女性では30代（19.3%）が最も多い。また、男性は30代～50代、女性は20代～40代で孤独感が高い傾向となっている。

<図表 全体、性年代別（間接質問）>

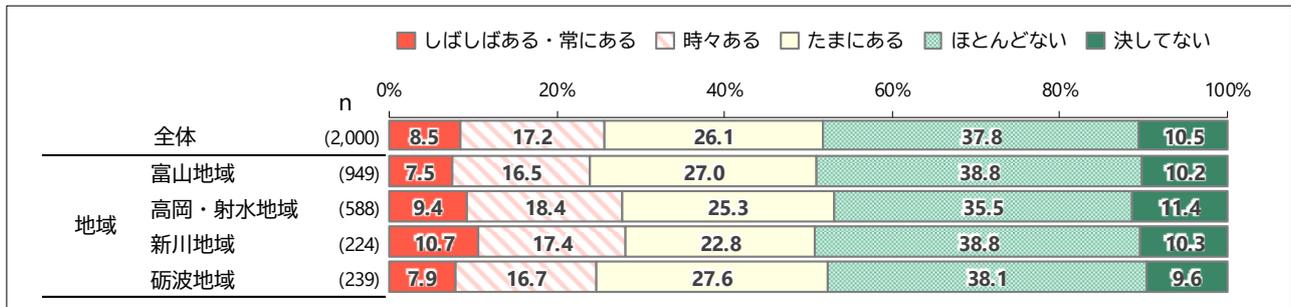


4 孤独の状況（地域別）

① 直接質問

孤独感（直接質問）を地域別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、新川地域（10.7%）で約1割とやや多い。

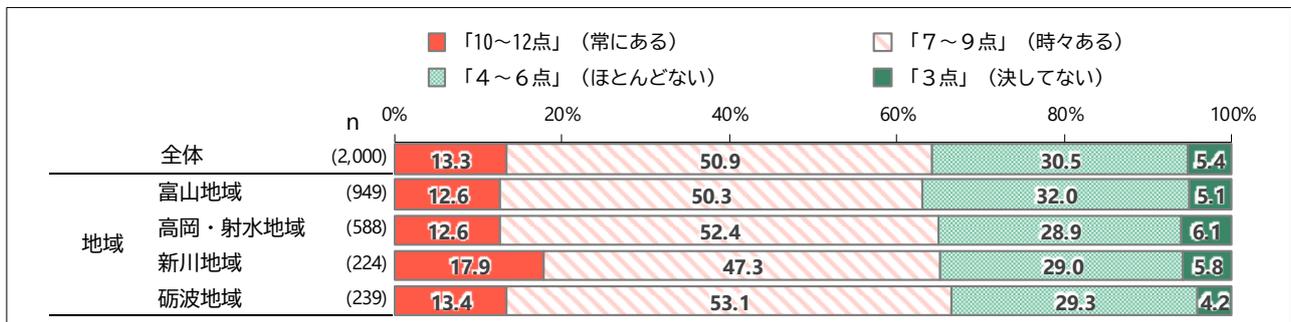
<図表 全体、地域別（直接質問）>



② 間接質問

孤独感（間接質問）を地域別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、新川地域（17.9%）で2割弱と最も多くなっている。

<図表 全体、地域別（間接質問）>

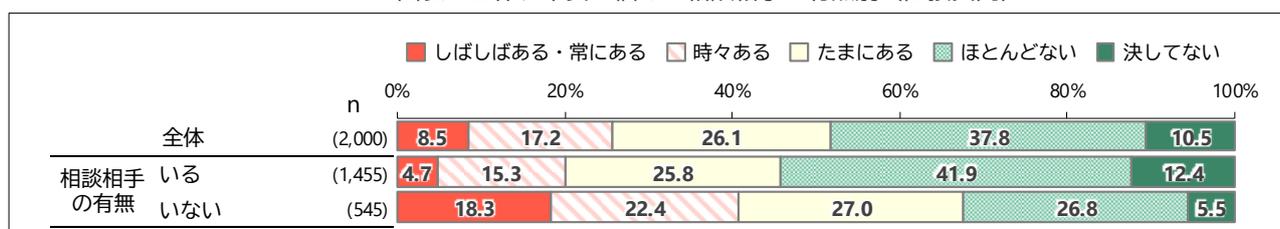


5 孤独の状況（不安や悩みの相談相手の有無別）

① 直接質問

孤独感（直接質問）を不安や悩みの相談相手の有無別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手がいる人が4.7%、相談相手がない人が18.3%となっている。

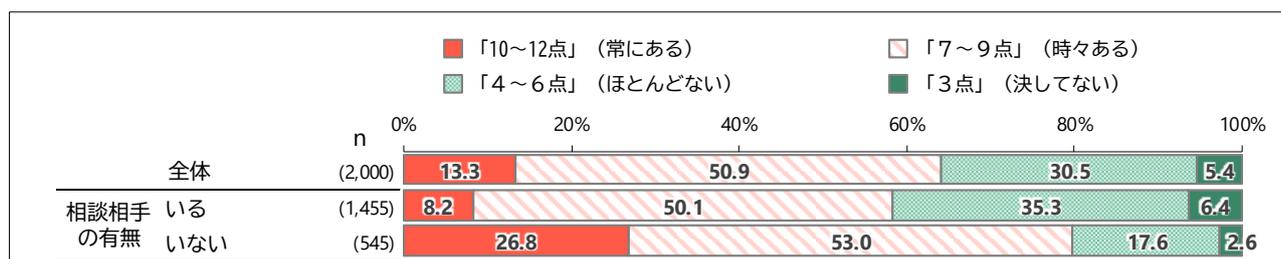
<図表 全体、不安や悩みの相談相手の有無別（直接質問）>



② 間接質問

孤独感（間接質問）を不安や悩みの相談相手の有無別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、相談相手がいる人が8.2%、相談相手がない人が26.8%となっている。

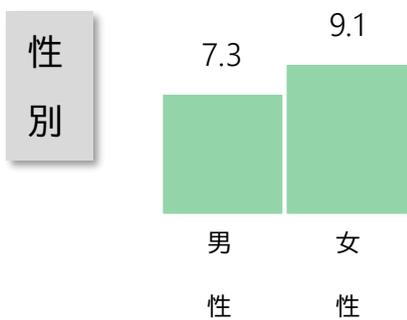
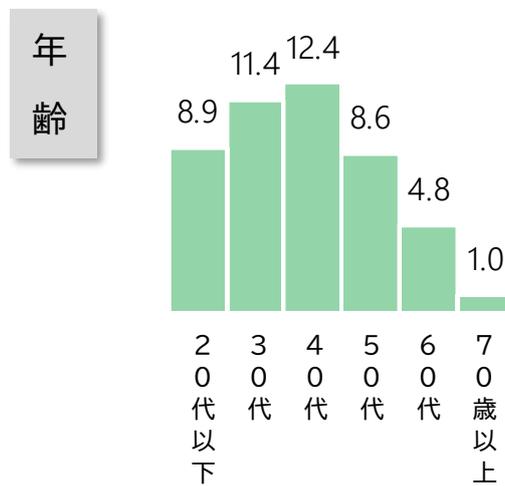
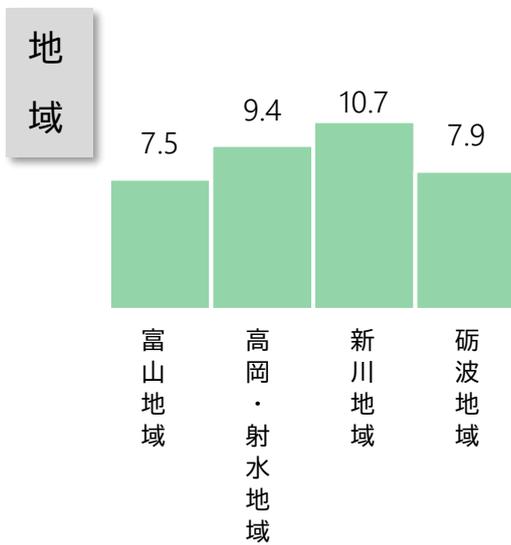
<図表 全体、不安や悩みの相談相手の有無別（間接質問）>

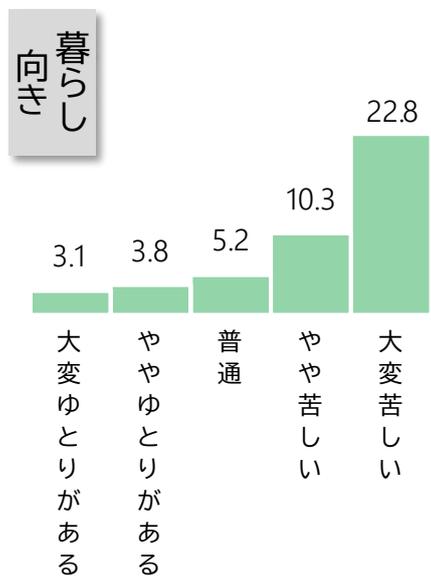
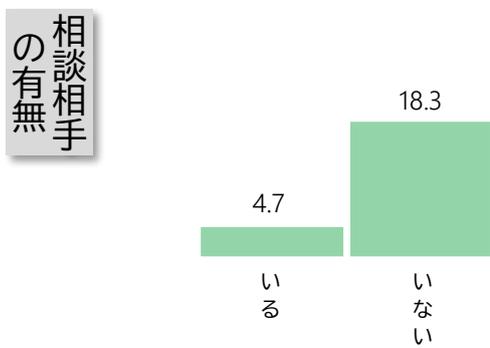
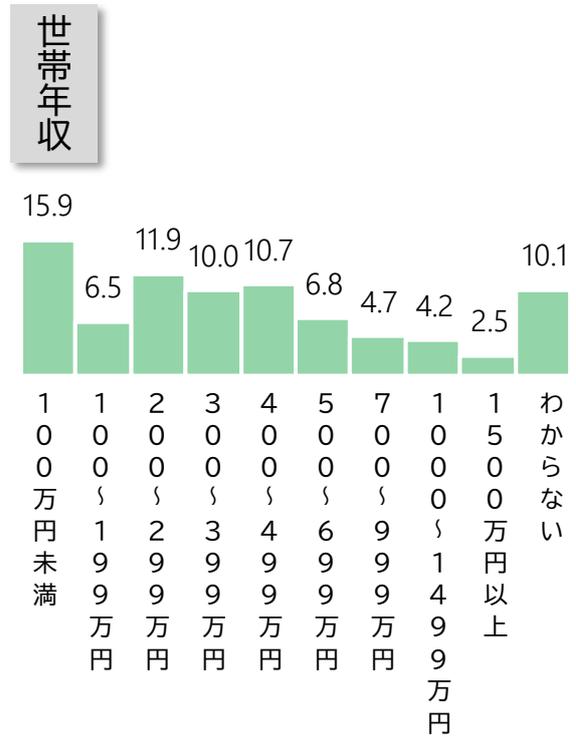
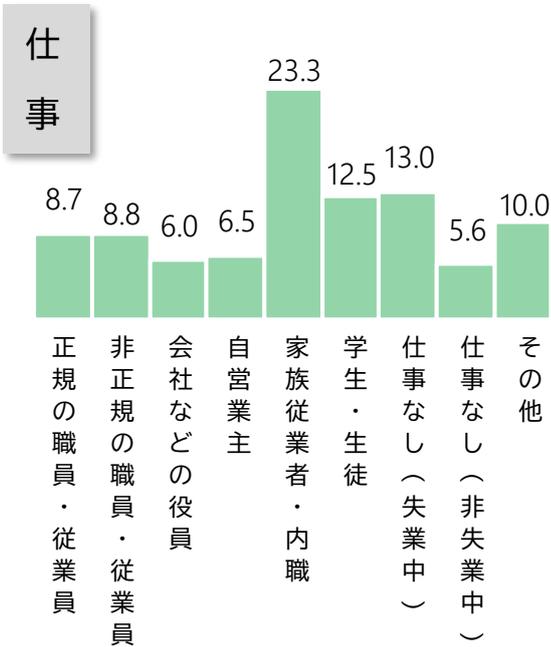
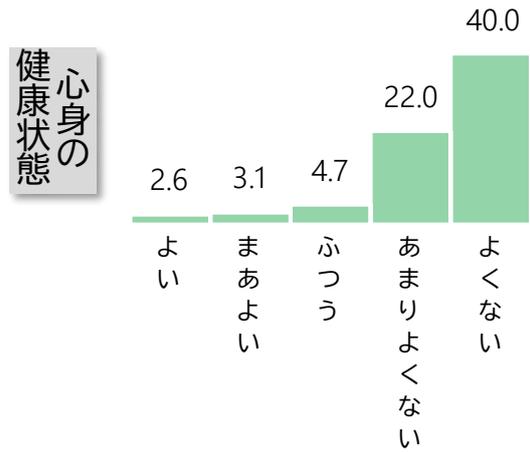
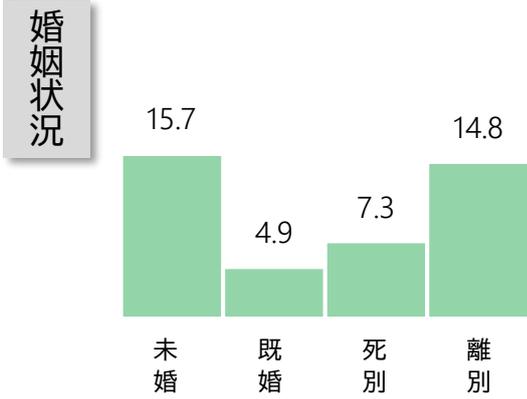


6 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合に対する主な属性別の結果



しばしばある・常にある	8.5%
時々ある	17.2%
たまにある	26.1%
ほとんどない	37.8%
決してない	10.5%





7 孤独の状況：現在の孤独感に影響を与えたと思う出来事

これまでに経験したライフイベント（孤独感に影響を与えた出来事）を孤独感（間接・直接質問）別でみると、孤独感（間接質問）の孤独感スコア「10～12点」においては、「心身の重大なトラブル（病気・怪我等）」が最も多く、孤独感（直接質問）の「しばしばある・常にある」においては、「人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）」が最も多くなっている。

<図表 全体、孤独感（間接・直接質問）別>

		n	一人暮らし	転居	（転校・転職・離職・退職 （失業を除く）	（失業・休職・退学・休学 （中退・不登校を含む）	妊娠・出産・子育て	介護・介助	子どもの独り立ち	家族の病気・障害	家族との離別	家族との死別
全体		1,908	10.6	4.9	8.4	4.7	5.8	3.1	2.7	5.5	3.4	11.8
孤独感 （間接質問）	「10～12点」（常にある）	252	11.9	5.6	10.3	7.9	2.8	4.8	1.2	6.7	3.2	7.9
	「7～9点」（時々ある）	978	11.0	5.1	10.2	6.2	6.2	3.3	3.2	5.3	3.4	11.3
	「4～6点」（ほとんどない）	578	8.7	4.3	5.0	1.4	6.1	2.2	2.4	5.4	3.6	13.8
	「3点」（決してない）	100	14.0	5.0	6.0	1.0	7.0	3.0	4.0	4.0	3.0	15.0
孤独感 （直接質問）	しばしばある・常にある	160	11.3	6.3	10.0	7.5	3.1	3.8	1.3	4.4	5.6	11.9
	時々ある	329	11.9	4.0	13.1	7.6	5.8	5.2	2.4	7.3	4.9	10.0
	たまにある	504	11.9	6.3	9.7	6.7	6.9	3.8	3.0	5.4	4.2	12.5
	ほとんどない 決してない	714 201	9.5 8.5	4.3 4.0	6.0 5.0	2.4 1.0	5.5 6.0	1.8 2.5	2.8 3.5	5.5 3.5	2.0 2.5	11.6 13.9

		n	と家族以外の親しい知人等	（家族内の別居・DV・虐待を含む）	心身の重大なトラブル （病気・怪我等）	仕事上（職場）の重大なトラブル	人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）	金銭による重大なトラブル	生活困窮・貧困	自然災害の被災・犯罪の被害等	その他の出来事	特に影響を与えなかったと思われる出来事
全体		1,908	2.9	4.0	7.9	3.6	7.3	3.2	2.4	0.5	0.2	40.1
孤独感 （間接質問）	「10～12点」（常にある）	252	2.4	8.3	18.3	7.5	17.5	4.8	8.3	2.0	-	29.4
	「7～9点」（時々ある）	978	2.2	3.7	7.2	3.9	7.9	3.4	1.8	0.3	0.3	35.3
	「4～6点」（ほとんどない）	578	4.3	3.1	5.2	1.7	2.9	2.2	1.0	0.2	-	51.6
	「3点」（決してない）	100	3.0	2.0	4.0	2.0	2.0	4.0	1.0	-	1.0	49.0
孤独感 （直接質問）	しばしばある・常にある	160	2.5	10.6	18.8	7.5	21.3	3.8	8.8	1.3	-	25.6
	時々ある	329	2.7	4.9	12.8	6.1	11.2	5.2	4.6	0.9	0.3	27.1
	たまにある	504	2.8	3.4	6.5	3.8	7.7	3.6	2.0	0.4	0.4	34.1
	ほとんどない 決してない	714 201	3.4 2.5	3.4 1.5	5.3 3.5	2.2 1.0	3.5 2.5	2.1 3.0	0.8 0.5	0.3 -	0.1 -	49.3 55.7

8 孤立の把握方法・状況

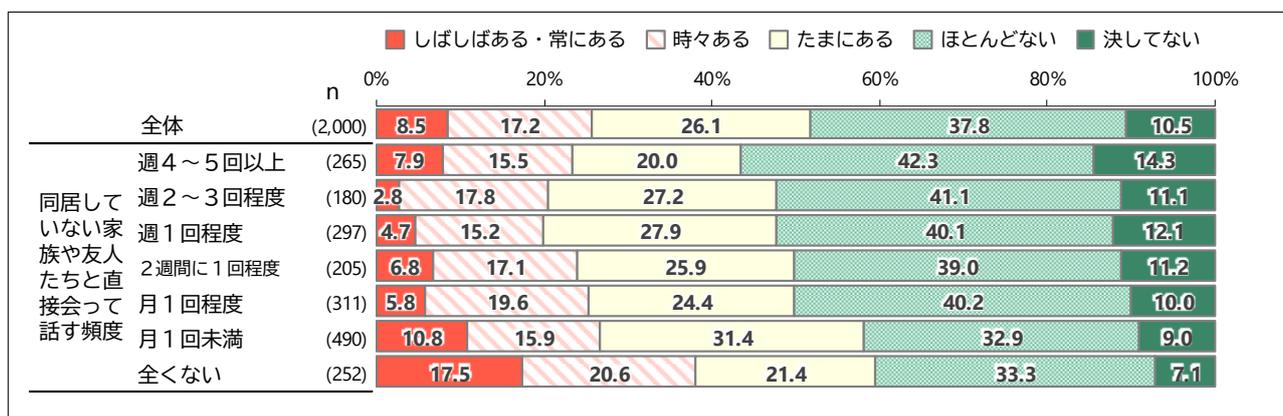
孤立については、国内の先行研究などを参考に①家族・友人等とのコミュニケーション頻度（社会的交流）、②社会活動への参加状況（社会参加）、③不安や悩みに対する行政やNPO等からの支援の有無（社会的サポート（他者からの支援））、④他者へのサポート意識（社会的サポート（他者への手助け））の状況から把握。

① 家族・友人等とのコミュニケーション頻度（社会的交流）

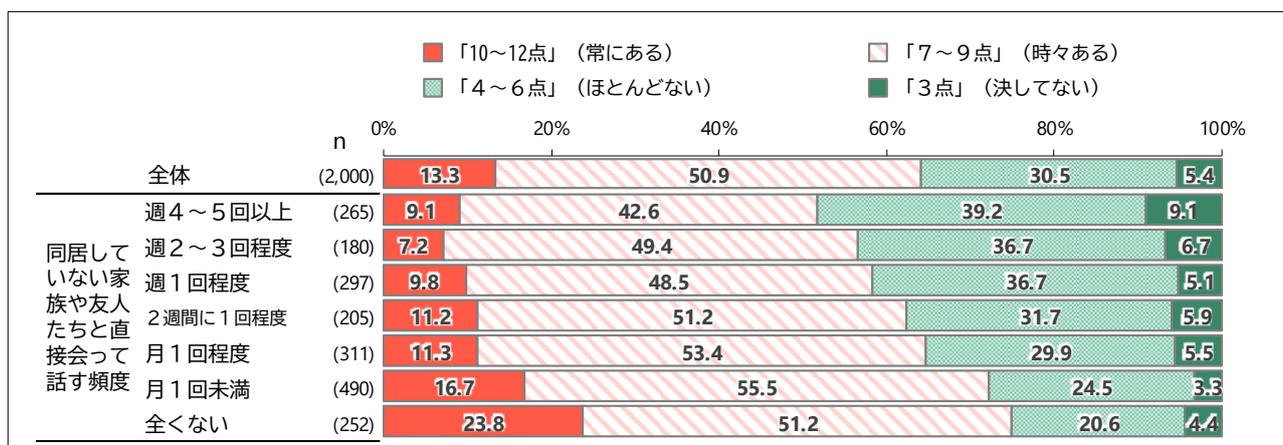
同居していない家族や友人たちと直接会って話すことが全くない人の割合が12.6%となっている。

同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別にみると、会う頻度が少なくなるほど、概ね、孤独感（直接質問）の「しばしばある・常にある」と回答した人の割合、孤独感（間接質問）の孤独感スコアが「10～12点」の人の割合が高くなっている。

<図表 全体、同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別（直接質問）>



<図表 全体、同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別（間接質問）>



② 社会活動への参加状況（社会参加）

社会参加の状況は、「特に参加はしていない」が56.1%と最も多く、次いで「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）」が25.1%、「PTA・自治会・町内会などの活動」が23.8%となっている。

性年代別でみると、「特に参加はしていない」は、男女20代以下で7割台と多くなっている。

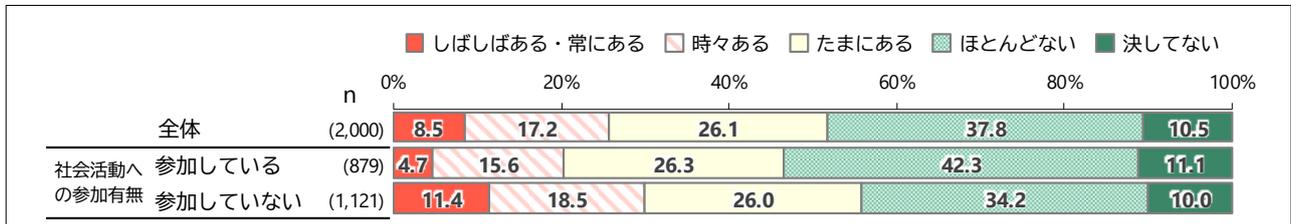
<図表 全体、性年代別>

		n	PTA・自治会・町内会などの活動	子ども・障害者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動	上記以外のボランティア活動	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）	その他の活動（宗教や信仰上の活動など）	特に参加はしていない
全体		2,000	23.8	3.7	4.0	25.1	4.3	56.1
性年代	男性20代以下	53	9.4	3.8	3.8	17.0	-	71.7
	男性30代	154	22.1	7.1	1.9	26.0	3.2	57.1
	男性40代	221	29.0	4.1	6.8	26.2	4.1	50.7
	男性50代	166	28.3	3.0	3.6	31.3	3.6	50.6
	男性60代	218	36.2	1.4	6.0	24.3	8.3	49.5
	男性70歳以上	155	41.3	2.6	7.1	36.8	9.7	38.1
	女性20代以下	137	2.9	2.2	3.6	21.2	3.6	71.5
	女性30代	150	15.3	4.0	1.3	15.3	2.7	69.3
	女性40代	249	25.3	3.2	2.0	22.5	1.6	55.4
	女性50代	263	17.5	3.4	2.3	21.3	3.0	63.9
女性60代	180	17.8	6.1	3.9	28.9	5.0	53.9	
女性70歳以上	41	29.3	4.9	7.3	31.7	4.9	48.8	

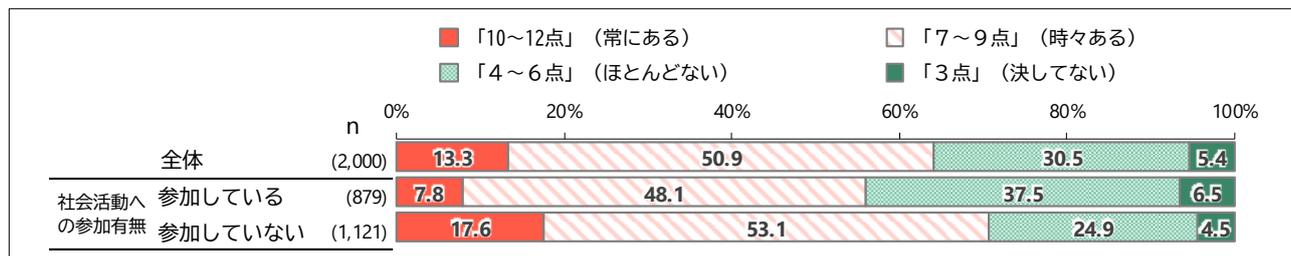
孤独感（直接質問）を社会活動への参加有無別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、社会活動に参加している人が4.7%、参加していない人が11.4%となっている。

孤独感（間接質問）を社会活動への参加有無別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、社会活動に参加している人が7.8%、参加していない人が17.6%となっている。

<図表 全体、社会活動への参加有無別（直接質問）>



<図表 全体、社会活動への参加有無別（間接質問）>

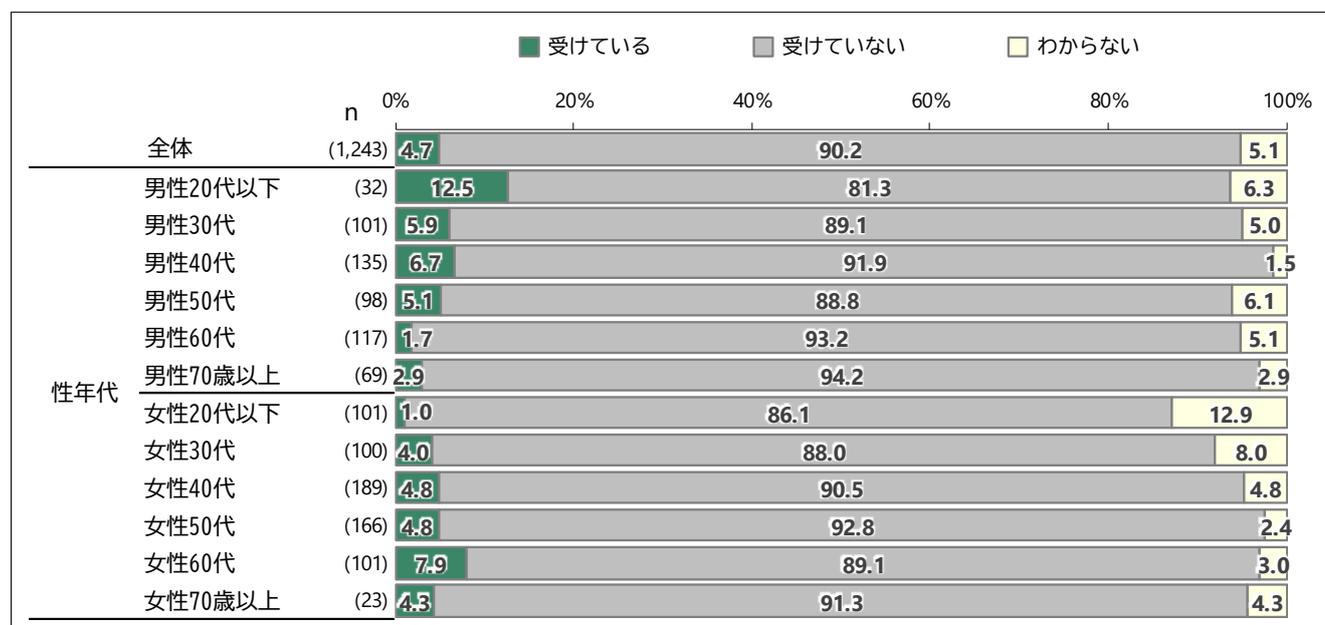


③ 不安や悩みに対する行政やNPO等からの支援の有無（社会的サポート（他者からの支援））

不安や悩みに対する行政やNPO等からの支援の有無は、「受けていない」（90.2%）が9割以上を占め、「受けている」は4.7%にとどまる。

性年代別でみると、「受けている」は男性20代以下で多くなっている。

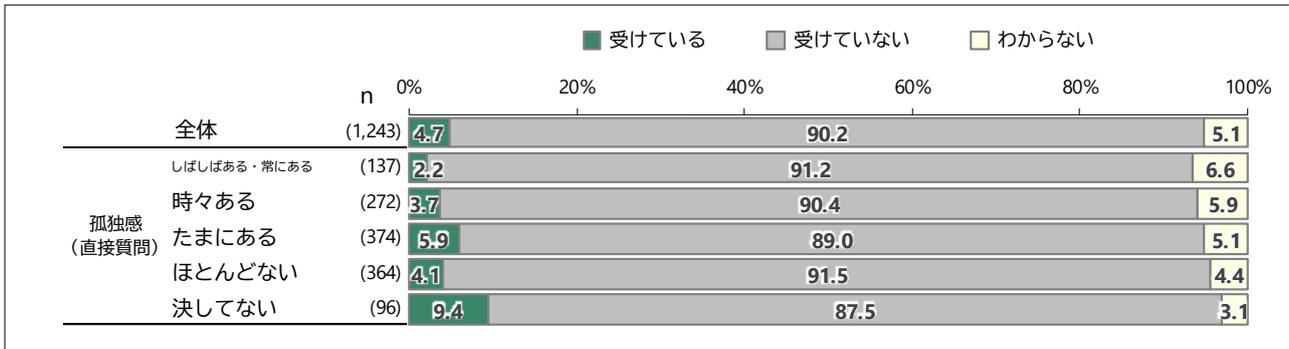
<図表 全体、性年代別>



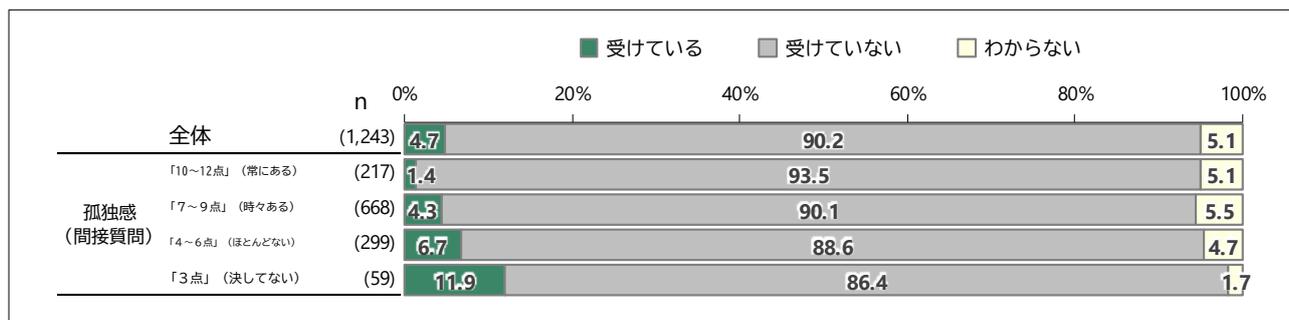
孤独感（直接質問）別でみると、支援を受けている人の割合は、孤独感が「決してない」が9.4%と最も多く、「しばしばある・常にある」が2.2%となっている。

孤独感（間接質問）別でみると、支援を受けている人の割合は、孤独感スコアの点数が低くなるにつれ多くなっており、「3点」が11.9%、「10～12点」が1.4%となっている。

<図表 全体、孤独感（直接質問）別（行政やNPO等からの支援の有無）>



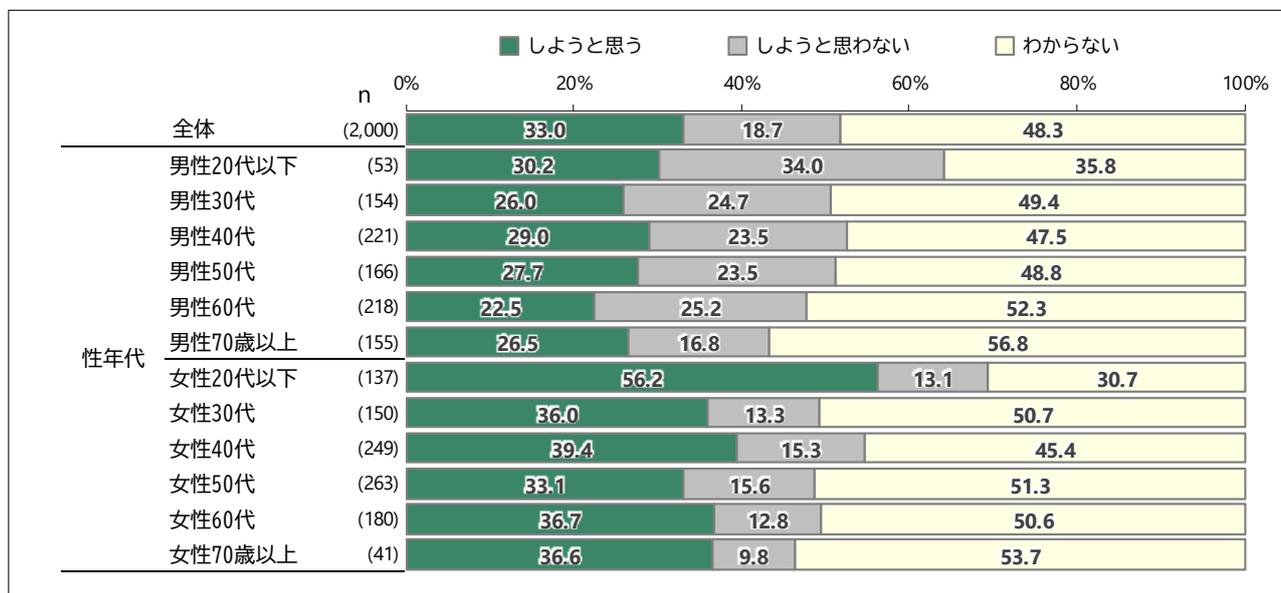
<図表 全体、孤独感（間接質問）別（行政やNPO等からの支援の有無）>



④ 他者へのサポート意識（社会的サポート（他者への手助け））

他者へのサポート意識は、「しようと思う」が33.0%、「しようと思わない」が18.7%となっている。性年代別でみると、「しようと思う」は、女性20代以下で6割弱と多くなっている。

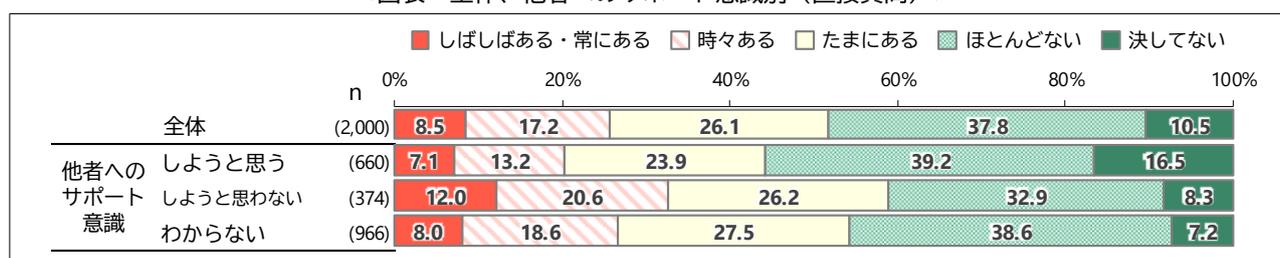
<図表 全体、性年代別>



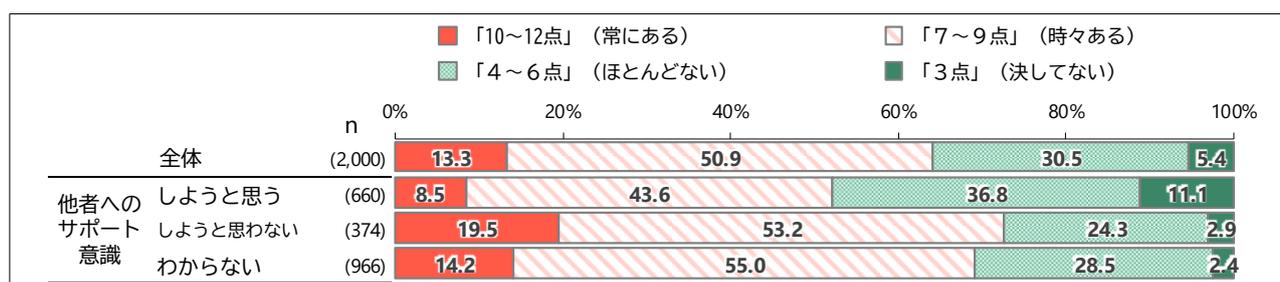
孤独感（直接質問）を他者へのサポート意識別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、しようと思う人が7.1%、しようと思わない人が12.0%となっている。

孤独感（間接質問）を他者へのサポート意識別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、しようと思う人が8.5%、しようと思わない人が19.5%となっている。

<図表 全体、他者へのサポート意識別（直接質問）>



<図表 全体、他者へのサポート意識別（間接質問）>



9 相談の状況（不安や悩みを相談する際の感情）

不安や悩みを相談する際の感情は、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」が60.3%と最も多く、次いで「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」が41.5%となっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	掛 か り が 得 ら れ る 解 決 手 掛 か り	相 談 す る こ と で 解 決 し な く も 気 持 ち が 楽 に な る	相 談 す る こ と で 解 決 し な く も 気 持 ち が 楽 に な る	す や 相 手 に 連 絡 を 取 る こ と が 恥 ず か し	相 談 す る こ と が 恥 ず か し	に 相 談 す る こ と が 恥 ず か し	い （ 相 談 し て も 無 駄 で あ る	そ の 他
全体		2,000	41.5	60.3	11.1	9.6	14.0	17.0	0.6	
性年代	男性20代以下	53	32.1	41.5	22.6	9.4	17.0	22.6	1.9	
	男性30代	154	39.0	44.2	13.0	14.3	16.9	21.4	0.6	
	男性40代	221	35.7	52.5	13.6	15.4	18.6	19.0	-	
	男性50代	166	33.7	50.6	10.8	11.4	13.9	18.7	-	
	男性60代	218	34.9	52.3	10.6	7.8	11.0	20.2	0.9	
	男性70歳以上	155	43.9	62.6	9.0	3.2	11.0	12.9	0.6	
	女性20代以下	137	56.9	65.0	13.9	13.9	17.5	13.1	0.7	
	女性30代	150	43.3	64.7	12.0	14.7	18.7	19.3	-	
	女性40代	249	39.4	65.5	12.4	11.6	17.3	17.3	0.8	
	女性50代	263	49.0	71.1	7.6	4.2	9.5	15.2	0.4	
女性60代	180	42.2	75.6	7.2	3.3	8.3	9.4	1.1		
女性70歳以上	41	51.2	63.4	4.9	-	-	17.1	-		

孤独感（間接・直接質問）別でみると、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」、「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」人の割合は、概ね孤独感スコアの点数が低くなるにつれ多くなっている。

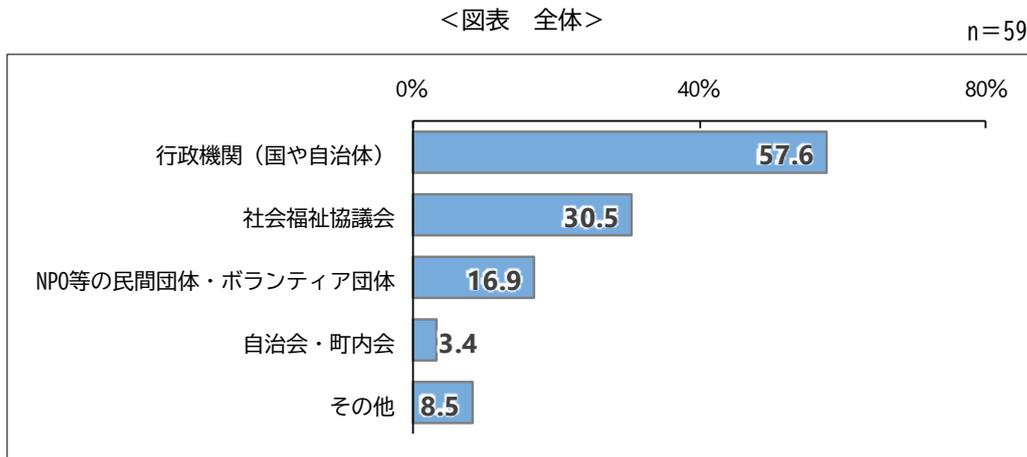
<図表 全体、孤独感（間接・直接質問）別（不安や悩みを相談する際の感情）>

		n	掛 か り が 得 ら れ る 解 決 手 掛 か り	相 談 す る こ と で 解 決 し な く も 気 持 ち が 楽 に な る	相 談 す る こ と で 解 決 し な く も 気 持 ち が 楽 に な る	す や 相 手 に 連 絡 を 取 る こ と が 恥 ず か し	相 談 す る こ と が 恥 ず か し	に 相 談 す る こ と が 恥 ず か し	い （ 相 談 し て も 無 駄 で あ る	そ の 他
全体		2,000	41.5	60.3	11.1	9.6	14.0	17.0	0.6	
孤独感 （間接質問）	「10～12点」（常にある）	266	25.9	45.9	13.9	17.7	29.3	36.8	1.1	
	「7～9点」（時々ある）	1,018	37.8	60.8	12.7	10.1	15.2	16.2	0.2	
	「4～6点」（ほとんどない）	609	51.2	65.4	8.0	6.1	6.9	10.8	0.8	
	「3点」（決してない）	107	59.8	61.7	5.6	3.7	3.7	10.3	0.9	
孤独感 （直接質問）	しばしばある・常にある	169	28.4	43.8	16.0	21.3	29.0	40.8	1.8	
	時々ある	344	30.5	54.4	14.8	12.5	19.2	22.1	-	
	たまにある	522	39.3	62.8	11.9	9.8	13.6	17.2	0.6	
	ほとんどない	755	46.6	64.4	9.1	6.9	10.6	11.5	0.5	
	決してない	210	57.1	61.9	5.7	4.3	6.2	8.6	0.5	

10 相談の状況（行政機関やNPO等の民間団体からの支援の状況）

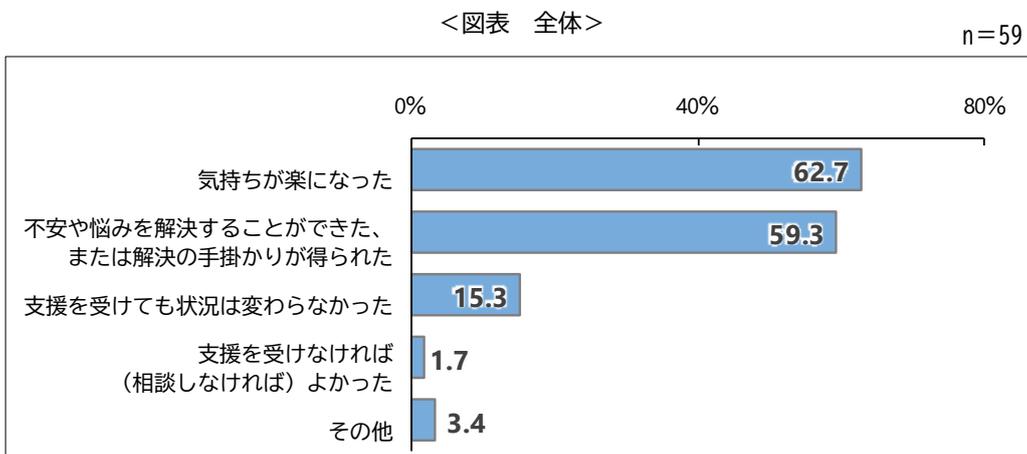
① 支援者の属性

支援者の属性は、「行政機関（国や自治体）」が57.6%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が30.5%となっている。



② 支援を受けた結果

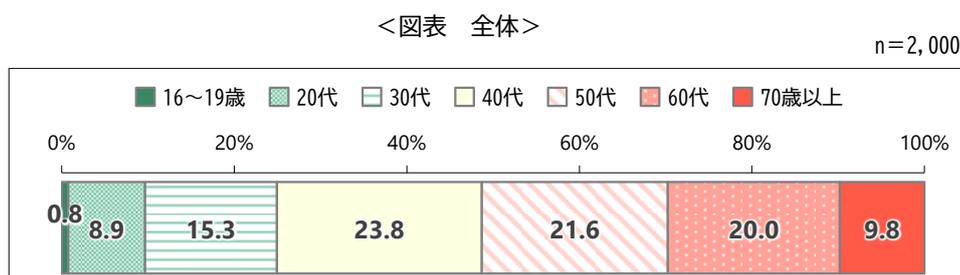
支援を受けた結果は、「気持ちが楽になった」が62.7%と最も多く、次いで「不安や悩みを解決することができた、または解決の手掛かりが得られた」が59.3%となっている。



第3章 調査結果の詳細

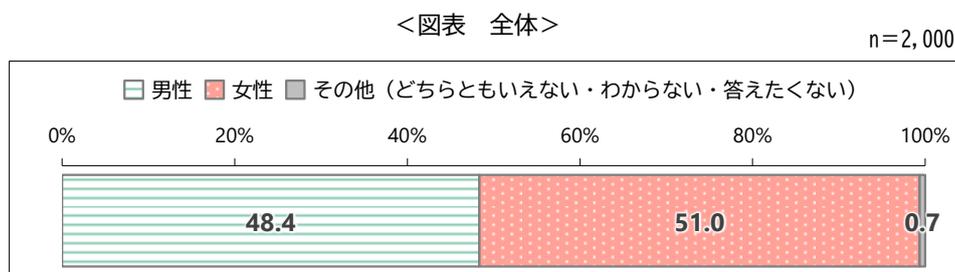
(1) 年齢

SC1 あなたの年齢（令和5年（2023年）10月1日現在の年齢）を入力してください。



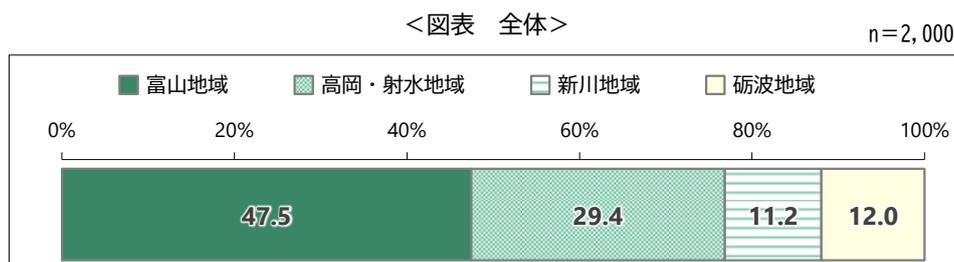
(2) 性別

SC2 あなたの性別をお答えください。（チェックはひとつだけ）



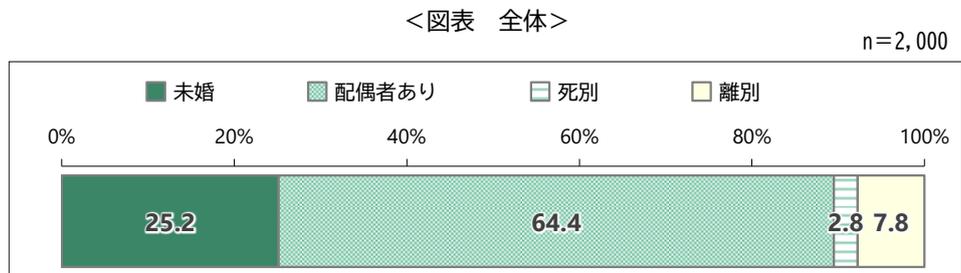
(3) 地域

SC3 あなたの住んでいる地域をお答えください。（チェックはひとつだけ）



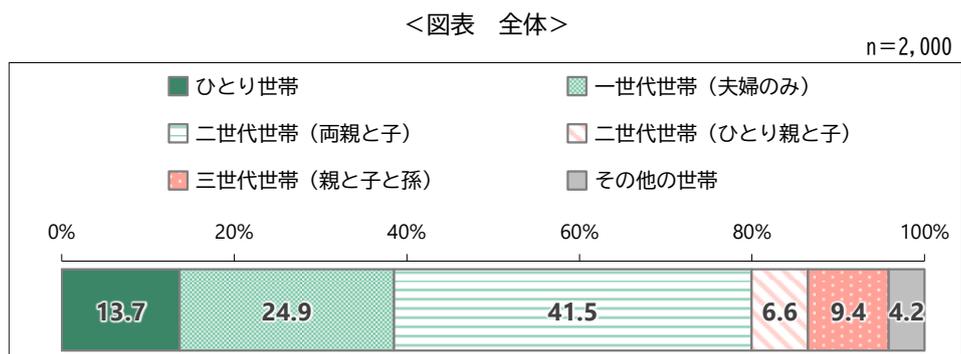
(4) 婚姻状況

問1 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合や同性パートナーを含めます。(チェックはひとつだけ)



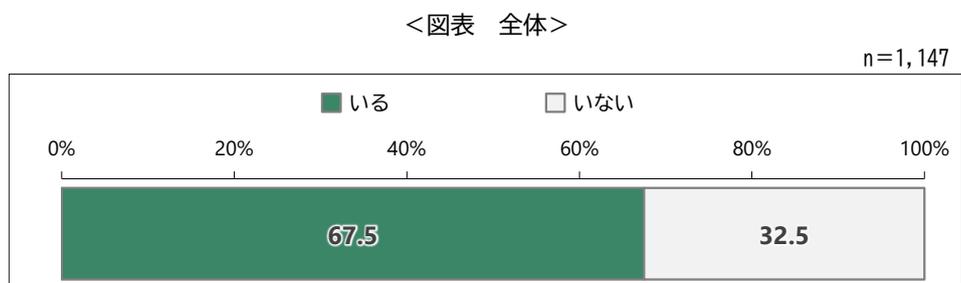
(5) 世帯構成

問2 あなたの世帯（家族以外の同居人含む）構成をお答えください。なお、「夫婦」「両親」には婚姻届を提出していない場合や、同性パートナーを含めます。(チェックはひとつだけ)



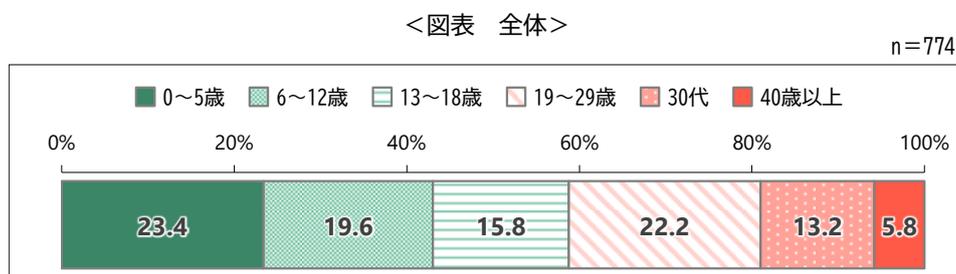
(6) 子の有無

問2-1 同居している人の中に、あなたのお子さんはいますか。(チェックはひとつだけ)



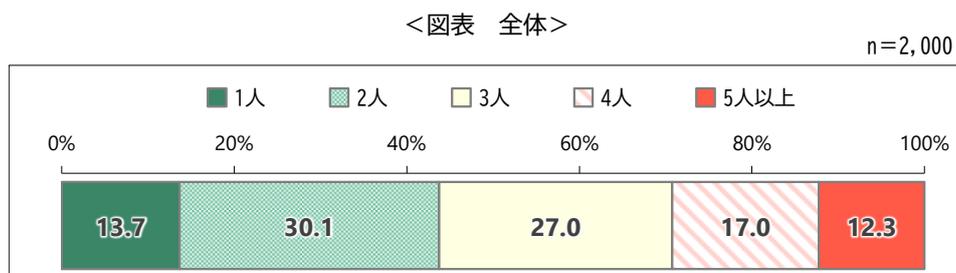
(7) 子の年齢

問2-2 同居しているお子さんで一番若い方の年齢（令和5年（2023年）10月1日現在の年齢）を入力してください。



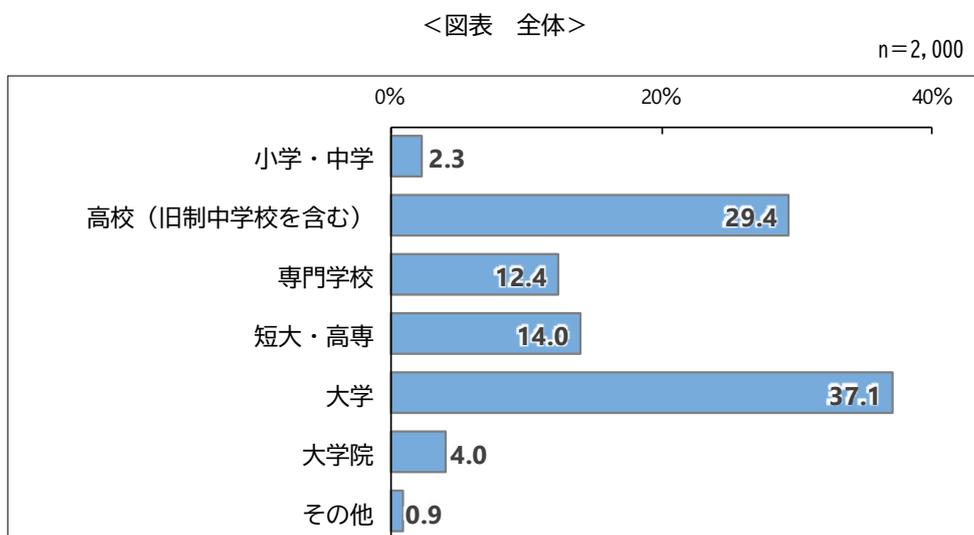
(8) 同居人数

問3 あなたは現在、何人でお住まいですか。あなた自身を含めた人数を入力してください。



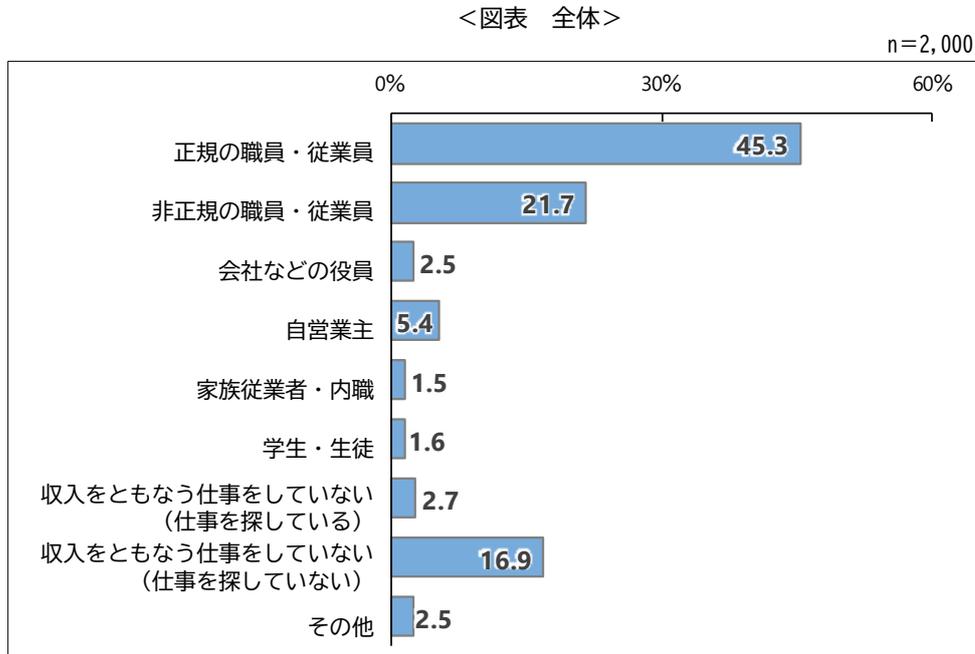
(9) 最終学歴

問4 あなたが最後に卒業した学校、または現在、在学している学校をお答えください。（チェックはひとつだけ）



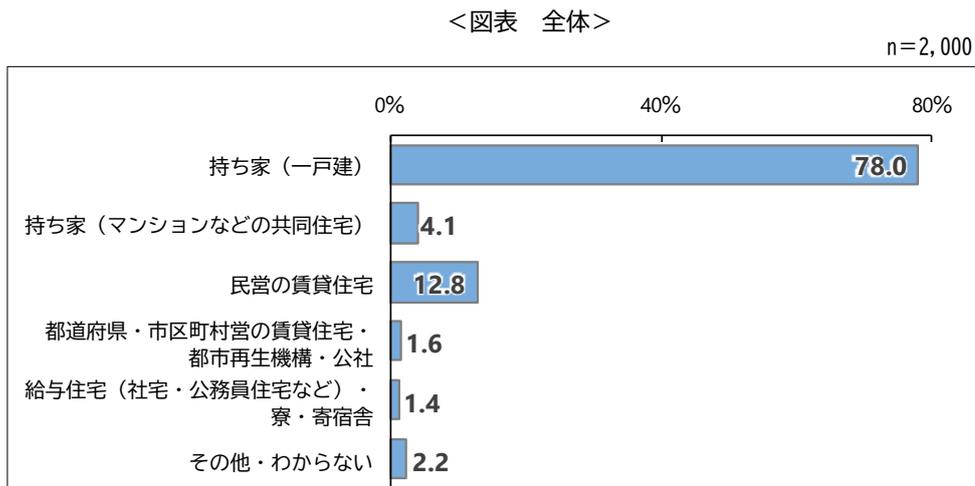
(10) 職業

問5 あなたの現在の仕事をお答えください。複数の仕事に従事している場合は、主な仕事についてお答えください。(チェックはひとつだけ)



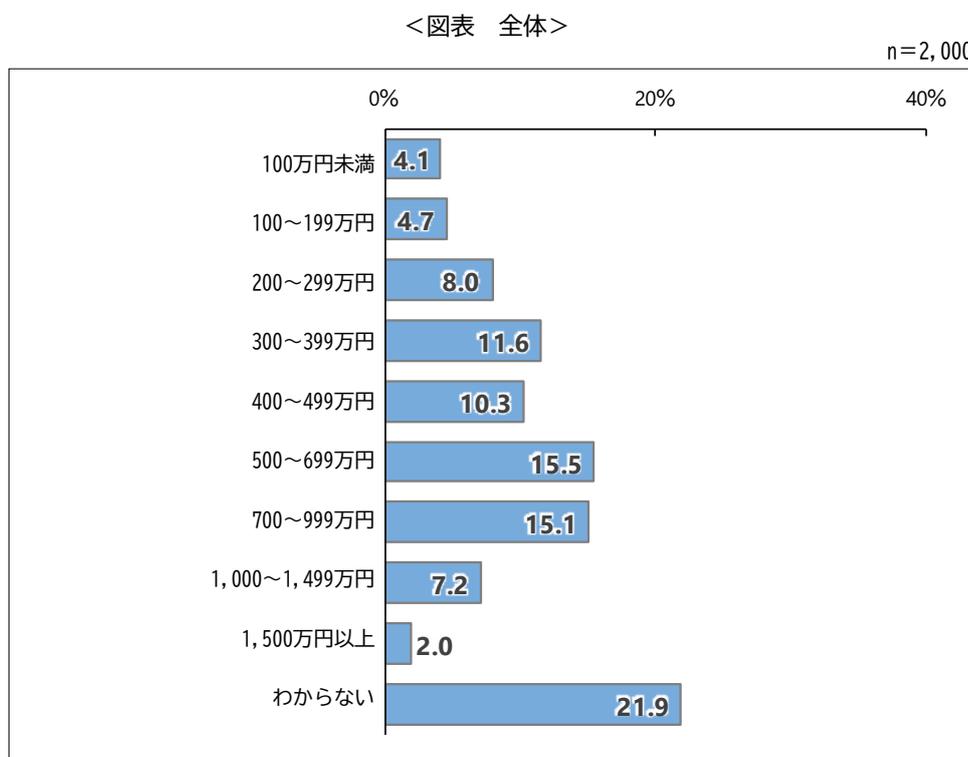
(11) 住まい

問6 あなたの現在の住まいをお答えください。(チェックはひとつだけ)



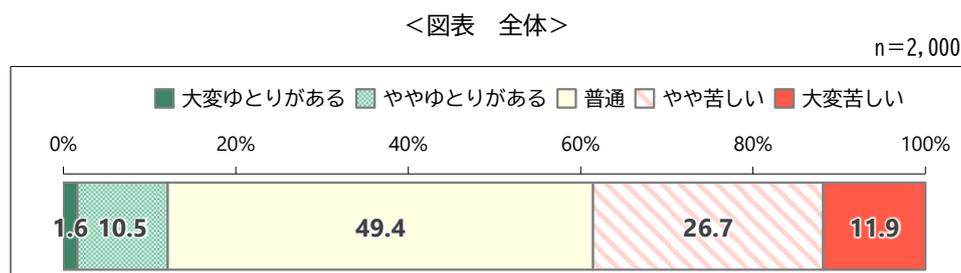
(12) 世帯年収

問7 あなたの世帯の2022年における年間収入（税・社会保険料込み）をお答えください。自営業の場合には営業利益（税込み）をお答えください。なお、年金は収入に含みます。（チェックはひとつだけ）



(13) 現在の暮らし向き

問8 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。（チェックはひとつだけ）



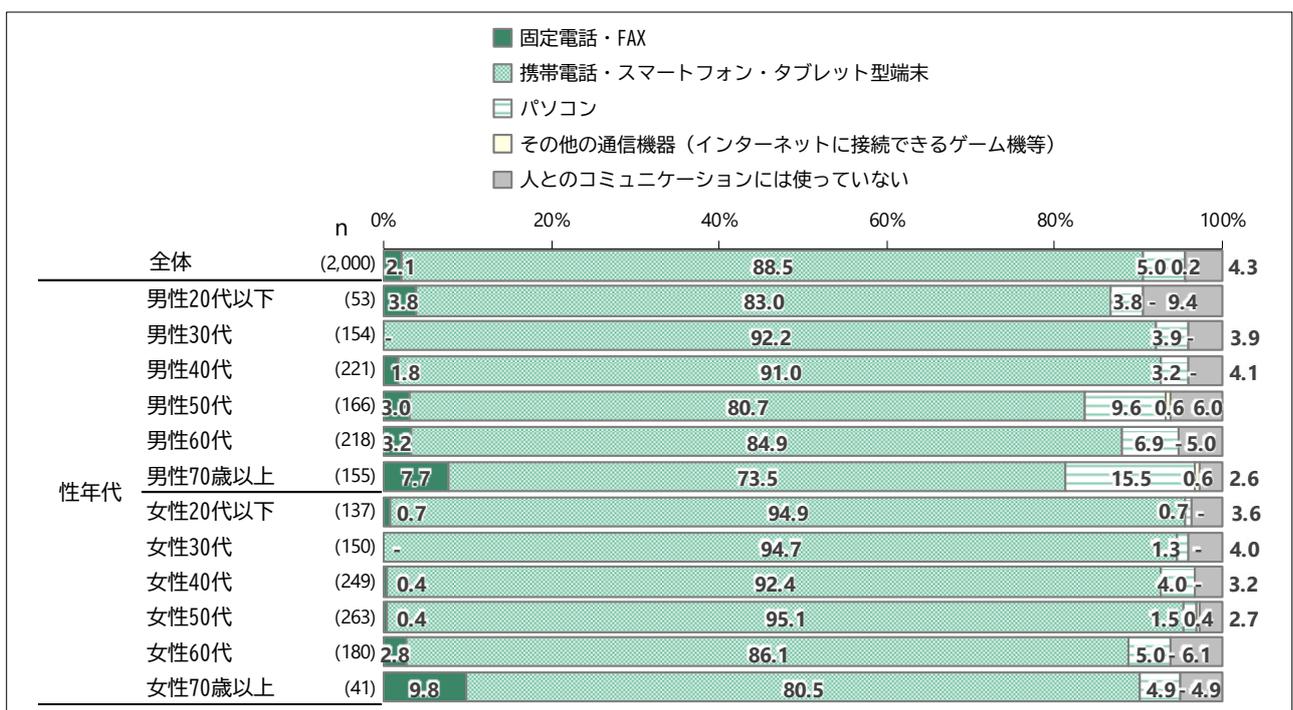
(14) コミュニケーションツールの利用状況

問9 あなたが人とのコミュニケーションをする際に最も使用する情報通信機器は何ですか。
(チェックはひとつだけ)

コミュニケーションツールの利用状況は、「携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末」が88.5%と最も多く、次いで「パソコン」(5.0%)、「固定電話・FAX」(2.1%)となっている。

性年代別でみると、「固定電話・FAX」は、男女ともに30代から年代が上がるにつれて多くなる。「パソコン」は、男性の70歳以上(15.5%)で1割半ばと多い。

<図表 全体、性年代別>



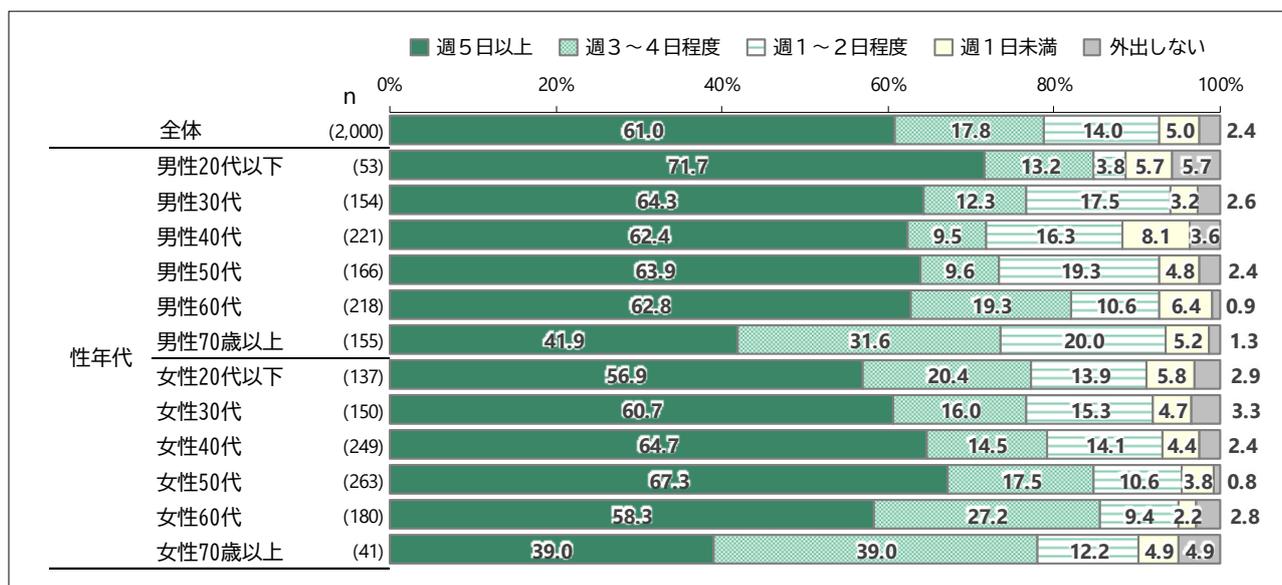
(15) 外出頻度

問10 あなたは日頃の程度、外出していますか。(チェックはひとつだけ)

外出頻度は、「週5日以上」が、61.0%と最も多い。全体の9割強が週に1～2日以上外出している一方で、「週1日未満」は5.0%、「外出しない」は2.4%となっている。

性年代別で見ると、「週5日以上」は男性20代以下（71.7%）で、7割強と多くなっている。「週1日未満（外出しないを含む）」は、男性20代以下（11.4%）、男性40代（11.7%）で1割強となっている。

<図表 全体、性年代別>



(16) 外出目的

問10-1 最近1週間の外出の目的は何ですか。(チェックはいくつでも)

外出目的は、「仕事・学校」が65.4%で最も多く、次いで「食事・買い物・日常の用事」が65.2%となっている。

性年代別でみると、「仕事・学校」は、男性20代以下～50代、女性20代以下、女性40代～50代が、7割～8割台で多くなっている。また、「食事・買い物・日常の用事」は、男性70歳以上、女性60代～70歳以上が、7割半ば～8割台で多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	仕事・学校	食事・買い物・日常の用事	趣味や娯楽、散歩や運動	人とのつきあい・交流	通院	地域活動・ボランティア	その他
全体		1,854	65.4	65.2	35.3	20.4	13.4	5.6	3.6
性年代	男性20代以下	47	83.0	36.2	29.8	23.4	2.1	2.1	2.1
	男性30代	145	76.6	56.6	40.0	18.6	4.8	3.4	0.7
	男性40代	195	77.9	55.9	36.9	16.4	7.7	5.1	2.6
	男性50代	154	79.9	53.9	33.1	13.6	9.7	6.5	1.3
	男性60代	202	58.4	63.4	37.1	11.9	14.9	10.9	4.5
	男性70歳以上	145	20.7	75.2	53.8	29.7	33.8	15.2	5.5
	女性20代以下	125	74.4	63.2	39.2	32.8	4.0	1.6	5.6
	女性30代	138	68.1	73.2	29.7	31.2	8.7	2.2	2.9
	女性40代	232	75.4	60.8	27.2	17.7	9.5	2.6	3.4
	女性50代	251	72.5	70.5	28.7	19.5	16.3	3.6	5.6
女性60代	171	46.2	83.6	38.6	19.9	22.2	4.7	4.1	
女性70歳以上	37	21.6	81.1	27.0	35.1	35.1	13.5	2.7	

(17) 行動範囲

問11 最近1週間の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。(チェックはいくつでも)

行動範囲は、「自宅（自室）」が80.7%で最も多く、次いで「自宅（家族と共用の部屋）」が73.6%、「職場や学校等の拠点」が60.9%となっている。

性年代別でみると、「自宅（家族と共用の部屋）」は、女性40代（86.3%）で、9割弱と多くになっている。一方、その割合が最も低いのは、男性20代以下（43.4%）で4割強となっている。また、「職場や学校等の拠点」は、男性30代～50代、女性40代で7割台となっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	自宅（自室）	自宅（家族と共用の部屋）	職場や学校等の拠点	等施設・娯楽施設・公園	不特定多数の人が利用する場所（公共施設・商業施設）	趣味や活動等の拠点（職場・学校以外）	親族・友人等の家	その他
全体		2,000	80.7	73.6	60.9	56.7	27.0	17.9	4.4	
性年代	男性20代以下	53	77.4	43.4	66.0	35.8	30.2	9.4	-	
	男性30代	154	82.5	68.2	78.6	50.6	32.5	18.2	1.9	
	男性40代	221	78.3	65.6	76.9	52.9	30.3	11.3	5.0	
	男性50代	166	81.3	65.1	70.5	45.2	28.9	9.0	3.0	
	男性60代	218	86.7	72.9	50.5	59.2	28.0	12.4	6.9	
	男性70歳以上	155	81.9	76.1	19.4	65.2	33.5	16.1	7.1	
	女性20代以下	137	81.0	70.8	62.8	60.6	21.9	21.9	4.4	
	女性30代	150	72.0	72.0	66.0	58.7	20.0	27.3	5.3	
	女性40代	249	80.3	86.3	73.5	60.2	25.7	24.1	2.4	
	女性50代	263	80.2	81.7	65.4	60.8	22.4	19.4	2.7	
女性60代	180	83.3	76.1	44.4	60.0	25.0	24.4	6.1		
女性70歳以上	41	80.5	78.0	14.6	36.6	34.1	17.1	7.3		

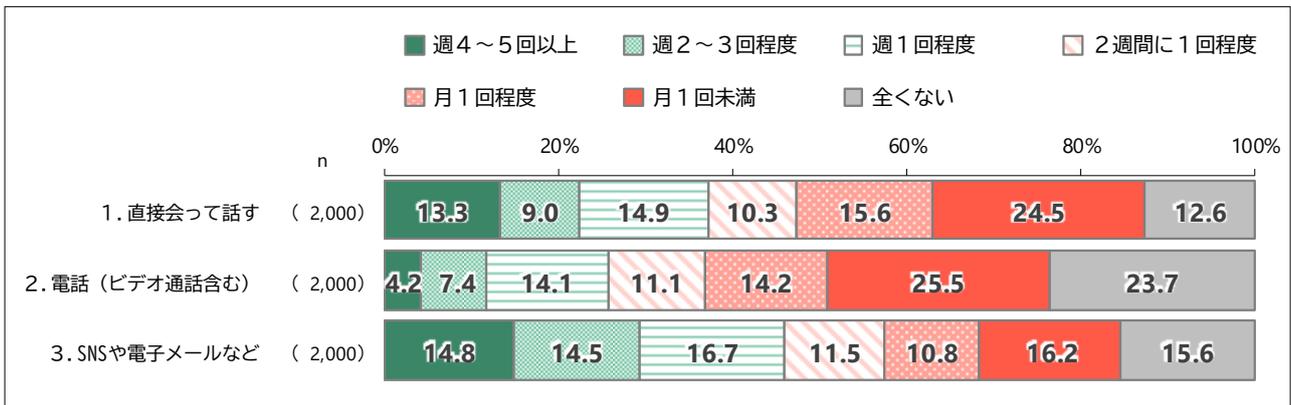
(18) コミュニケーション手段や頻度

問12 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。

(1) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度

同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度は、「週4～5回以上」では「SNSや電子メールなど」(14.8%)、「直接会って話す」(13.3%)が1割強～1割半ばと多くなっている。

<図表 1～3全体>

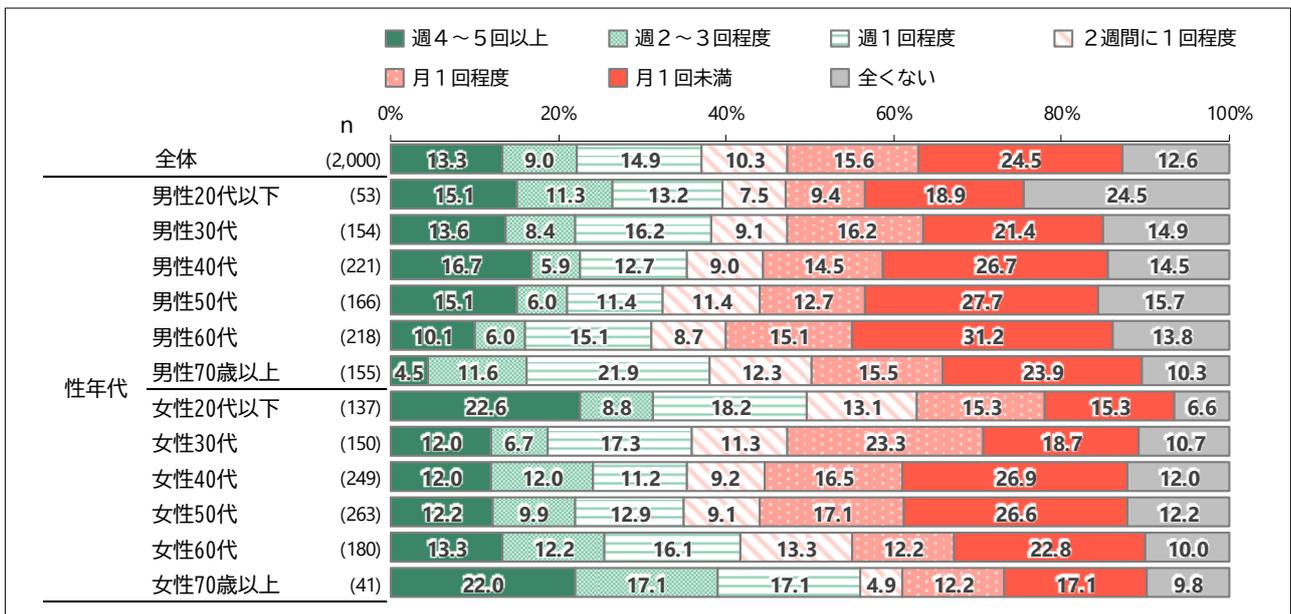


1. 直接会って話す

同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度は、「週4～5回以上」が13.3%、「全くない」が12.6%となっている。

性年代別でみると、「週4～5回以上」は女性20代以下(22.6%)、女性70歳以上(22.0%)が2割強、「全くない」は男性20代以下(24.5%)が2割半ばで最も多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

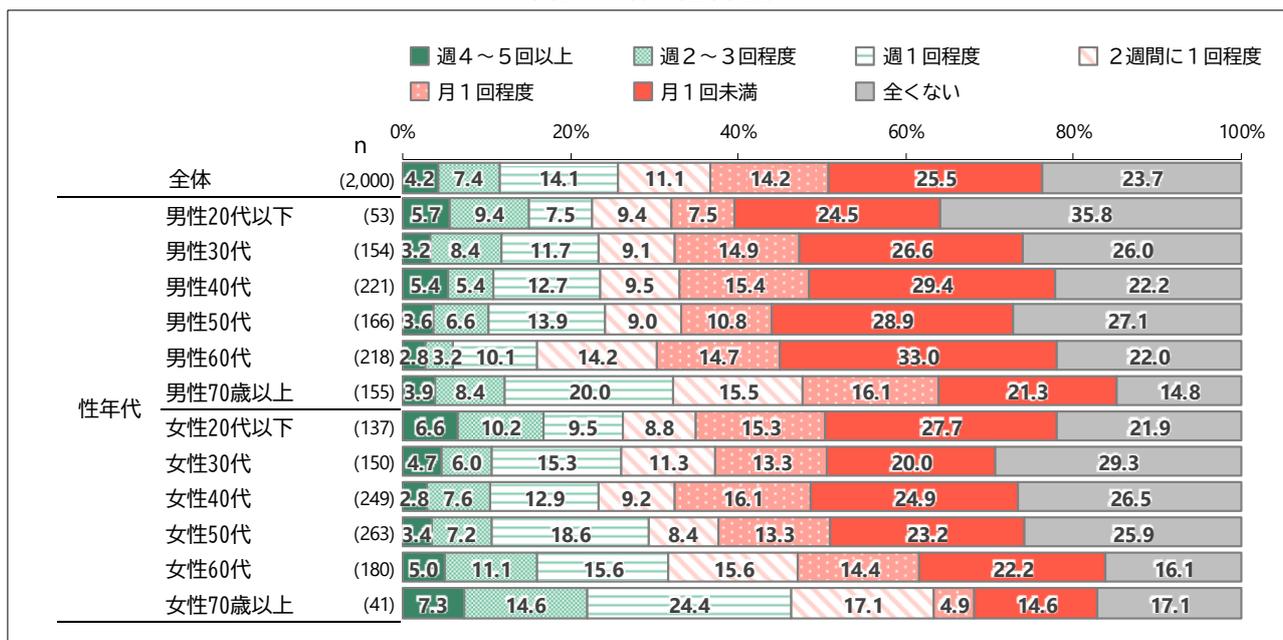


2. 電話(ビデオ通話含む)

同居していない家族や友人たちと電話（ビデオ通話含む）をする頻度は、「週4～5回以上」が4.2%、「全くない」が23.7%となっている。

性年代別でみると、「週1回程度」は女性70歳以上（24.4%）が2割強、「全くない」は男性20代以下（35.8%）が3割半ばで最も多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

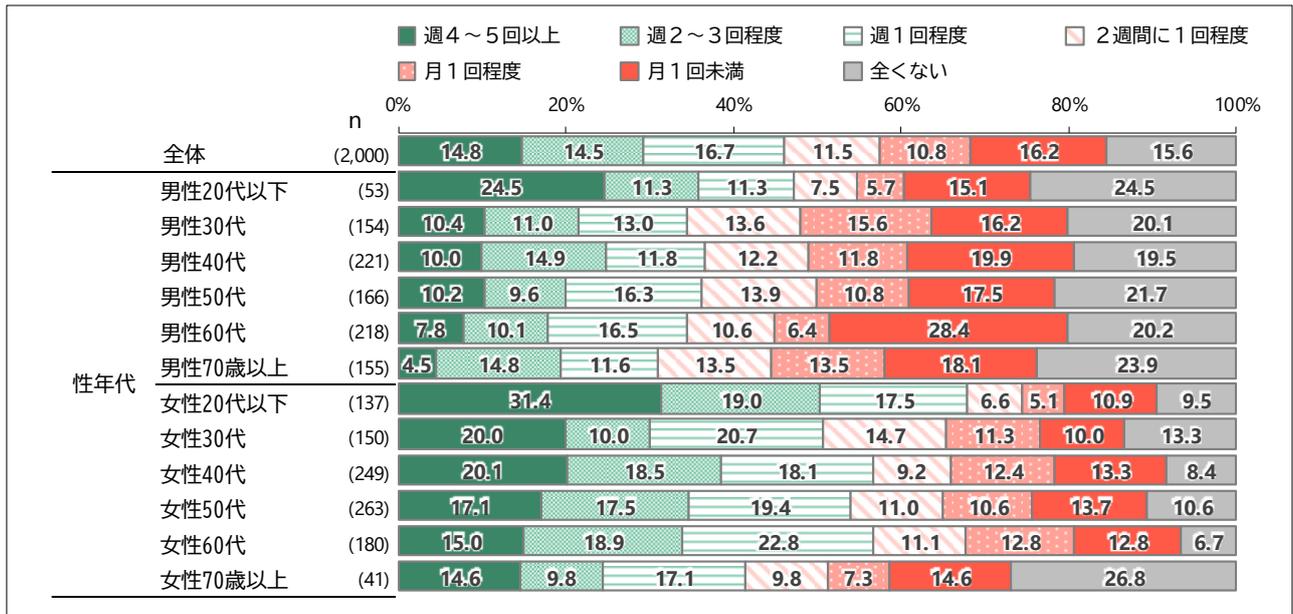


3. SNSや電子メールなど

同居していない家族や友人たちとのSNSや電子メールなどをする頻度は、「週4～5回以上」が14.8%、「全くない」が15.6%となっている。

性年代別でみると、「週4～5回以上」は女性20代以下（31.4%）が3割強、「全くない」は女性70歳以上（26.8%）が3割弱で最も多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(2) 同居している人たちとのコミュニケーション頻度

同居している人たちとのコミュニケーション頻度は、「週4～5回以上」が86.7%、「全くない」が2.8%となっている。

性年代別でみると、「週4～5回以上」は男性20代以下（60.0%）が6割で最も少なくなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	週4 ～ 5 回 以上	週2 ～ 3 回 程度	週1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月1 回 程度	月1 回 未 満	全 く な い
全体		1,727	86.7	4.7	3.0	0.7	1.0	1.2	2.8
性年代	男性20代以下	35	60.0	11.4	5.7	2.9	-	8.6	11.4
	男性30代	128	81.3	7.0	3.1	0.8	-	1.6	6.3
	男性40代	176	81.3	6.8	4.0	-	1.7	1.1	5.1
	男性50代	142	82.4	8.5	4.2	1.4	0.7	0.7	2.1
	男性60代	192	90.1	4.2	2.6	0.5	1.0	0.5	1.0
	男性70歳以上	140	90.7	3.6	5.7	-	-	-	-
	女性20代以下	109	84.4	4.6	4.6	-	-	0.9	5.5
	女性30代	125	85.6	1.6	4.0	1.6	0.8	0.8	5.6
	女性40代	234	89.7	2.1	2.1	0.9	1.7	1.3	2.1
	女性50代	241	91.3	3.7	1.2	-	1.2	1.2	1.2
	女性60代	159	90.6	5.7	0.6	1.3	0.6	0.6	0.6
	女性70歳以上	35	88.6	-	2.9	-	2.9	5.7	-

(19) 社会参加の状況

問13 あなたは現在、どのような活動に参加していますか。人と交流する活動についてお答えください。(〇はいくつでも)

社会参加の状況は、「特に参加はしていない」が56.1%と最も多く、次いで「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）」(25.1%)、「PTA・自治会・町内会などの活動」(23.8%)となっている。

性年代別でみると、「特に参加はしていない」は、男女20代以下で7割台と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	PTA・自治会・町内会などの活動	子ども・障害者・高齢者など、家族以外の手助けをする活動	上記以外のボランティア活動	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）	活動など（宗教や信仰上の活動など）	その他の活動（同窓会など）	特に参加はしていない
全体		2,000	23.8	3.7	4.0	25.1	4.3	56.1	
性年代	男性20代以下	53	9.4	3.8	3.8	17.0	-	71.7	
	男性30代	154	22.1	7.1	1.9	26.0	3.2	57.1	
	男性40代	221	29.0	4.1	6.8	26.2	4.1	50.7	
	男性50代	166	28.3	3.0	3.6	31.3	3.6	50.6	
	男性60代	218	36.2	1.4	6.0	24.3	8.3	49.5	
	男性70歳以上	155	41.3	2.6	7.1	36.8	9.7	38.1	
	女性20代以下	137	2.9	2.2	3.6	21.2	3.6	71.5	
	女性30代	150	15.3	4.0	1.3	15.3	2.7	69.3	
	女性40代	249	25.3	3.2	2.0	22.5	1.6	55.4	
	女性50代	263	17.5	3.4	2.3	21.3	3.0	63.9	
女性60代	180	17.8	6.1	3.9	28.9	5.0	53.9		
女性70歳以上	41	29.3	4.9	7.3	31.7	4.9	48.8		

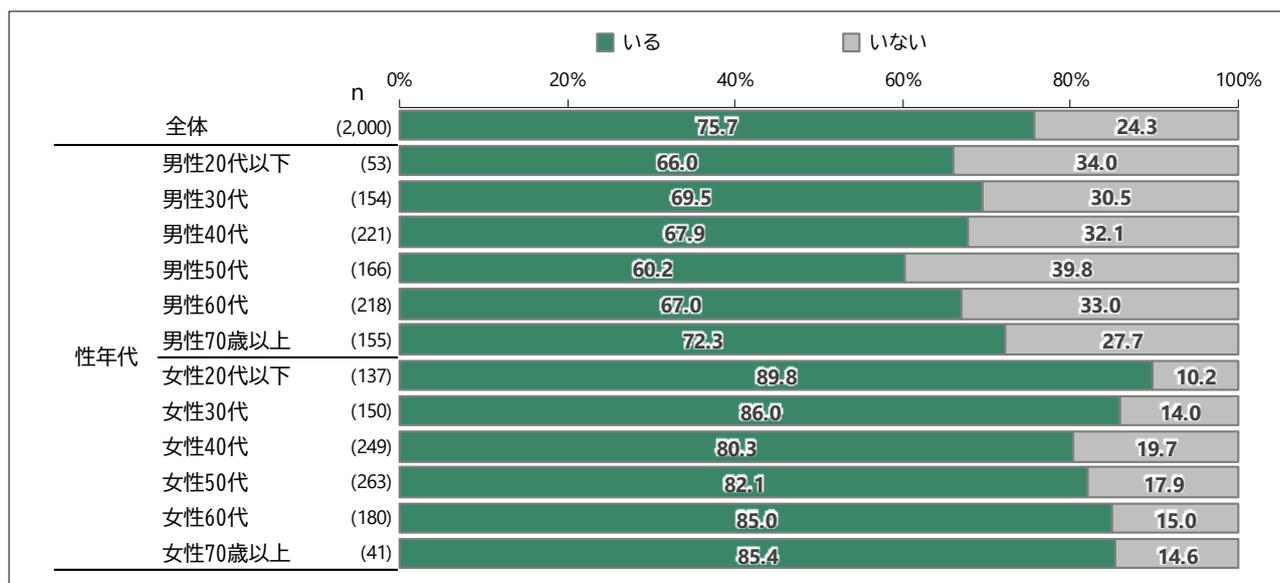
(20) 困ったときに頼れる人の有無

問14 あなたには、困った時に頼れる人はいますか。(チェックはひとつだけ)

困ったときに頼れる人の有無は、「いる」は75.7%、「いない」は24.3%となっている。

性年代別でみると、「いない」は男性20代以下～60代で多く、特に男性50代（39.8%）が4割弱と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(21) 困ったときに頼る相手の種類

問14-1 あなたは誰を頼りますか。(チェックはいくつでも)

困った時に頼る相手の種類は、「家族・親戚」が94.0%と最も多く、次いで「友人・知人」(55.1%)、「仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)」(19.2%)となっている。

性年代別でみると、「友人・知人」は女性20代以下~30代で6割強、「仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)」は男性40代で3割半ばと多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	職場の同僚・学校関係者(先生等)	行政機関(国や自治体)	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他
全体		1,514	94.0	55.1	6.9	19.2	5.7	0.8	1.7	9.0	1.7
性年代	男性20代以下	35	85.7	60.0	8.6	22.9	2.9	5.7	2.9	2.9	-
	男性30代	107	90.7	53.3	3.7	21.5	2.8	-	-	1.9	0.9
	男性40代	150	90.7	60.0	9.3	34.7	4.7	0.7	1.3	4.0	2.0
	男性50代	100	89.0	52.0	8.0	25.0	7.0	1.0	1.0	7.0	2.0
	男性60代	146	92.5	46.6	11.0	12.3	10.3	1.4	1.4	11.6	0.7
	男性70歳以上	112	98.2	52.7	17.9	5.4	11.6	-	6.3	26.8	0.9
	女性20代以下	123	95.9	67.5	1.6	14.6	2.4	0.8	0.8	5.7	4.1
	女性30代	129	96.9	62.0	2.3	19.4	2.3	-	0.8	7.0	3.1
	女性40代	200	97.0	53.0	5.0	27.0	5.0	-	0.5	8.0	0.5
	女性50代	216	94.0	54.6	4.2	19.0	5.1	0.9	1.9	7.4	1.9
女性60代	153	94.8	54.9	7.2	13.1	6.5	2.0	2.6	11.8	2.0	
女性70歳以上	35	97.1	34.3	14.3	-	5.7	-	2.9	20.0	-	

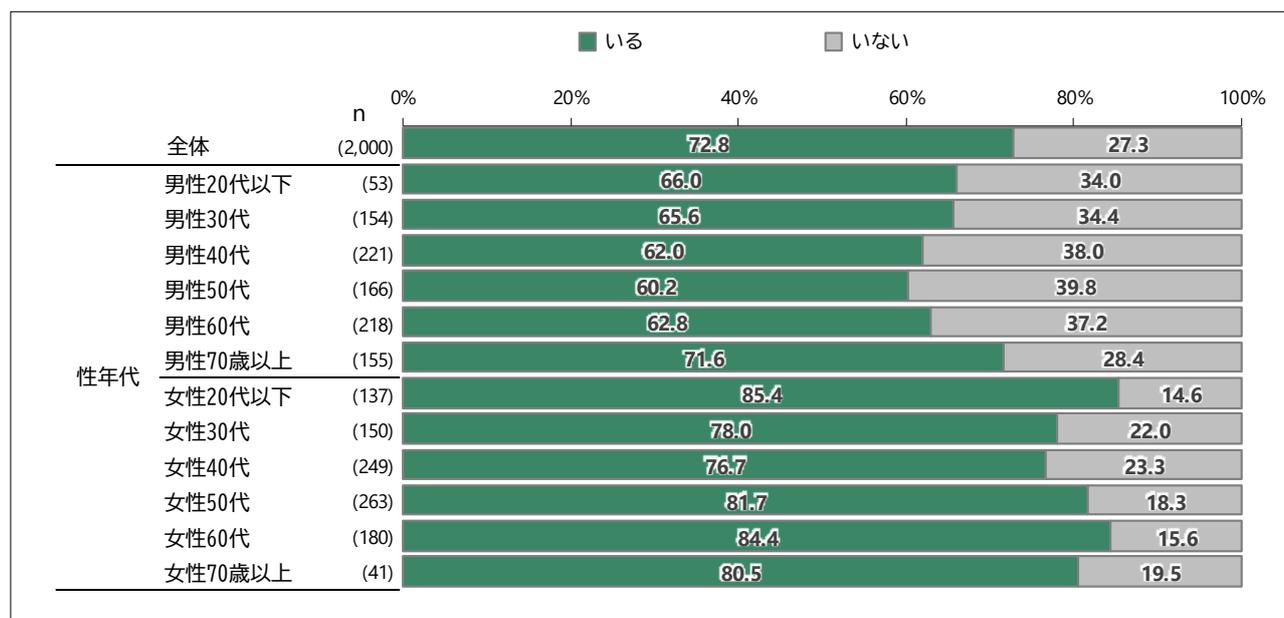
(22) 相談相手の有無

問15 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(チェックはひとつだけ)

不安や悩みの相談相手の有無は、「いる」は72.8%、「いない」は27.3%となっている。

性年代別でみると、「いない」はすべての年代で男性が女性の割合を上回っており、特に男性40代～60代で4割弱と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(23) 相談相手の種類

問15-1 あなたは誰に相談をしますか。(チェックはいくつでも)

相談相手の種類は、「家族・親族」が90.2%と最も多く、次いで「友人・知人」が60.5%、「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」が16.2%となっている。

性年代別でみると、「家族・親族」は男性20代以下（77.1%）で8割弱と少なく、「友人・知人」は女性20代以下（73.5%）で7割強と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	家族・親族	友人・知人	の自治会・町内会・近所	等）場の同僚・学校関係者（先生職	行政機関（国や自治体）	ボランティア等の民間団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他
全体		1,455	90.2	60.5	3.6	16.2	3.5	0.9	1.2	8.7	1.8
性年代	男性20代以下	35	77.1	65.7	8.6	22.9	5.7	2.9	2.9	2.9	-
	男性30代	101	91.1	56.4	2.0	20.8	1.0	-	1.0	2.0	1.0
	男性40代	137	86.9	62.8	5.8	25.5	5.1	1.5	-	5.8	3.6
	男性50代	100	86.0	51.0	3.0	13.0	4.0	1.0	2.0	5.0	3.0
	男性60代	137	91.2	51.8	5.8	12.4	3.6	-	-	10.9	-
	男性70歳以上	111	98.2	52.3	14.4	7.2	10.8	0.9	4.5	27.0	1.8
	女性20代以下	117	91.5	73.5	-	10.3	1.7	-	-	6.8	2.6
	女性30代	117	90.6	67.5	0.9	14.5	2.6	1.7	0.9	6.8	4.3
	女性40代	191	92.7	59.7	2.1	24.1	3.1	0.5	0.5	7.9	0.5
	女性50代	215	88.8	61.4	0.5	20.9	2.3	1.4	0.9	6.5	1.4
	女性60代	152	88.8	66.4	2.6	7.9	2.6	0.7	2.0	9.9	2.0
女性70歳以上	33	93.9	51.5	3.0	-	-	-	3.0	12.1	-	

(24) 不安や悩みを相談する際の感情

問16 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。(チェックはいくつでも)

不安や悩みを相談する際の感情は、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」が60.3%と最も多く、次いで「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」が41.5%となっている。一方、「相談しても無駄である（相談しても解決しない）」は17.0%となっている。

性年代別でみると、「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」はすべての年代で女性が男性の割合を上回っている。

<図表 全体、性年代別>

	n	掛かる、すが 得られたら 解決の手で	相談するこ とで解決し ない	その他						
全体	2,000	41.5	60.3	11.1	9.6	14.0	17.0	0.6		
性年代	男性20代以下	53	32.1	41.5	22.6	9.4	17.0	22.6	1.9	
	男性30代	154	39.0	44.2	13.0	14.3	16.9	21.4	0.6	
	男性40代	221	35.7	52.5	13.6	15.4	18.6	19.0	-	
	男性50代	166	33.7	50.6	10.8	11.4	13.9	18.7	-	
	男性60代	218	34.9	52.3	10.6	7.8	11.0	20.2	0.9	
	男性70歳以上	155	43.9	62.6	9.0	3.2	11.0	12.9	0.6	
	女性20代以下	137	56.9	65.0	13.9	13.9	17.5	13.1	0.7	
	女性30代	150	43.3	64.7	12.0	14.7	18.7	19.3	-	
	女性40代	249	39.4	65.5	12.4	11.6	17.3	17.3	0.8	
	女性50代	263	49.0	71.1	7.6	4.2	9.5	15.2	0.4	
	女性60代	180	42.2	75.6	7.2	3.3	8.3	9.4	1.1	
女性70歳以上	41	51.2	63.4	4.9	-	-	17.1	-		

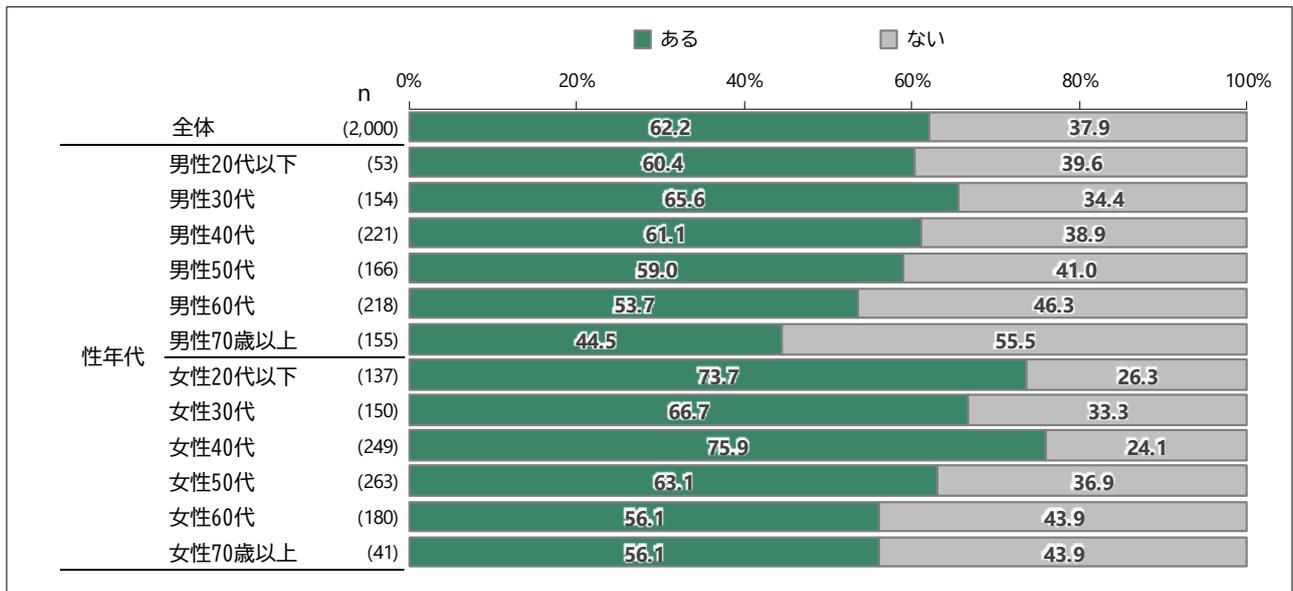
(25) 不安や悩みの有無

問17 あなたは現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか（既に相談機関等に繋がっている場合も含む）。（チェックはひとつだけ）

不安や悩みの有無は、「ある」は62.2%、「ない」は37.9%となっている。

性年代別でみると、「ない」はすべての年代で男性が女性の割合を上回っており、特に男性70歳以上（55.5%）で5割半ばと多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(26) 不安や悩みの内容

問17-1 不安や悩みはどのような内容ですか。(チェックはいくつでも)

不安や悩みの内容は、「健康」が57.0%と最も多く、次いで「収入や資産、老後の生活設計」が53.8%、「結婚、子育てなど、生活上の問題」が25.2%、「家族・親族間の人間関係」が22.8%、「住まい」が20.6%となっている。

性年代別でみると、「健康」は男女ともに年代が上がるにつれて多くなる。「収入や資産、老後の生活設計」は、女性30代（67.0%）で7割弱と多い。

<図表 全体、性年代別>

		n	健康	活収入 設計 や 資産、 老後の生	活結 上の 問題 育てなど、 生	係家 族・ 親族間 の人間 関	住 まい	関学 校や 勤務 先での 人間 関	上進 学、 就職 など、 進路 の 問 題	恋愛 ・ 性 関係	近隣 ・ 地 域 との 関 係
全体		1,243	57.0	53.8	25.2	22.8	20.6	18.5	12.4	6.4	6.4
性年代	男性20代以下	32	40.6	31.3	21.9	6.3	15.6	21.9	37.5	12.5	3.1
	男性30代	101	45.5	59.4	33.7	13.9	21.8	25.7	17.8	9.9	7.9
	男性40代	135	58.5	60.0	25.9	20.7	20.0	28.9	15.6	10.4	12.6
	男性50代	98	57.1	60.2	13.3	17.3	16.3	9.2	8.2	4.1	4.1
	男性60代	117	63.2	47.0	7.7	22.2	22.2	7.7	2.6	1.7	9.4
	男性70歳以上	69	81.2	37.7	2.9	14.5	20.3	-	-	1.4	10.1
	女性20代以下	101	44.6	54.5	39.6	18.8	17.8	26.7	29.7	17.8	3.0
	女性30代	100	47.0	67.0	58.0	27.0	17.0	24.0	17.0	14.0	2.0
	女性40代	189	54.0	55.0	35.4	28.0	21.2	23.3	14.3	5.3	6.9
	女性50代	166	59.6	55.4	17.5	31.9	22.3	19.3	9.6	1.8	4.8
	女性60代	101	66.3	41.6	17.8	23.8	21.8	8.9	1.0	-	2.0
	女性70歳以上	23	78.3	47.8	-	26.1	30.4	4.3	-	-	4.3
		n	な自然 の災害 や事故 、事件	金銭 トラ ブル	問事 業や 家業 の経 営上 の	その他					
全体		1,243	5.2	4.2	3.5	9.3					
性年代	男性20代以下	32	3.1	3.1	3.1	12.5					
	男性30代	101	3.0	7.9	5.9	8.9					
	男性40代	135	5.2	3.7	4.4	7.4					
	男性50代	98	3.1	5.1	9.2	6.1					
	男性60代	117	6.0	5.1	5.1	9.4					
	男性70歳以上	69	17.4	2.9	2.9	13.0					
	女性20代以下	101	3.0	3.0	-	7.9					
	女性30代	100	3.0	5.0	2.0	6.0					
	女性40代	189	4.8	2.6	2.6	10.6					
	女性50代	166	4.8	3.6	1.8	11.4					
	女性60代	101	5.0	3.0	-	10.9					
	女性70歳以上	23	8.7	4.3	8.7	8.7					

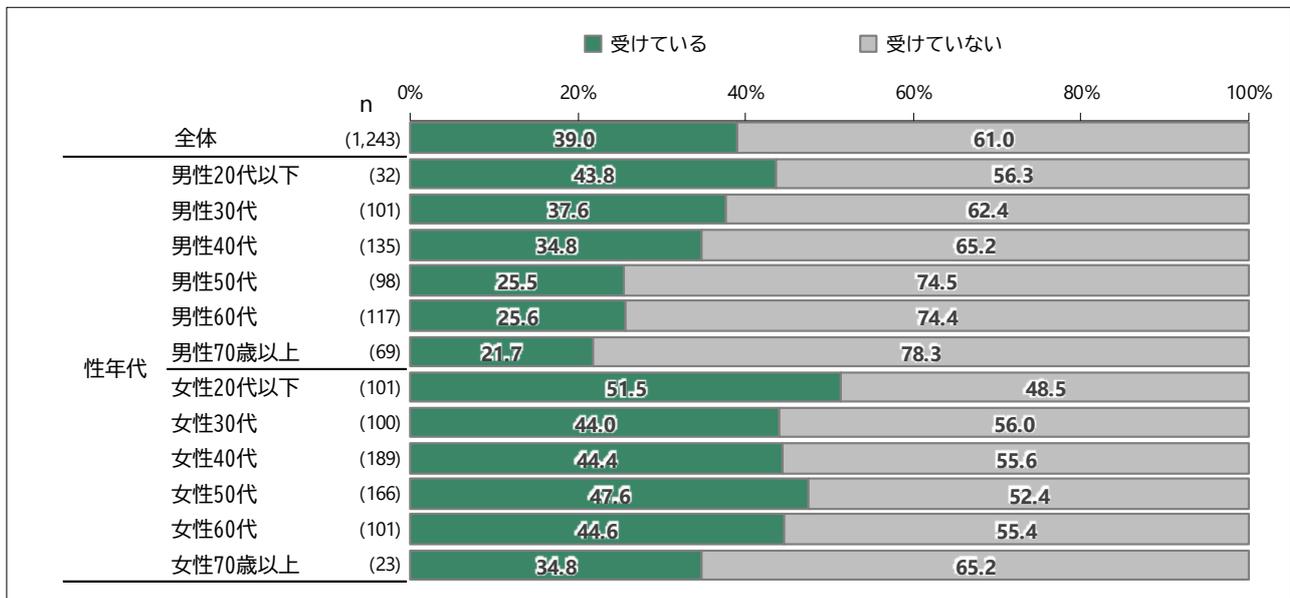
(27) 問題解決のための手助けの有無

問17-2 不安や悩みについて、家族・親族や友人・知人から、相談するなどの問題解決のための手助けを受けていますか。(チェックはひとつだけ)

問題解決のための手助けの有無は、「受けている」が39.0%、「受けていない」が61.0%となっている。

性年代別でみると、「受けていない」はすべての年代で男性が女性の割合を上回っており、特に男性50代～70歳以上で7割台と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



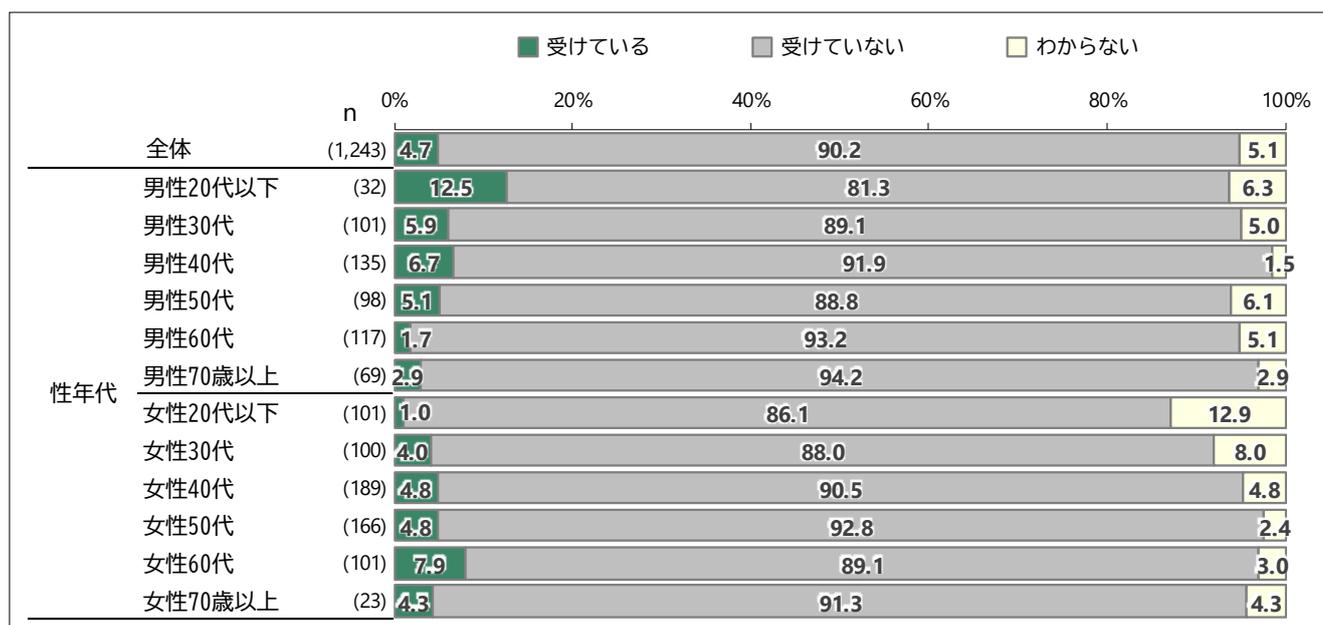
(28) 不安や悩みに対する行政やNPO等からの支援の有無

問18 あなたは、問17-1で回答した不安や悩みについて、行政機関やNPO等の民間団体から支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。（チェックはひとつだけ）

不安や悩みに対する行政やNPO等からの支援の有無は、「受けていない」（90.2%）が9割以上を占め、「受けている」は4.7%にとどまる。

性年代別でみると、「受けている」は男性20代以下（12.5%）で多くなっている。

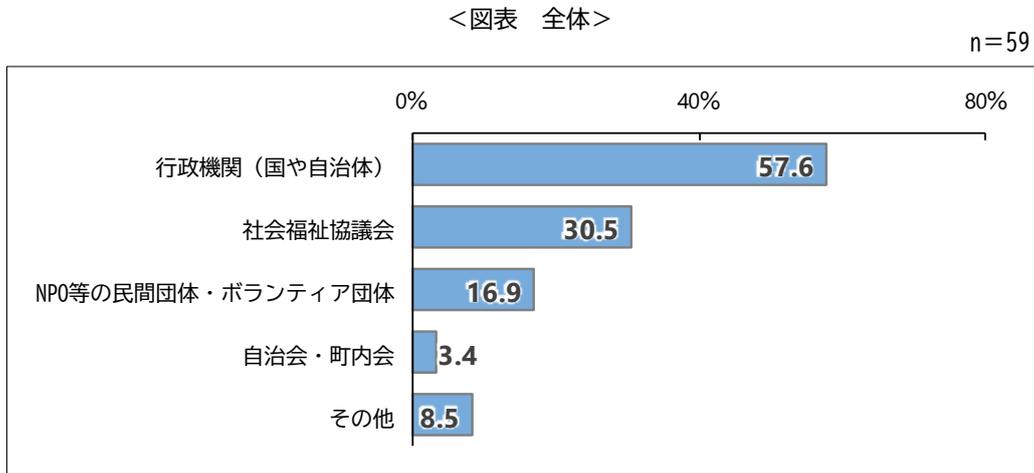
<図表 全体、性年代別>



(29) 支援者の属性

問18-1 あなたはどこから支援を受けていますか。(チェックはいくつでも)

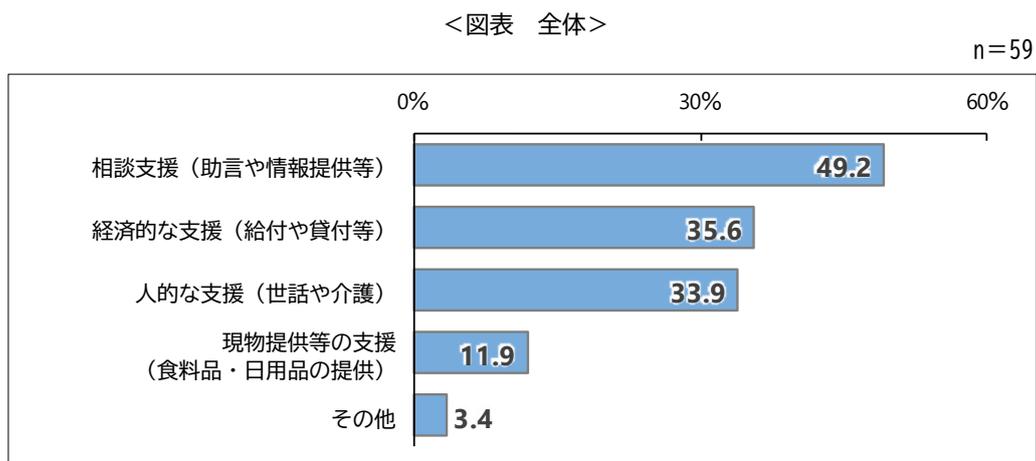
支援者の属性は、「行政機関（国や自治体）」が57.6%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が30.5%となっている。



(30) 支援内容

問18-2 あなたはどのような支援を受けていますか。(チェックはいくつでも)

支援内容は、「相談支援（助言や情報提供等）」が49.2%と最も多く、次いで「経済的な支援（給付や貸付等）」が35.6%、「人的な支援（世話や介護）」が33.9%となっている。



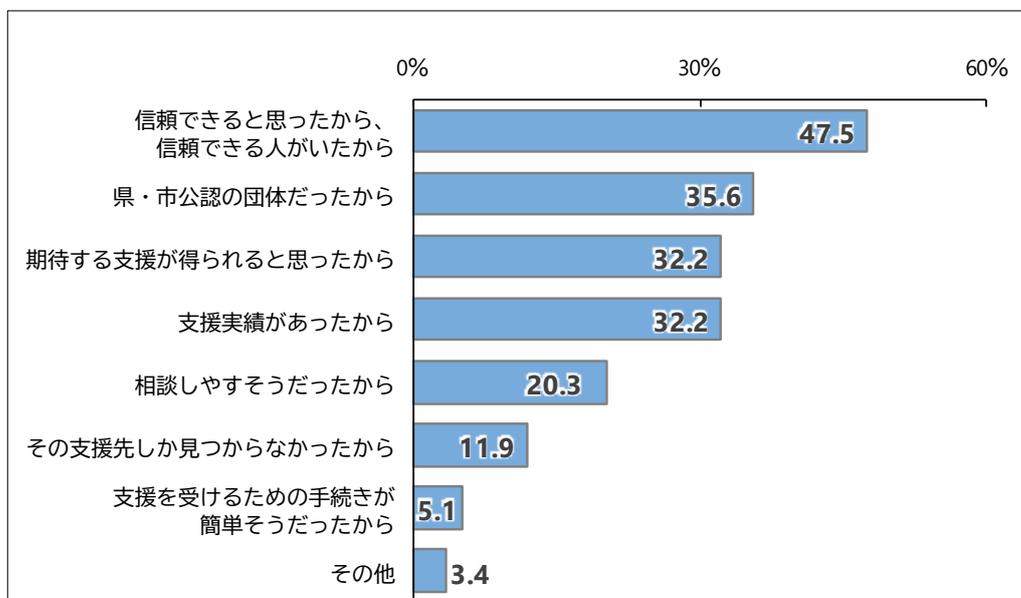
(31) 支援先を選んだ理由

問18-3 支援先を選んだ理由は何ですか。(チェックはいくつでも)

支援先を選んだ理由は、「信頼できると思ったから、信頼できる人がいたから」が47.5%と最も多く、次いで「県・市公認の団体だったから」が35.6%、「期待する支援が得られると思ったから」、「支援実績があったから」が32.2%となっている。

<図表 全体>

n=59



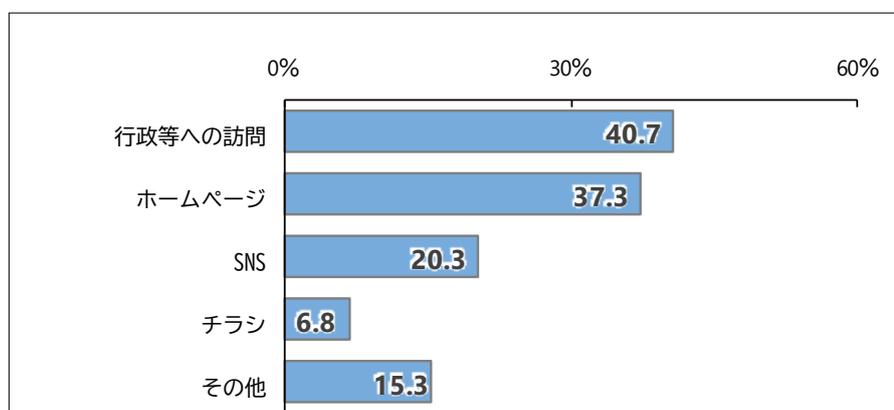
(32) 支援先を知ったきっかけ

問18-4 あなたはどのようにして支援先を知りましたか。(チェックはいくつでも)

支援先を知ったきっかけは、「行政等への訪問」が40.7%と最も多く、次いで「ホームページ」が37.3%となっている。

<図表 全体>

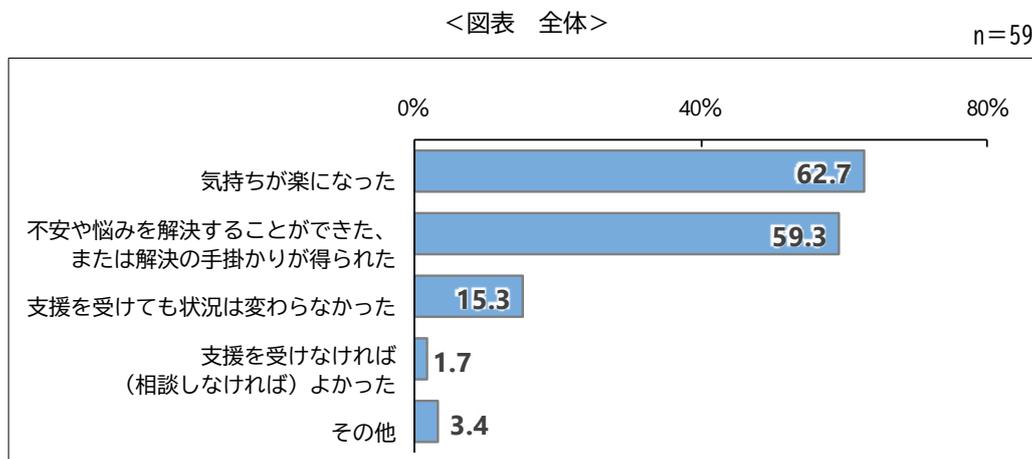
n=59



(33) 支援を受けた結果

問18-5 支援を受けた結果どう感じましたか。(チェックはいくつでも)

支援先を受けた結果は、「気持ち楽になった」が62.7%と最も多く、次いで「不安や悩みを解決することができた、または解決の手掛かりが得られた」が59.3%となっている。



(34) 支援を受けていない場合の理由

問18-6 その理由をお答えください。(チェックはいくつでも)

支援を受けていない場合の理由は、「支援を受けても状況は変わらないと思うため」が19.3%、「支援の受け方がわからないため」が17.1%となっている。一方、「支援が必要ではないため」が55.8%を占める。

性年代別でみると、「支援の受け方がわからないため」は女性30代（29.5%）で3割程度と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	支援が必要ではないため	支援を受けても状況は変わらない	支援の受け方がわからない	支援が必要だが、我慢できず	支援を受けるための手順が面倒であるため	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため(支援対象外の場合を含む)	その他
全体		1,121	55.8	19.3	17.1	11.1	10.3	5.5	3.3	0.8	0.9
性年代	男性20代以下	26	53.8	19.2	23.1	-	7.7	15.4	-	-	-
	男性30代	90	52.2	21.1	17.8	10.0	12.2	4.4	4.4	1.1	2.2
	男性40代	124	54.8	21.8	13.7	11.3	12.9	9.7	3.2	2.4	-
	男性50代	87	49.4	20.7	14.9	13.8	5.7	6.9	6.9	1.1	-
	男性60代	109	56.0	19.3	17.4	11.0	9.2	3.7	-	0.9	1.8
	男性70歳以上	65	50.8	29.2	10.8	21.5	9.2	1.5	3.1	-	-
	女性20代以下	87	60.9	13.8	13.8	11.5	17.2	6.9	3.4	-	2.3
	女性30代	88	44.3	17.0	29.5	11.4	12.5	10.2	4.5	-	2.3
	女性40代	171	56.7	19.3	14.6	9.9	10.5	4.1	3.5	-	-
	女性50代	154	62.3	15.6	20.1	5.8	6.5	0.6	1.3	1.3	1.3
女性60代	90	66.7	16.7	13.3	11.1	6.7	5.6	4.4	-	-	
女性70歳以上	21	42.9	23.8	23.8	33.3	19.0	4.8	4.8	-	-	

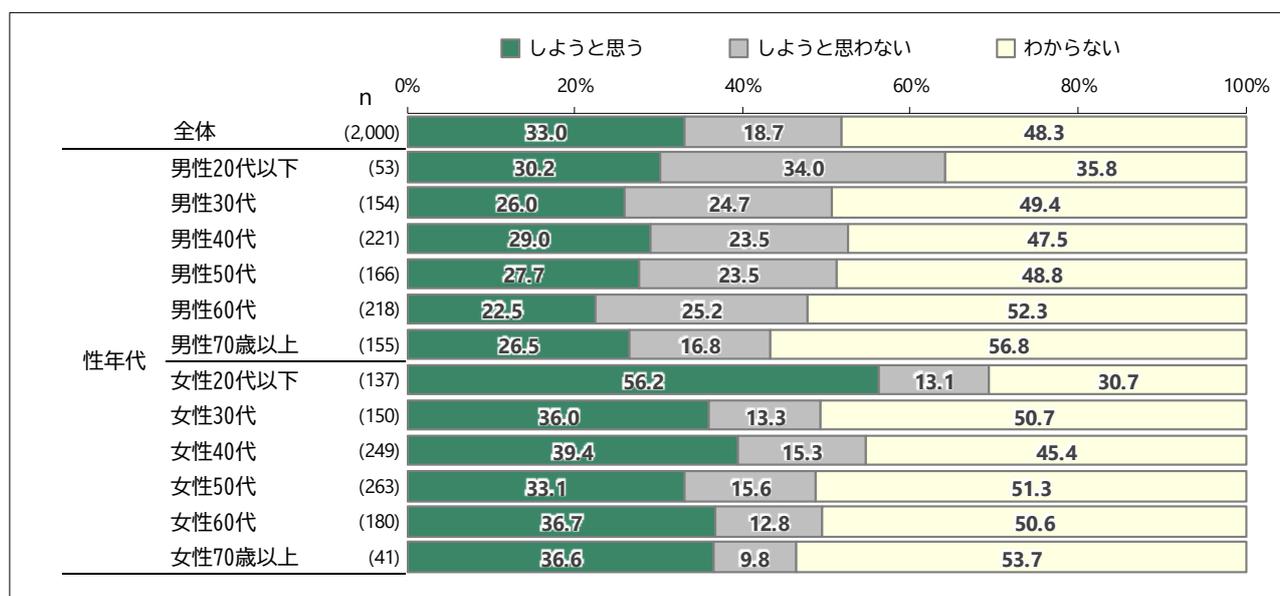
(35) 他者へのサポート意識

問19 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。(チェックはひとつだけ)

他者へのサポート意識は、「しようと思う」が33.0%、「しようと思わない」が18.7%となっている。

性年代別でみると、「しようと思う」は、女性20代以下（56.2%）で6割弱と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(36) 手助けをしようと思わない理由

問19-1 その理由をお答えください。(チェックはいくつでも)

手助けをしようと思わない理由は、「自分が何をすればよいかわからない」が39.0%と最も多く、次いで「不安や悩みの内容によると思う」が35.9%、「自分には役に立てることがない」が28.8%となっている。

性年代別でみると、「不安や悩みの内容によると思う」は、男性70歳以上（47.4%）、女性60代（60.5%）で多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	自分が何をすればよい	不安や悩みの内容によると思う	自分には役に立てることがない	いどかわからに接したらよい	そのような余裕がない	人に声をかけづらい	負担を感じる	面倒である	手間をかけたくない
全体		1,340	39.0	35.9	28.8	24.0	18.4	16.3	10.3	10.3	9.8
性年代	男性20代以下	271	37.6	22.5	29.5	19.9	22.5	16.2	10.3	11.1	14.0
	男性30代	114	38.6	24.6	27.2	20.2	21.1	12.3	11.4	12.3	16.7
	男性40代	157	36.9	21.0	31.2	19.7	23.6	19.1	9.6	10.2	12.1
	男性50代	120	31.7	25.0	30.8	15.0	15.8	14.2	9.2	14.2	13.3
	男性60代	169	36.7	34.9	29.0	25.4	20.1	13.0	10.1	9.5	11.2
	男性70歳以上	114	38.6	47.4	20.2	28.9	12.3	12.3	19.3	17.5	5.3
	女性20代以下	247	43.7	41.3	34.4	25.9	23.5	19.0	8.5	7.3	7.3
	女性30代	96	43.8	38.5	36.5	27.1	27.1	16.7	6.3	6.3	7.3
	女性40代	151	43.7	43.0	33.1	25.2	21.2	20.5	9.9	7.9	7.3
	女性50代	176	43.8	44.3	26.7	26.7	12.5	15.3	9.1	9.1	8.5
	女性60代	114	37.7	60.5	21.1	36.0	11.4	22.8	8.8	8.8	5.3
女性70歳以上	26	38.5	38.5	23.1	11.5	19.2	-	15.4	7.7	11.5	
		n	興味・関心がない	自分で解決すべきだと	思わなければならない	その他					
全体		1,340	7.7	7.0	2.5	3.6					
性年代	男性20代以下	271	12.2	7.0	3.3	5.2					
	男性30代	114	15.8	7.0	3.5	2.6					
	男性40代	157	9.6	7.0	3.2	7.0					
	男性50代	120	9.2	8.3	0.8	3.3					
	男性60代	169	7.7	8.9	4.1	1.8					
	男性70歳以上	114	5.3	10.5	1.8	3.5					
	女性20代以下	247	4.9	3.6	2.8	2.8					
	女性30代	96	6.3	5.2	3.1	3.1					
	女性40代	151	4.0	2.6	2.6	2.6					
	女性50代	176	6.3	6.3	1.1	3.4					
	女性60代	114	5.3	6.1	2.6	3.5					
女性70歳以上	26	3.8	7.7	7.7	3.8						

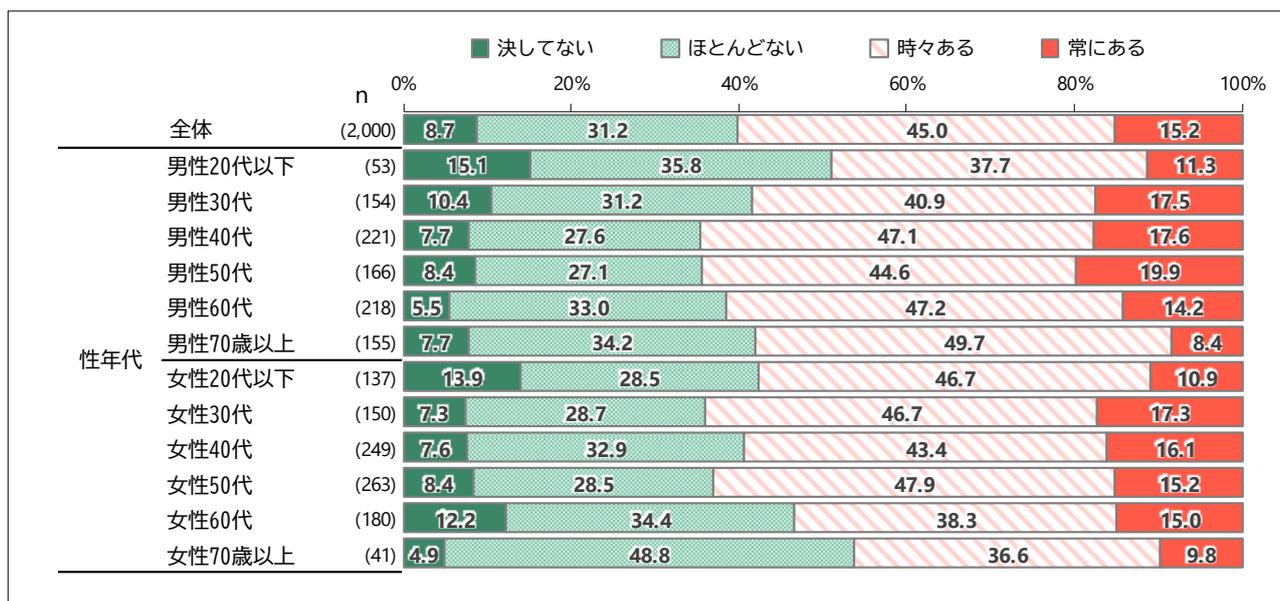
(37) 人とのつきあいがないと感じること

問20 あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。(チェックはひとつだけ)

人とのつきあいがないと感じることは、『ない（決してない+ほとんどない合計）』が39.9%、『ある（時々ある+常にある合計）』が60.2%となっている。

性年代別でみると、『ある』は、男性40代、男性50代、女性30代、女性50代で6割台と多い。

<図表 全体、性年代別>



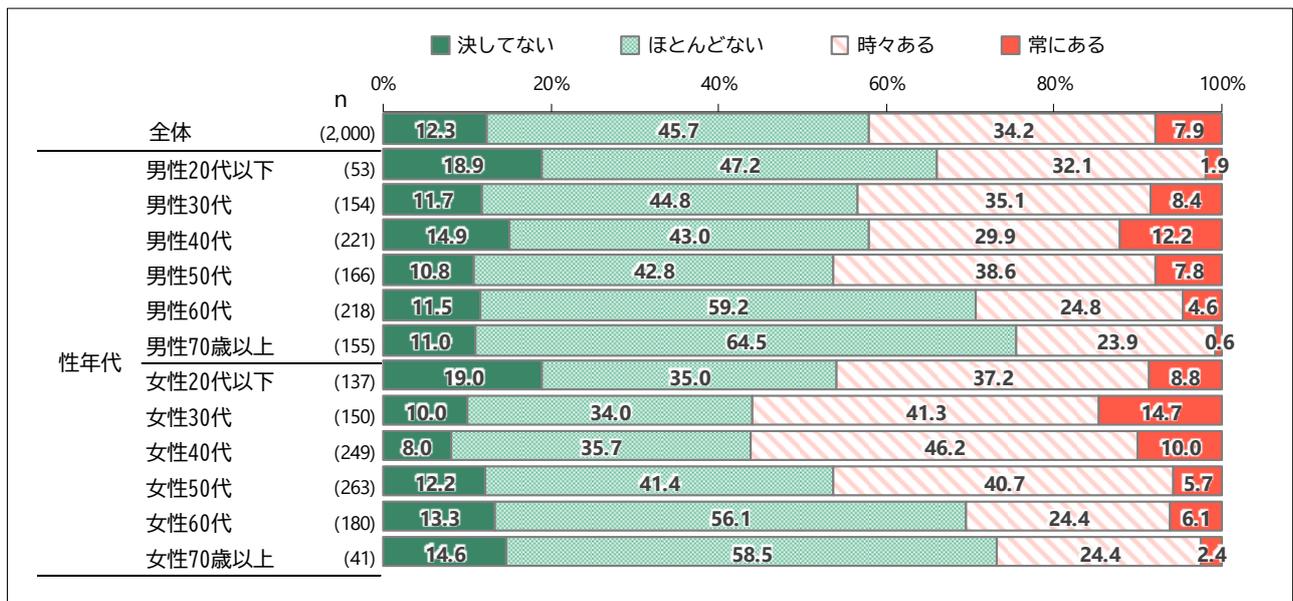
(38) 取り残されていると感じること

問21 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。(チェックはひとつだけ)

取り残されていると感じることは、『ない(決してない+ほとんどない合計)』が58.0%、『ある(時々ある+常にある合計)』が42.1%となっている。

性年代別でみると、『ある』は、女性30代~40代で6割弱と多い。

<図表 全体、性年代別>



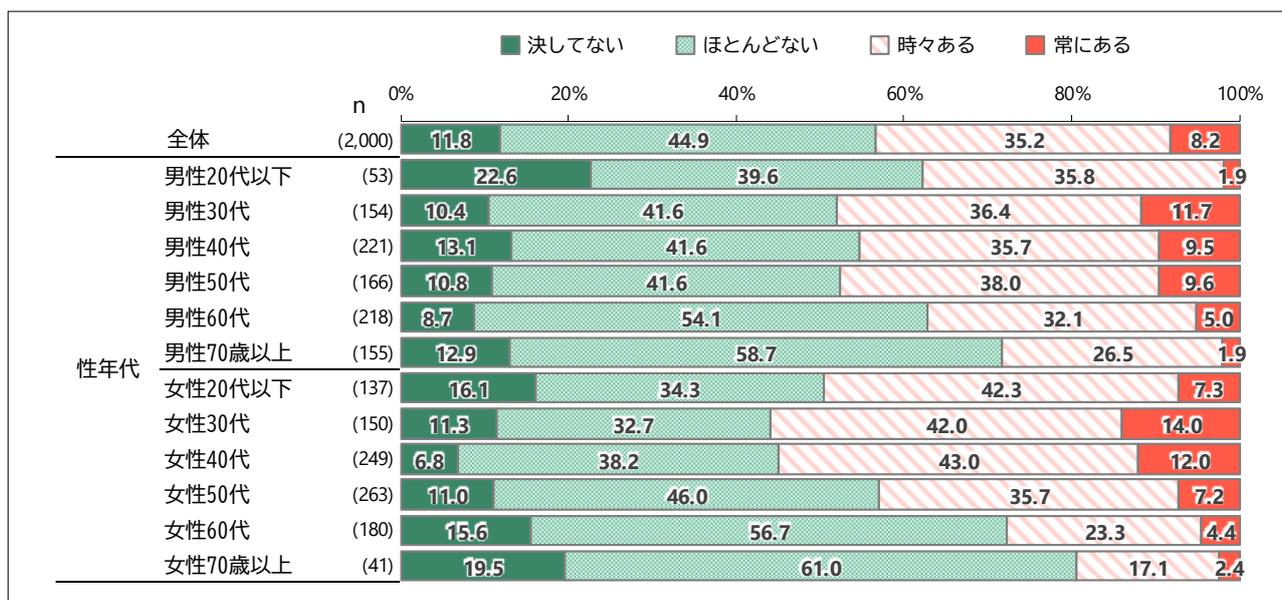
(39) 孤立していると感じること

問22 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(チェックはひとつだけ)

孤立していると感じることは、『ない（決してない+ほとんどない合計）』が56.7%、『ある（時々ある+常にある合計）』が43.4%となっている。

性年代別でみると、『ある』は、女性30代~40代で5割台と多い。

<図表 全体、性年代別>



(40) UCLA孤独感尺度（間接質問）

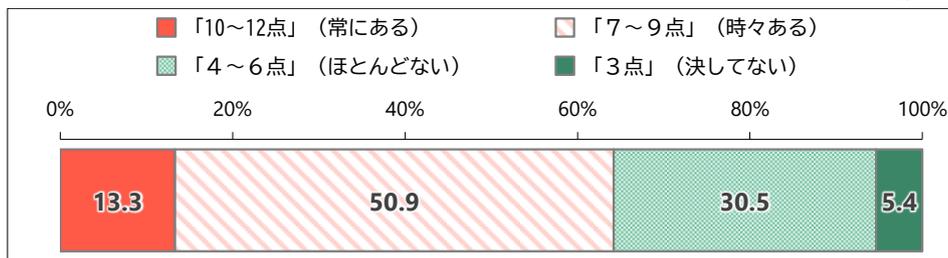
UCLA孤独感尺度

孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定する「UCLA孤独感尺度」に基づく質問。問20～22の3つの設問への回答を点数化し、その合計スコア（本調査では最低点3点～最高点12点）が高いほど孤独感が高いと評価。

UCLA孤独感尺度は、孤独感スコアが「10～12点」が13.3%、「7～9点」が50.9%となっている。一方で「4～6点」が30.5%、「3点」が5.4%となっている。

<図表 全体>

n=2,000



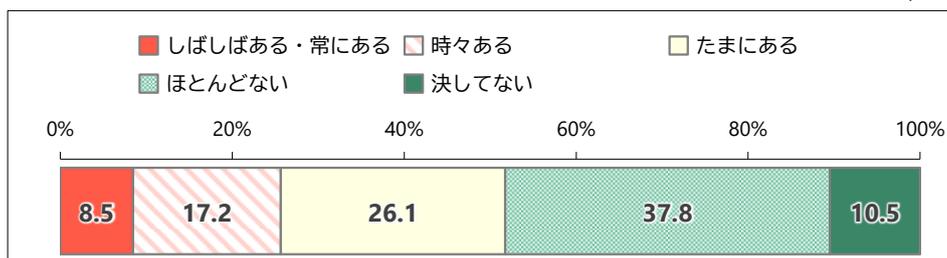
(41) 孤独感（直接質問）

問23 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（チェックはひとつだけ）

孤独感は、「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は8.5%、「時々ある」が17.2%、「たまにある」が26.1%であった。一方で孤独感が「ほとんどない」と回答した人は37.8%、「決してない」が10.5%であった。

<図表 全体>

n=2,000

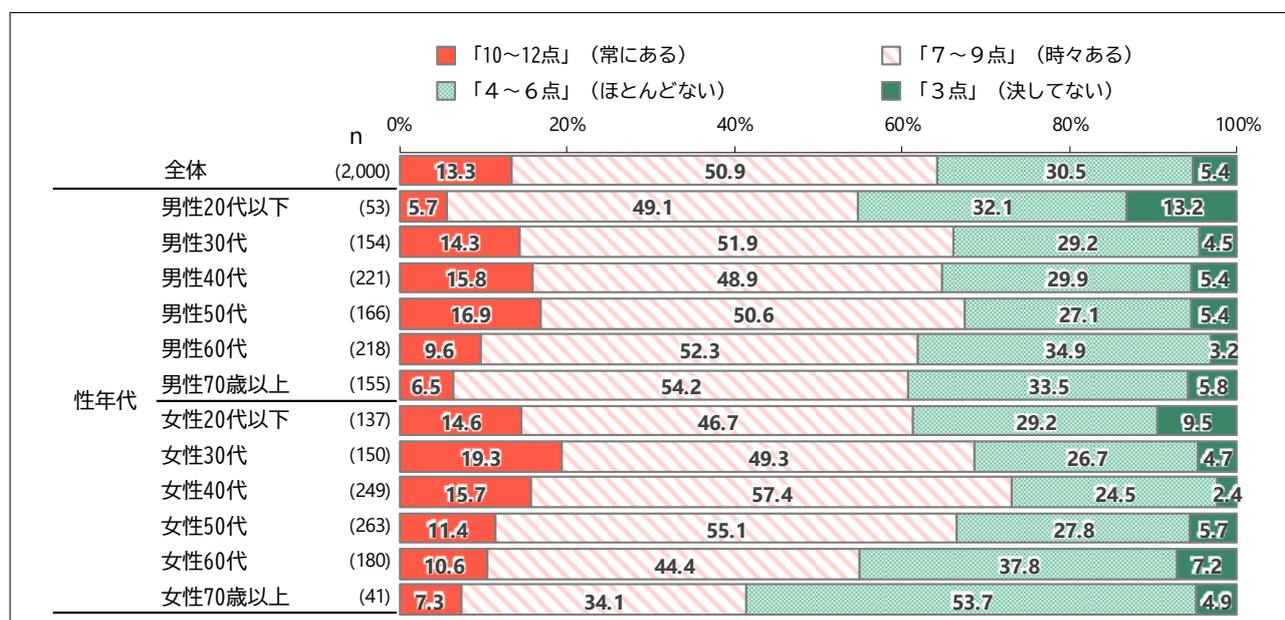


孤独感クロス集計（間接質問、直接質問の比較）

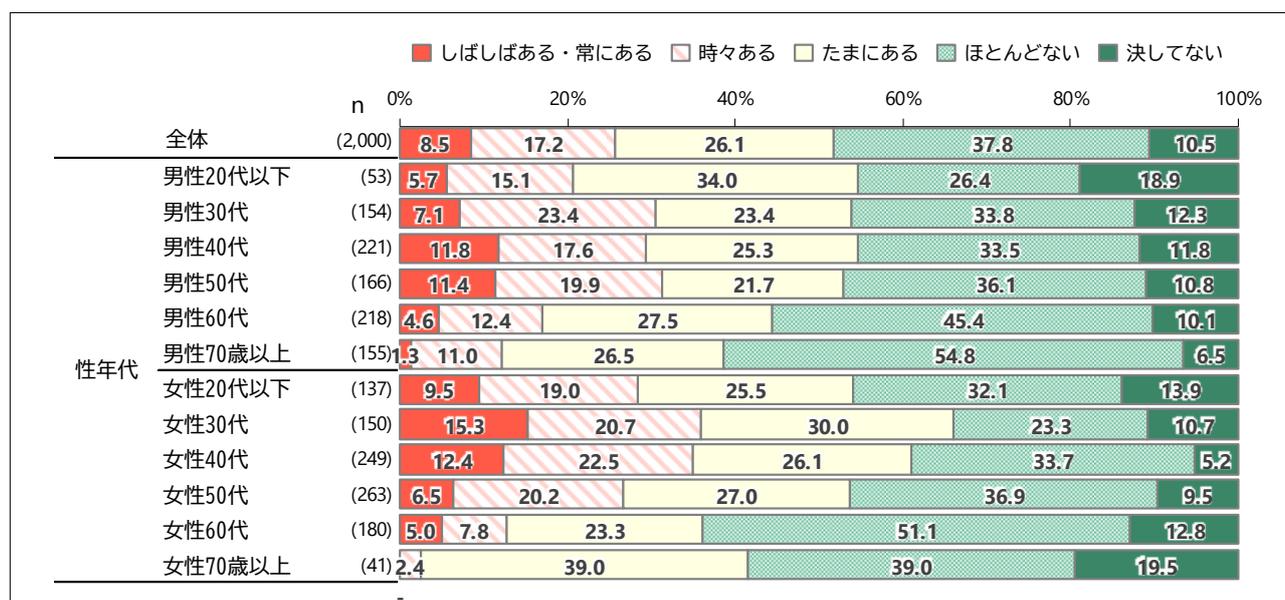
孤独感（間接質問）を性年代別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、男性では50代（16.9%）、女性では30代（19.3%）が最も多い。また、男性は30代～50代、女性は20代～40代で孤独感が高い傾向となっている。

孤独感（直接質問）を性年代別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男性では40代（11.8%）、女性では30代（15.3%）が最も多い。一方、「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男女ともに70歳以上で最も少なくなっている。

<図表 全体、性年代別（間接質問）>



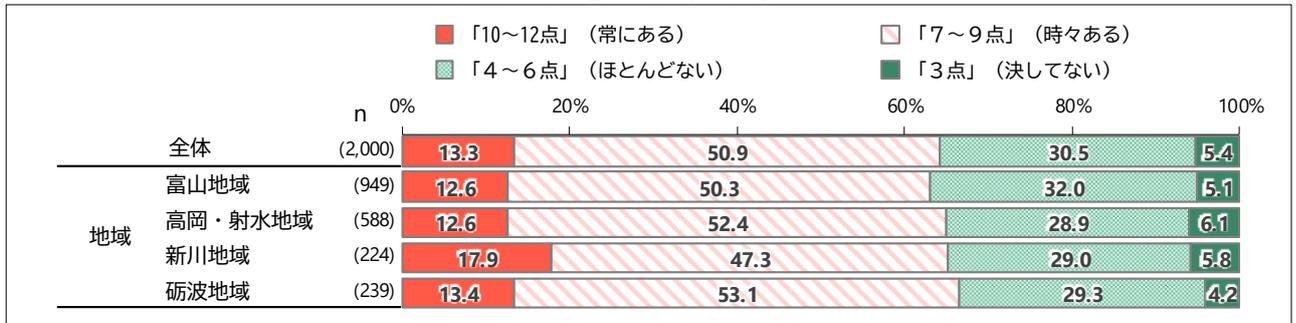
<図表 全体、性年代別（直接質問）>



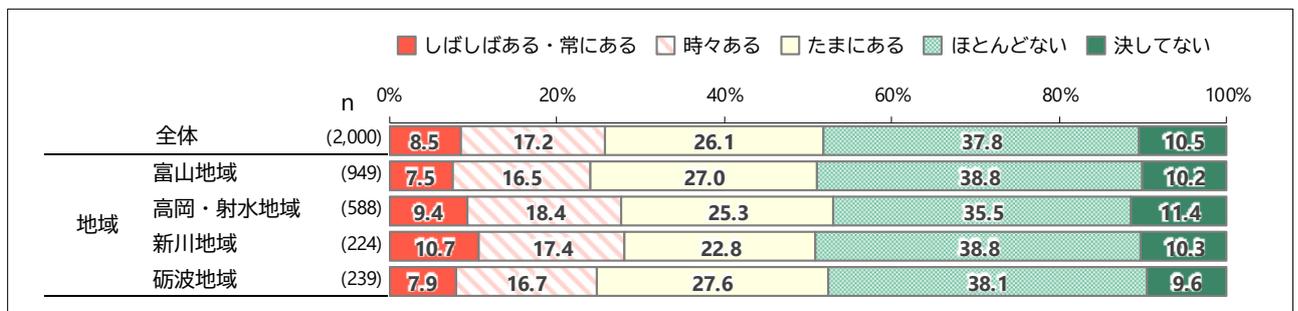
孤独感（間接質問）を地域別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、新川地域（17.9%）で2割弱と最も多くなっている。

孤独感（直接質問）を地域別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、新川地域（10.7%）で約1割とやや多い。

<図表 全体、地域別（間接質問）>



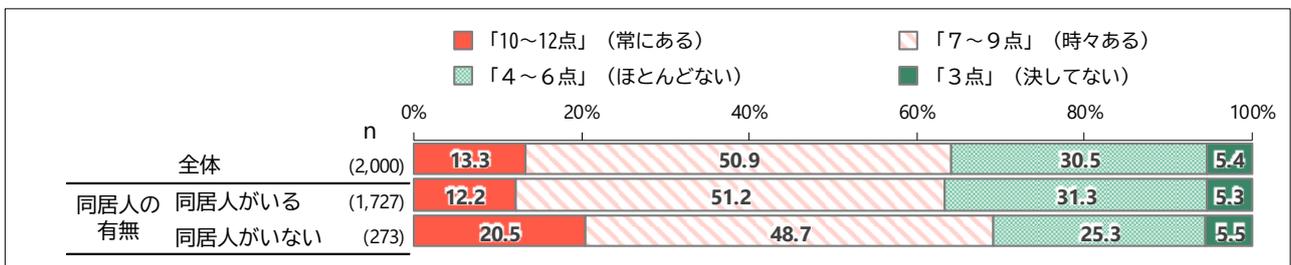
<図表 全体、地域別（直接質問）>



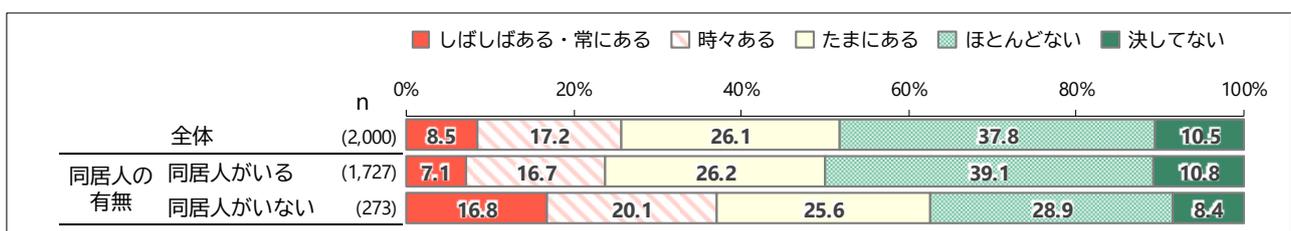
孤独感（間接質問）を同居人の有無別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、同居人がいる人が12.2%、同居人がいない人が20.5%となっている。

孤独感（直接質問）を同居人の有無別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、同居人がいる人が7.1%、同居人がいない人が16.8%となっている。

<図表 全体、同居人の有無別（間接質問）>



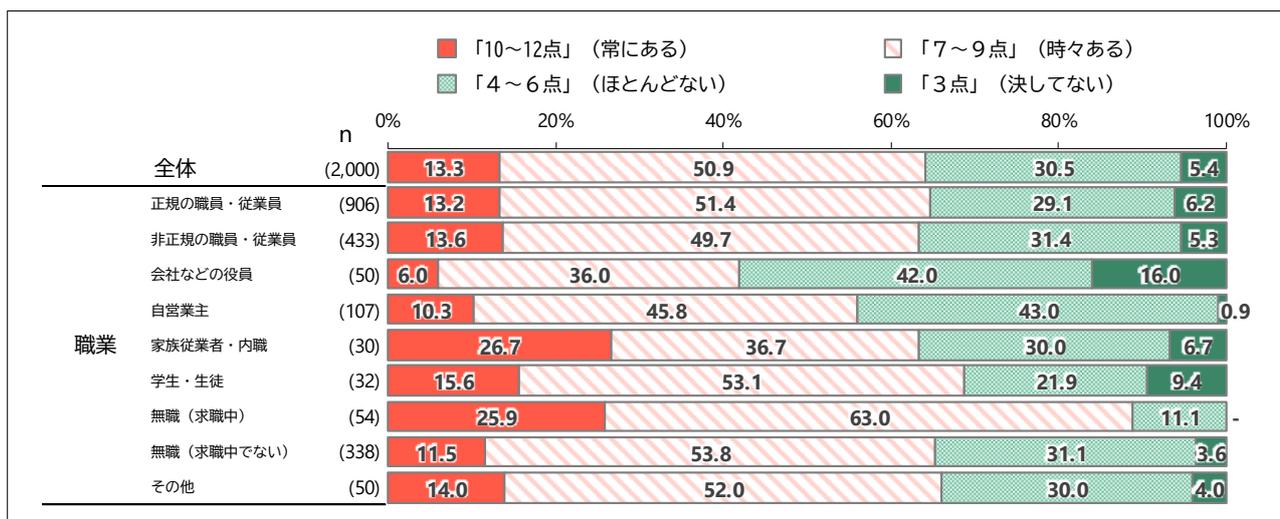
<図表 全体、同居人の有無別（直接質問）>



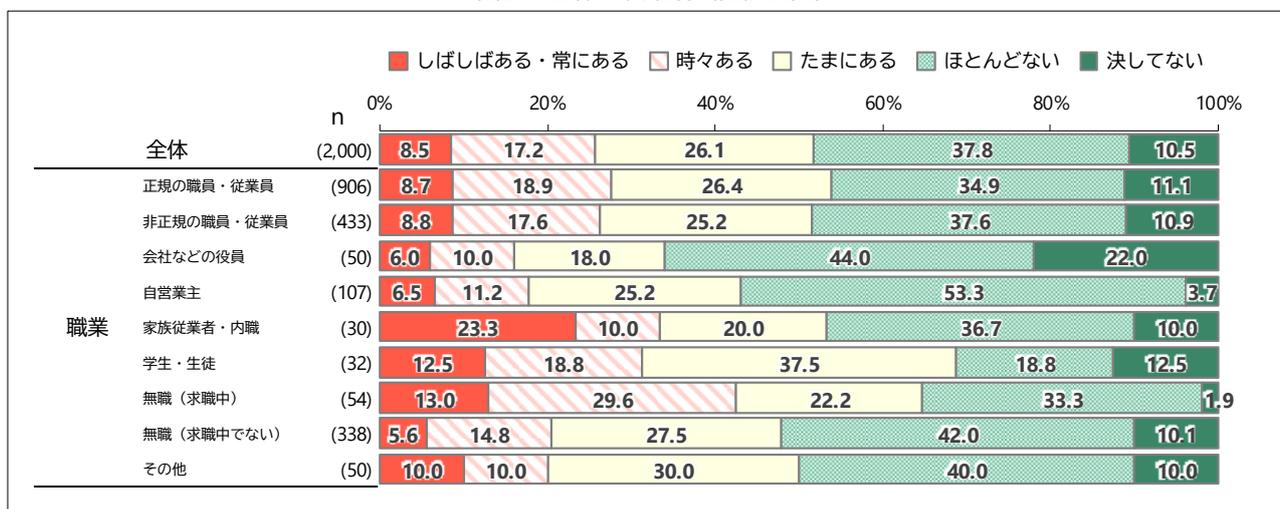
孤独感（間接質問）を職業別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、家族従事者・内職が26.7%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、会社などの役員で6.0%となっている。

孤独感（直接質問）を職業別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、家族従事者・内職が23.3%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、無職（求職中でない）で5.6%となっている。

<図表 全体、職業別（間接質問）>



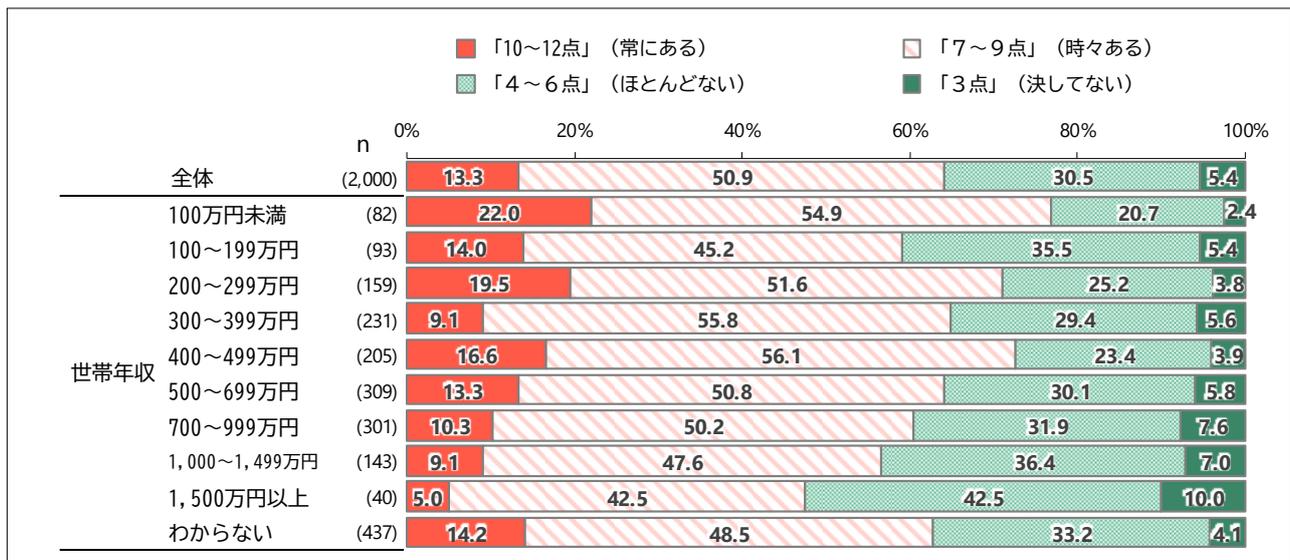
<図表 全体、職業別（直接質問）>



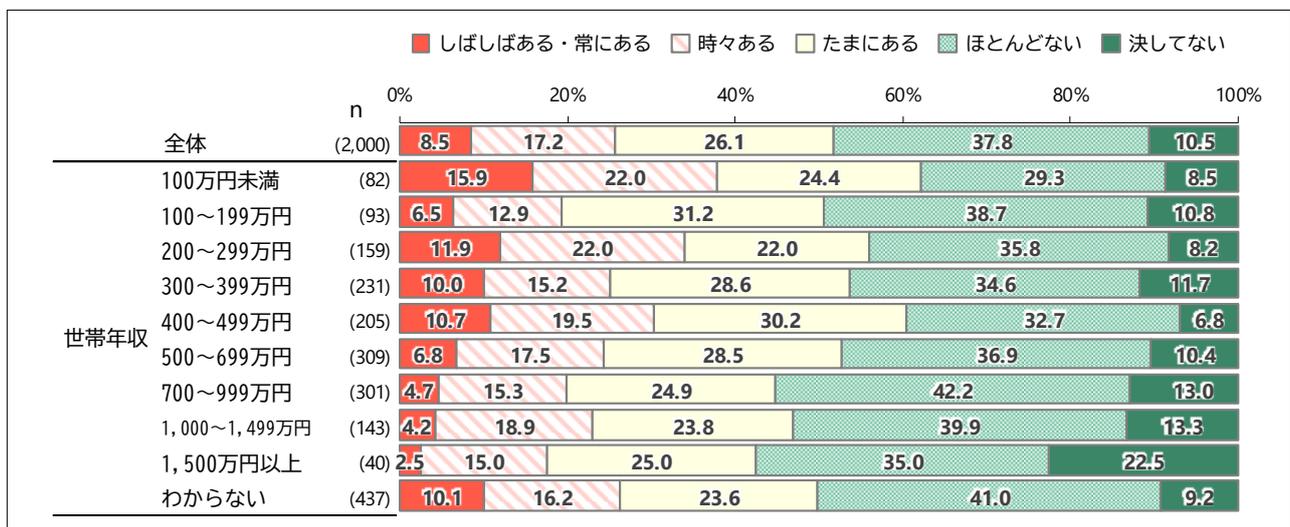
孤独感（間接質問）を世帯収入別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、年収100万円未満の人が22.0%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、年収1,500万円以上の人で5.0%となっている。

孤独感（直接質問）を世帯収入別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、年収100万円未満の人が15.9%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、年収1,500万円以上の人で2.5%となっている。

<図表 全体、世帯年収別（間接質問）>



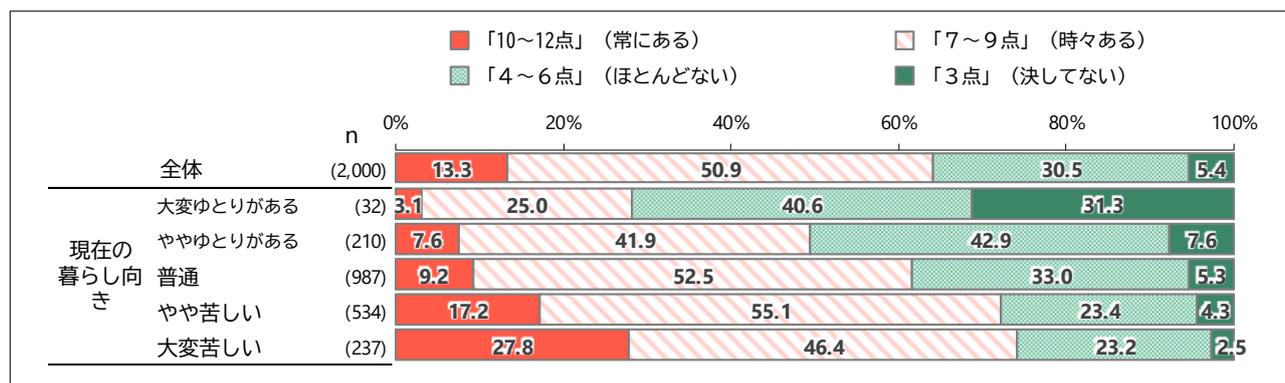
<図表 全体、世帯年収別（直接質問）>



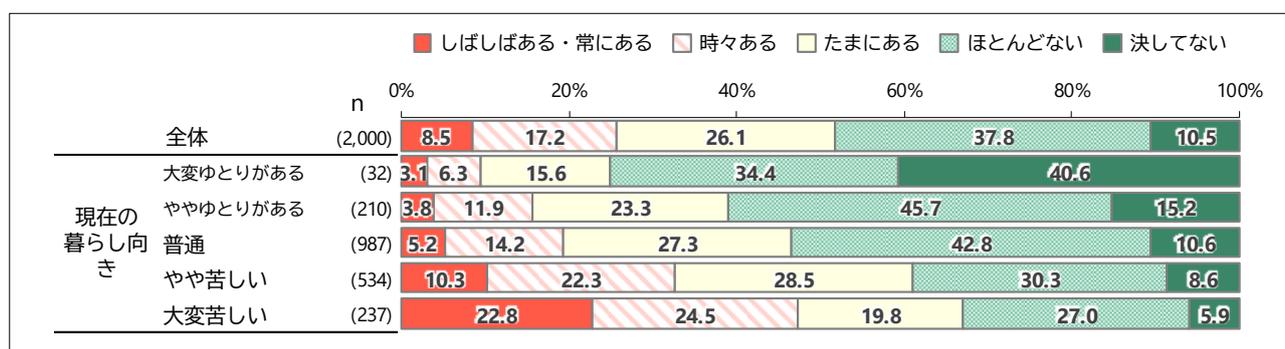
孤独感（間接質問）を現在の暮らし向き別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、大変苦しい人が27.8%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、大変ゆとりがある人で3.1%となっている。

孤独感（直接質問）を現在の暮らし向き別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、大変苦しい人が22.8%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、大変ゆとりがある人で3.1%となっている。

<図表 全体、現在の暮らし向き別（間接質問）>



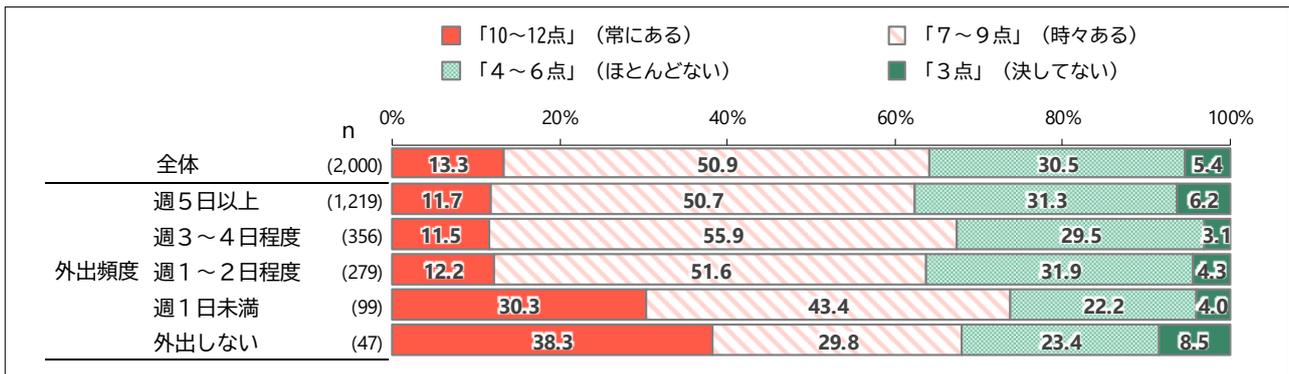
<図表 全体、現在の暮らし向き別（直接質問）>



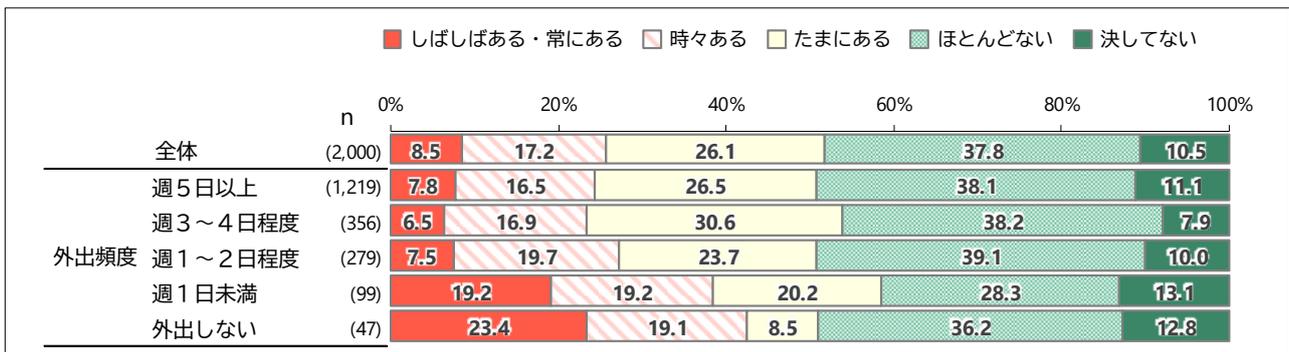
孤独感（間接質問）を外出頻度別で見ると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、外出しない人が38.3%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、週3～4日程度の人で11.5%となっている。

孤独感（直接質問）を外出頻度別で見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、外出しない人が23.4%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、週3～4日程度の人で6.5%となっている。

<図表 全体、外出頻度別（間接質問）>



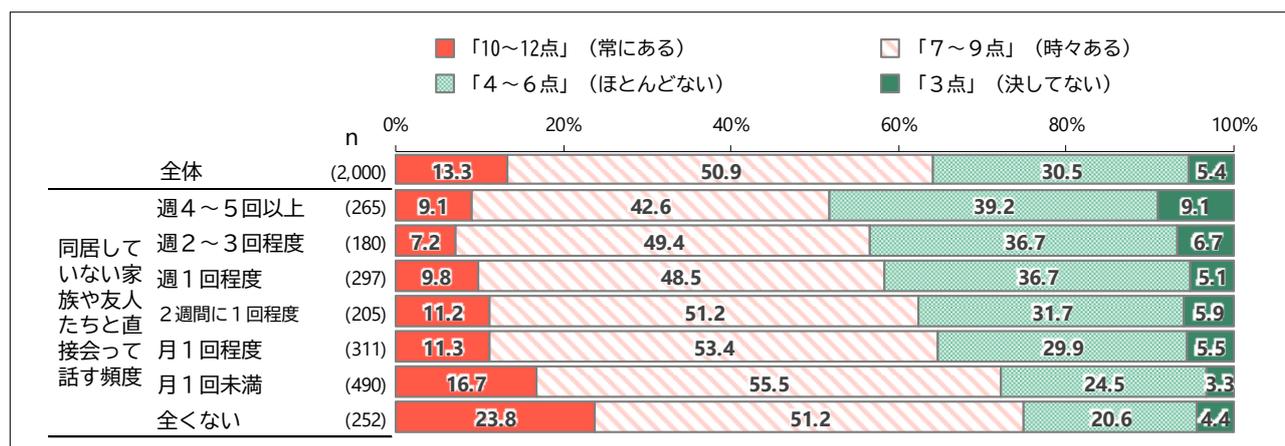
<図表 全体、外出頻度別（直接質問）>



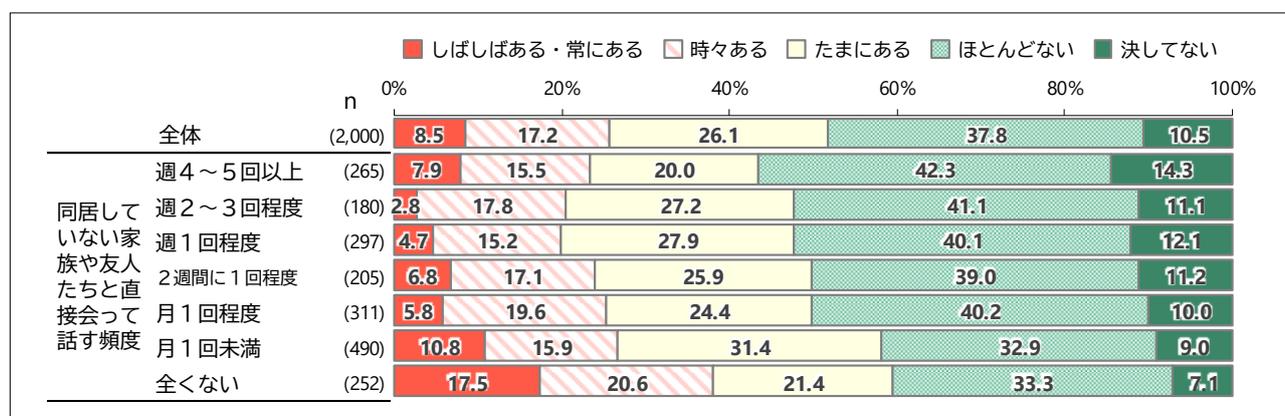
孤独感（間接質問）を同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、全くない人が23.8%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、週2～3回程度の人で7.2%となっている。

孤独感（直接質問）を同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、全くない人が17.5%で最も多くなっている。一方、その割合が最も少ないのは、週2～3回程度の人で2.8%となっている。

<図表 全体、同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別（間接質問）>



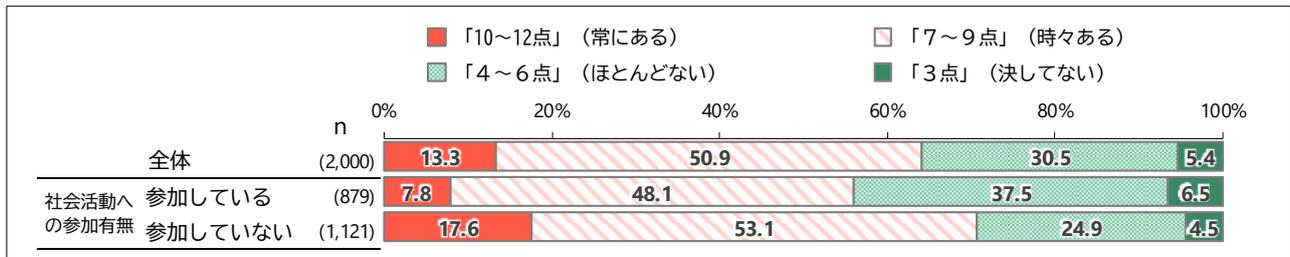
<図表 全体、同居していない家族や友人たちと直接会って話す頻度別（直接質問）>



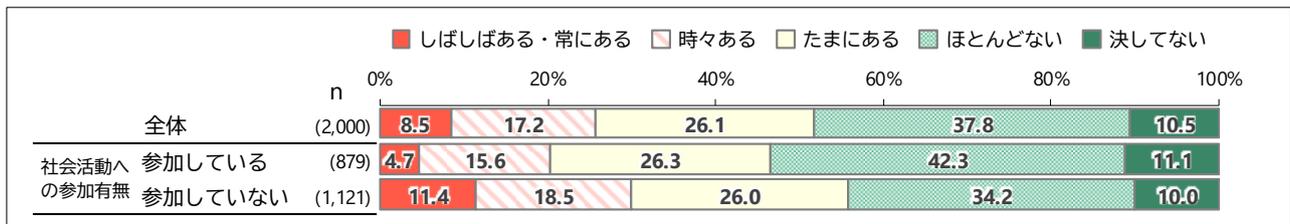
孤独感（間接質問）を社会活動への参加有無別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、社会活動に参加している人が7.8%、参加していない人が17.6%となっている。

孤独感（直接質問）を社会活動への参加有無別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、社会活動に参加している人が4.7%、参加していない人が11.4%となっている。

<図表 全体、社会活動への参加有無別（間接質問）>



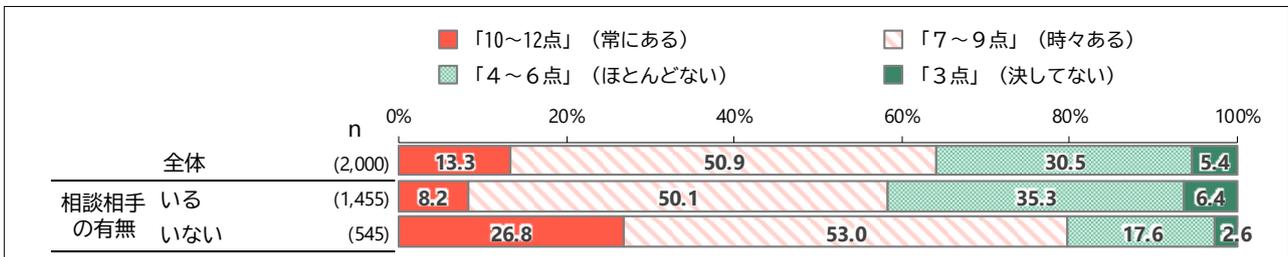
<図表 全体、社会活動への参加有無別（直接質問）>



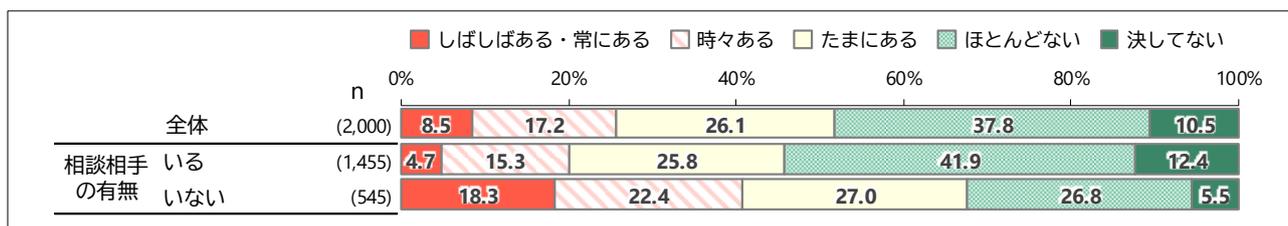
孤独感（間接質問）を不安や悩みの相談相手の有無別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、相談相手がいる人が8.2%、相談相手がない人が26.8%となっている。

孤独感（直接質問）を不安や悩みの相談相手の有無別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手がいる人が4.7%、相談相手がない人が18.3%となっている。

<図表 全体、相談相手の有無別（間接質問）>



<図表 全体、相談相手の有無別（直接質問）>



不安や悩みを相談する際の感情を孤独感（間接・直接質問）別でみると、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」「相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる」人の割合は、概ね孤独感スコアの点数が低くなるにつれ多くなっている。

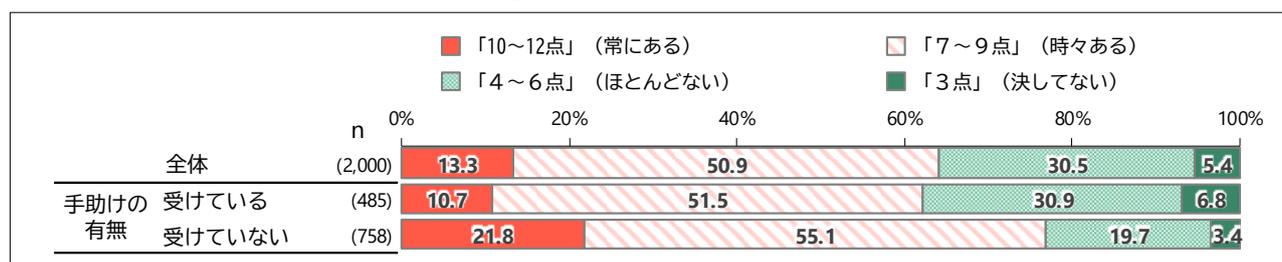
<図表 全体、孤独感（間接・直接質問）別（不安や悩みを相談する際の感情）>

		n	りが、談 得ます られた ことは 解決で の解決 手掛で かき	く相 と談 もす 気る 持こ ちと がで 楽解 に決 しな	るや相 の、手 が不安 面に 倒や で悩 み取 るこ を説 明と す	い相 談 す る こ と が 恥 ず か し	な相 談 す る と 相 手 の 負 担 に	い（相 談 し て も 無 駄 解 決 し な る	そ の 他
全体		2,000	41.5	60.3	11.1	9.6	14.0	17.0	0.6
孤独感 (間接質問)	「10~12点」(常にある)	266	25.9	45.9	13.9	17.7	29.3	36.8	1.1
	「7~9点」(時々ある)	1,018	37.8	60.8	12.7	10.1	15.2	16.2	0.2
	「4~6点」(ほとんどない)	609	51.2	65.4	8.0	6.1	6.9	10.8	0.8
	「3点」(決してない)	107	59.8	61.7	5.6	3.7	3.7	10.3	0.9
孤独感 (直接質問)	しばしばある・常にある	169	28.4	43.8	16.0	21.3	29.0	40.8	1.8
	時々ある	344	30.5	54.4	14.8	12.5	19.2	22.1	-
	たまにある	522	39.3	62.8	11.9	9.8	13.6	17.2	0.6
	ほとんどない	755	46.6	64.4	9.1	6.9	10.6	11.5	0.5
	決してない	210	57.1	61.9	5.7	4.3	6.2	8.6	0.5

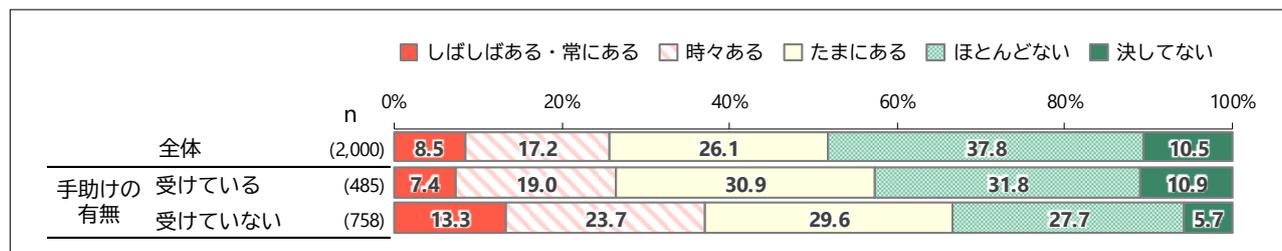
孤独感（間接質問）を問題解決のための手助けの有無別でみると、孤独感スコアが「10~12点」の人の割合は、手助けを受けている人が10.7%、手助けを受けていない人が21.8%となっている。

孤独感（直接質問）を問題解決のための手助けの有無別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、手助けを受けている人が7.4%、手助けを受けていない人が13.3%となっている。

<図表 全体、問題解決のための手助けの有無別（間接質問）>



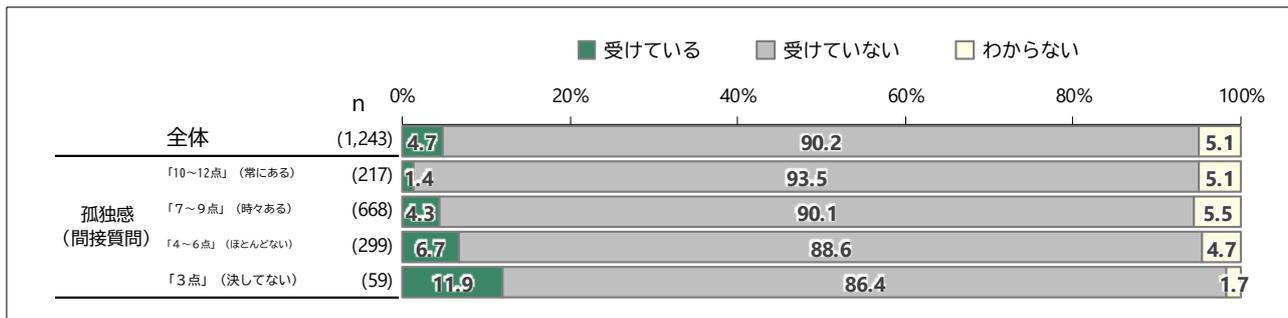
<図表 全体、問題解決のための手助けの有無別（直接質問）>



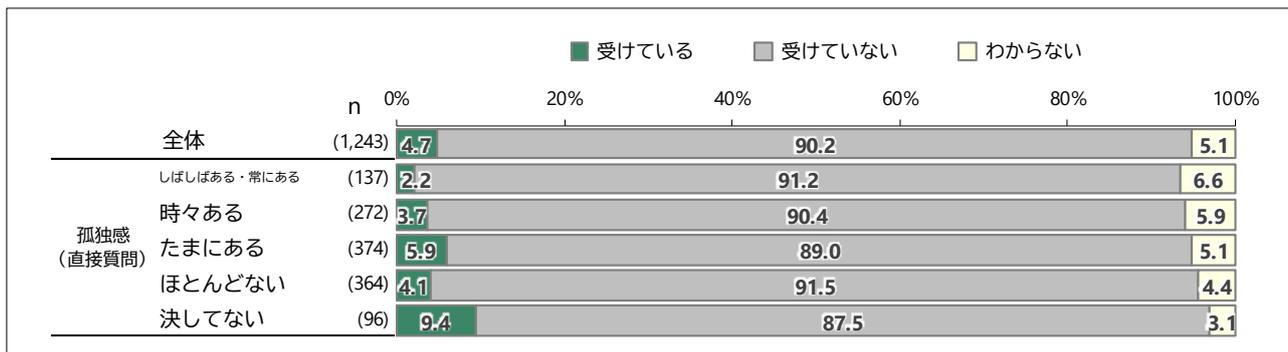
また、問題解決のための手助けの有無を孤独感（間接質問）別で見ると、手助けを受けている人の割合は、孤独感スコアの点数が低くなるにつれ多くなっており、「3点」が11.9%、「10～12点」が1.4%となっている。

問題解決のための手助けの有無を孤独感（直接質問）別で見ると、手助けを受けている人の割合は、孤独感が「決してない」が9.4%と最も多く、「しばしばある・常にある」が2.2%となっている。

<図表 全体、孤独感（間接質問）別（問題解決のための手助けの有無）>



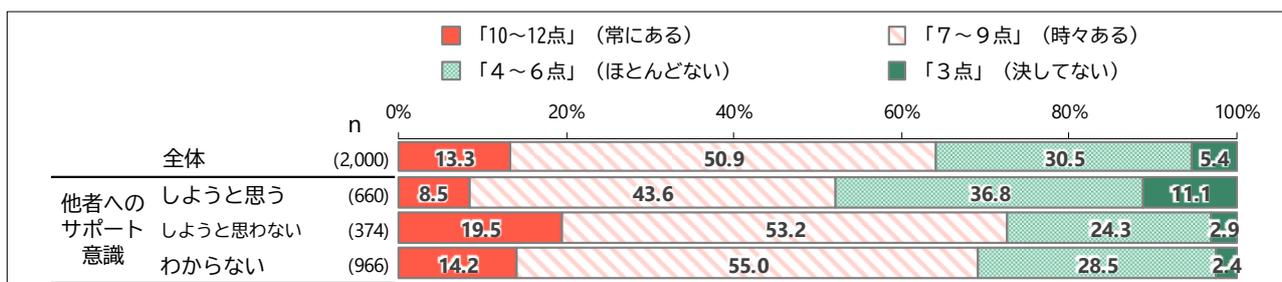
<図表 全体、孤独感（直接質問）別（問題解決のための手助けの有無）>



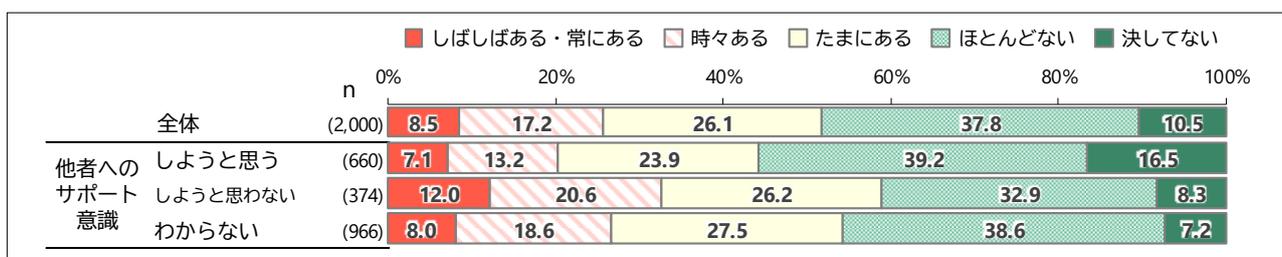
孤独感（間接質問）を他者へのサポート意識別でみると、孤独感スコアが「10～12点」の人の割合は、しようと思う人が8.5%、しようと思わない人が19.5%となっている。

孤独感（直接質問）を他者へのサポート意識別でみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、しようと思う人が7.1%、しようと思わない人が12.0%となっている。

<図表 全体、他者へのサポート意識別（間接質問）>



<図表 全体、他者へのサポート意識別（直接質問）>



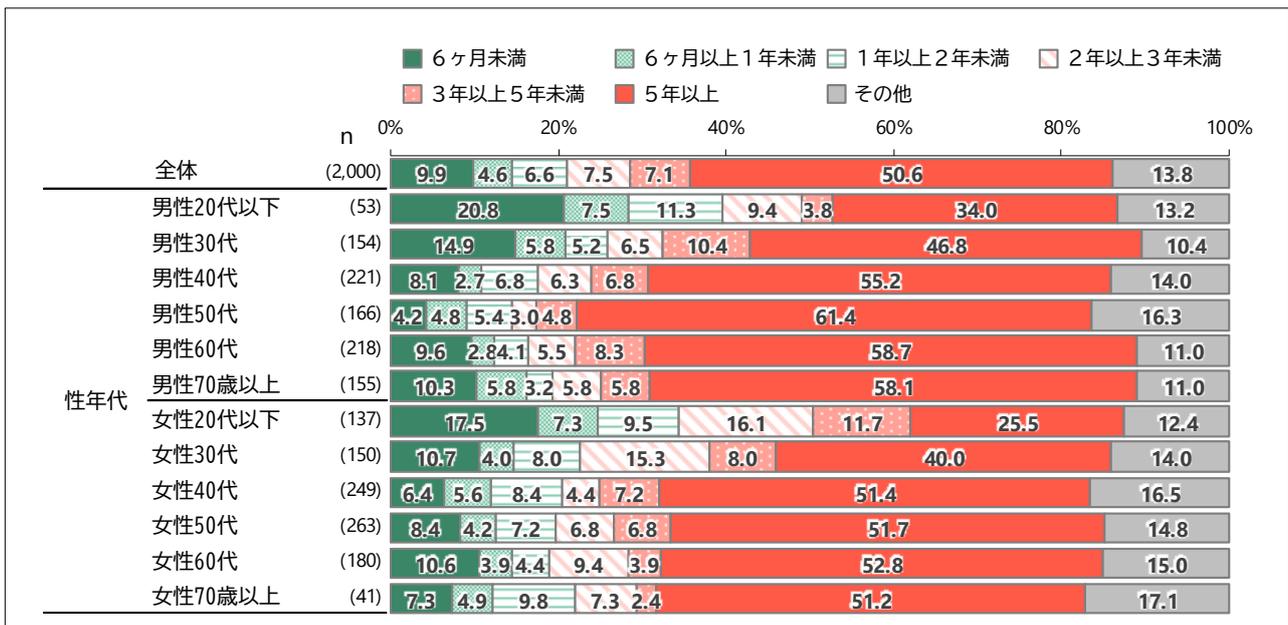
(42) 孤独感の継続期間

問24 その状況（問23で回答した状況）はどの程度前から続いていますか。（チェックはひとつだけ）

孤独感の継続期間は、「5年以上」が50.6%と最も多く、次いで「その他」が13.8%、「6ヶ月未満」が9.9%となっている。

性年代別でみると、「5年以上」は、男性50代（61.4%）で6割強と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(43) これまでに経験したライフイベント

問25 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。(チェックはいくつでも)

これまでに経験したライフイベントは、「転居」が62.8%と最も多く、次いで「転校・転職・離職・退職（失業を除く）」が59.2%、「一人暮らし」が58.8%、「家族との死別」が51.6%となっている。一方、「いずれもない」は4.6%となっている。

性年代別でみると、「転居」は女性30代で7割半ば、「転校・転職・離職・退職（失業を除く）」は女性40代で7割半ばと多い。また、「一人暮らし」は男性30代～40代で7割台と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	一人暮らし	転居	（転校・転職・離職・退職（失業を除く））	（失業・退職・退学・休学（中退・不登校を含む））	妊娠・出産・子育て	介護・介助	子どもの独り立ち	家族の病気・障害	家族との離別	家族との死別
全体		2,000	58.8	62.8	59.2	24.0	40.0	19.2	24.2	40.5	15.4	51.6
性年代	男性20代以下	53	58.5	34.0	26.4	5.7	9.4	-	-	7.5	7.5	13.2
	男性30代	154	78.6	68.8	51.3	18.8	33.1	9.1	-	25.3	8.4	35.7
	男性40代	221	70.6	61.1	53.4	22.2	28.5	8.1	4.1	26.2	12.7	38.9
	男性50代	166	65.1	58.4	48.2	25.3	16.9	15.1	19.3	33.7	13.9	49.4
	男性60代	218	66.1	63.3	66.5	20.2	11.9	25.2	44.5	48.6	14.7	68.8
	男性70歳以上	155	47.7	53.5	54.2	15.5	11.6	29.7	51.0	48.4	13.5	72.9
	女性20代以下	137	56.9	54.7	42.3	20.4	21.9	3.6	-	19.0	6.6	20.4
	女性30代	150	67.3	74.7	68.0	30.7	54.0	4.7	0.7	30.7	13.3	44.7
	女性40代	249	59.4	69.9	75.9	33.7	61.4	12.9	9.2	43.8	16.9	45.8
	女性50代	263	43.7	66.2	66.9	32.3	63.9	27.0	38.0	56.3	20.5	59.7
女性60代	180	44.4	61.1	62.2	20.6	77.2	51.7	64.4	61.7	27.2	74.4	
女性70歳以上	41	26.8	56.1	36.6	7.3	70.7	43.9	65.9	61.0	22.0	78.0	

		n	と家族以外の親しい知人等との死別	待（家庭内別居・DV・虐待を含む）	（心身の重大なトラブル（病気・怪我等））	仕事上（職場）の重大なトラブル	メンタル等（いじめ・ハラなど）を含む	人間関係による重大なトラブル	金銭による重大なトラブル	生活困窮・貧困	被害等	自然災害の被災・犯罪の	その他の出来事	いずれもない
全体		2,000	23.7	9.6	22.6	13.9	18.1	8.6	8.6	1.9	0.4	4.6		
性年代	男性20代以下	53	1.9	3.8	7.5	5.7	7.5	3.8	9.4	1.9	-	17.0		
	男性30代	154	13.6	5.8	16.2	16.2	18.8	8.4	7.1	1.3	-	5.2		
	男性40代	221	20.8	7.7	17.6	14.9	15.4	10.0	8.6	1.8	-	5.0		
	男性50代	166	23.5	4.8	17.5	20.5	14.5	12.7	11.4	1.2	-	4.2		
	男性60代	218	34.4	5.0	24.3	16.1	7.8	8.7	7.3	0.9	-	2.8		
	男性70歳以上	155	51.0	3.9	23.9	7.1	3.9	3.9	1.3	3.9	1.3	5.8		
	女性20代以下	137	8.0	8.8	19.0	8.0	25.5	5.1	5.8	2.9	0.7	12.4		
	女性30代	150	10.7	11.3	22.0	12.0	24.0	8.7	16.0	2.7	0.7	1.3		
	女性40代	249	16.9	12.4	26.9	14.5	25.3	8.8	8.4	1.2	-	2.0		
	女性50代	263	24.3	19.0	28.9	17.5	27.8	12.5	11.8	1.5	1.5	3.4		
女性60代	180	32.2	11.7	25.0	10.0	17.8	6.1	4.4	1.7	-	3.9			
女性70歳以上	41	51.2	4.9	31.7	9.8	4.9	2.4	12.2	2.4	-	4.9			

(44) これまでに経験したライフイベント（孤独感に影響を与えた出来事）

問25-1 現在の孤独感（問23で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。（チェックはいくつでも）

これまでに経験したライフイベント（孤独感に影響を与えた出来事）は、「特に影響を与えたとと思われる出来事はない」が40.1%となっている。一方、内容としては、「家族との死別」が11.8%と最も多く、次いで「一人暮らし」が10.6%、「転校・転職・離職・退職（失業を除く）」が8.4%となっている。

性年代別でみると、「家族との死別」は男女70歳以上で2割～3割台、「一人暮らし」は男女20代以下で2割台と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	一人暮らし	転居	転校・転職・離職・退職 (失業を除く)	失業・休職・退学・休学 (中退・不登校を含む)	妊娠・出産・子育て	介護・介助	子どもの独り立ち	家族の病気・障害	家族との離別	家族との死別
全体		1,908	10.6	4.9	8.4	4.7	5.8	3.1	2.7	5.5	3.4	11.8
性年代	男性20代以下	44	25.0	6.8	6.8	4.5	4.5	-	-	-	4.5	2.3
	男性30代	146	15.1	3.4	8.2	6.8	4.8	0.7	-	2.7	2.7	3.4
	男性40代	210	18.1	4.8	7.1	2.9	1.4	1.4	0.5	3.8	2.9	8.1
	男性50代	159	10.1	3.8	6.9	5.7	1.3	2.5	1.9	3.8	4.4	11.3
	男性60代	212	11.3	2.4	10.4	3.8	0.5	4.7	5.2	7.1	3.3	15.6
	男性70歳以上	146	8.9	5.5	6.2	2.1	-	3.4	3.4	9.6	2.7	21.9
	女性20代以下	120	21.7	6.7	6.7	5.8	11.7	-	-	1.7	2.5	5.8
	女性30代	148	13.5	8.1	11.5	3.4	17.6	-	-	1.4	3.4	7.4
	女性40代	244	4.1	7.0	11.5	7.0	12.7	1.6	0.4	7.0	4.9	9.4
	女性50代	254	2.0	3.9	7.1	5.5	6.3	4.7	6.3	5.9	3.9	15.4
女性60代	173	6.9	5.2	8.1	4.0	3.5	8.7	6.4	9.2	2.3	13.9	
女性70歳以上	39	10.3	2.6	5.1	-	5.1	15.4	10.3	10.3	2.6	35.9	

		n	と家族以外の親しい知人等 の死別	待(家族間の重大なDV・虐待を含む)	心身の重大なトラブル (病気・怪我等)	仕事上(職場)の重大な トラブル	人間関係による重大なスト ラブル(いじめ・ハラ・ス メント等を含む)	金銭による重大なトラブ ル	生活困窮・貧困	被害等 自然災害の被災・犯罪の	その他の出来事	特に影響を与えなかったと思わ れる
全体		1,908	2.9	4.0	7.9	3.6	7.3	3.2	2.4	0.5	0.2	40.1
性年代	男性20代以下	44	-	-	-	-	-	4.5	-	-	-	43.2
	男性30代	146	0.7	3.4	7.5	4.1	4.1	3.4	0.7	0.7	-	45.9
	男性40代	210	1.9	3.8	7.1	3.8	5.7	3.8	3.8	0.5	-	43.8
	男性50代	159	1.9	1.9	7.5	7.5	4.4	5.7	3.8	-	-	49.1
	男性60代	212	3.8	1.9	8.5	2.4	3.3	4.2	1.9	0.5	-	45.8
	男性70歳以上	146	8.9	1.4	4.1	1.4	0.7	2.1	0.7	1.4	1.4	43.8
	女性20代以下	120	1.7	4.2	9.2	1.7	9.2	1.7	-	0.8	-	31.7
	女性30代	148	0.7	3.4	6.1	4.7	11.5	1.4	4.1	0.7	-	36.5
	女性40代	244	2.9	6.6	9.4	4.5	13.1	2.0	2.9	-	-	29.9
	女性50代	254	3.1	7.1	11.8	2.8	10.2	4.3	3.5	-	0.8	38.2
女性60代	173	1.7	4.6	5.8	4.0	8.7	2.3	-	0.6	-	39.9	
女性70歳以上	39	12.8	2.6	7.7	-	5.1	2.6	5.1	-	-	35.9	

また、これまでに経験したライフイベント（孤独感に影響を与えた出来事）を孤独感（間接・直接質問）別でみると、孤独感（間接質問）の孤独感スコア「10～12点」においては、「心身の重大なトラブル（病気・怪我等）」が最も多く、孤独感（直接質問）の「しばしばある・常にある」においては、「人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）」が最も多くなっている。

<図表 全体、孤独感（間接・直接質問）別>

		n	一人暮らし	転居	転校・転職・離職・退職 (失業を除く)	失業・休職・退学・休学 (中退・不登校を含む)	妊娠・出産・子育て	介護・介助	子どもの独り立ち	家族の病気・障害	家族との離別	家族との死別
全体		1,908	10.6	4.9	8.4	4.7	5.8	3.1	2.7	5.5	3.4	11.8
孤独感 (間接質問)	「10～12点」(常にある)	252	11.9	5.6	10.3	7.9	2.8	4.8	1.2	6.7	3.2	7.9
	「7～9点」(時々ある)	978	11.0	5.1	10.2	6.2	6.2	3.3	3.2	5.3	3.4	11.3
	「4～6点」(ほとんどない)	578	8.7	4.3	5.0	1.4	6.1	2.2	2.4	5.4	3.6	13.8
	「3点」(決してない)	100	14.0	5.0	6.0	1.0	7.0	3.0	4.0	4.0	3.0	15.0
孤独感 (直接質問)	しばしばある・常にある	160	11.3	6.3	10.0	7.5	3.1	3.8	1.3	4.4	5.6	11.9
	時々ある	329	11.9	4.0	13.1	7.6	5.8	5.2	2.4	7.3	4.9	10.0
	たまにある	504	11.9	6.3	9.7	6.7	6.9	3.8	3.0	5.4	4.2	12.5
	ほとんどない	714	9.5	4.3	6.0	2.4	5.5	1.8	2.8	5.5	2.0	11.6
	決してない	201	8.5	4.0	5.0	1.0	6.0	2.5	3.5	3.5	2.5	13.9

		n	と家族以外の親しい知人等	家族間の重大なトラブル (家庭内別居・DV・虐待を含む)	心身の重大なトラブル (病気・怪我等)	仕事上(職場)の重大なトラブル	人間関係による重大なトラブル (いじめ・ハラスメント等を含む)	金銭による重大なトラブル	生活困窮・貧困	自然災害の被災・犯罪の被害等	その他の出来事	特に影響を与えなかったと思わ
全体		1,908	2.9	4.0	7.9	3.6	7.3	3.2	2.4	0.5	0.2	40.1
孤独感 (間接質問)	「10～12点」(常にある)	252	2.4	8.3	18.3	7.5	17.5	4.8	8.3	2.0	-	29.4
	「7～9点」(時々ある)	978	2.2	3.7	7.2	3.9	7.9	3.4	1.8	0.3	0.3	35.3
	「4～6点」(ほとんどない)	578	4.3	3.1	5.2	1.7	2.9	2.2	1.0	0.2	-	51.6
	「3点」(決してない)	100	3.0	2.0	4.0	2.0	2.0	4.0	1.0	-	1.0	49.0
孤独感 (直接質問)	しばしばある・常にある	160	2.5	10.6	18.8	7.5	21.3	3.8	8.8	1.3	-	25.6
	時々ある	329	2.7	4.9	12.8	6.1	11.2	5.2	4.6	0.9	0.3	27.1
	たまにある	504	2.8	3.4	6.5	3.8	7.7	3.6	2.0	0.4	0.4	34.1
	ほとんどない	714	3.4	3.4	5.3	2.2	3.5	2.1	0.8	0.3	0.1	49.3
	決してない	201	2.5	1.5	3.5	1.0	2.5	3.0	0.5	-	-	55.7

(45) 孤独・孤立が解消したきっかけ

問26 孤独・孤立の状態が解消（一時的な場合も含む）したと感じる経験がある場合、それはどのようなきっかけによるものかお答えください。また、そのきっかけができたのは自発的な活動によるものか、行政等の外部からの情報提供等によるものかお答えください。（1～6について、それぞれチェックはいくつでも）

孤独・孤立が解消したきっかけは、「経験がある（自発的）」において、「時間が経過することで、自分の気持ちの変化が生じた」が19.5%と特に多くなっている。

<図表 1～6全体>

	n	経験がある (自発的)	経験がある (外部から)	解消した経験がない	経験がない・孤立に陥った
1. 相談や話ができる相手との新たな出会いがあった	2,000	12.5	9.5	25.2	53.9
2. 行政等の支援機関とのつながりができた	2,000	5.4	5.6	35.5	53.9
3. 転居等により環境に変化があった	2,000	11.1	8.4	27.5	53.9
4. 他者と交流できる場所が身近にできた	2,000	8.8	8.8	29.3	53.9
5. 時間が経過することで、自分の気持ちの変化が生じた	2,000	19.5	8.5	19.4	53.9
6. その他の出来事	342	9.1	3.2	20.5	67.3

1. 相談や話ができる相手との新たな出会いがあった

相談や話ができる相手との新たな出会いがあったかについて性年代別でみると、「経験がある（自発的）」では、女性30代が20.7%と特に多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	経験がある (自発的)	経験がある (外部から)	解消した経験がない	経験がない・孤立に陥った
全体		2,000	12.5	9.5	25.2	53.9
性年代	男性20代以下	53	7.5	7.5	24.5	60.4
	男性30代	154	13.6	8.4	18.2	60.4
	男性40代	221	10.9	9.5	30.8	49.8
	男性50代	166	7.8	9.0	30.1	54.2
	男性60代	218	6.4	9.2	28.0	56.9
	男性70歳以上	155	7.7	6.5	17.4	69.0
	女性20代以下	137	18.2	14.6	17.5	51.1
	女性30代	150	20.7	11.3	30.0	41.3
	女性40代	249	16.5	10.4	30.9	43.8
	女性50代	263	14.4	9.9	24.7	51.7
	女性60代	180	12.2	5.6	16.7	65.6
	女性70歳以上	41	2.4	14.6	26.8	56.1

2. 行政等の支援機関とのつながりができた

行政等の支援機関とのつながりができたかについて性年代別でみると、「経験がある（自発的）」では、男性30代が9.1%と特に多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	経験がある（自発的）	（外部から）経験がある	解消した経験がない	験 孤 が 独 な い ・ 孤 立 に 陥 っ た 経
全体		2,000	5.4	5.6	35.5	53.9
性年代	男性20代以下	53	3.8	7.5	28.3	60.4
	男性30代	154	9.1	4.5	26.0	60.4
	男性40代	221	5.9	5.9	39.4	49.8
	男性50代	166	2.4	5.4	38.0	54.2
	男性60代	218	2.8	7.3	33.5	56.9
	男性70歳以上	155	3.9	4.5	22.6	69.0
	女性20代以下	137	8.8	6.6	33.6	51.1
	女性30代	150	8.7	9.3	41.3	41.3
	女性40代	249	5.6	5.2	45.8	43.8
	女性50代	263	4.6	4.9	39.9	51.7
	女性60代	180	5.0	2.8	26.7	65.6
	女性70歳以上	41	4.9	4.9	34.1	56.1

3. 転居等により環境に変化があった

転居等により環境に変化があったかについて性年代別でみると、「経験がある（自発的）」では、女性30代が23.3%と特に多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	経験がある（自発的）	（外部から）経験がある	解消した経験がない	験 孤 が 独 な い ・ 孤 立 に 陥 っ た 経
全体		2,000	11.1	8.4	27.5	53.9
性年代	男性20代以下	53	9.4	7.5	24.5	60.4
	男性30代	154	14.3	3.2	22.1	60.4
	男性40代	221	11.8	10.4	29.0	49.8
	男性50代	166	6.0	7.2	33.1	54.2
	男性60代	218	4.1	7.8	31.7	56.9
	男性70歳以上	155	6.5	6.5	18.1	69.0
	女性20代以下	137	16.1	10.2	23.4	51.1
	女性30代	150	23.3	10.0	27.3	41.3
	女性40代	249	14.5	10.4	32.9	43.8
	女性50代	263	11.0	9.5	28.9	51.7
	女性60代	180	8.9	5.6	20.6	65.6
	女性70歳以上	41	2.4	14.6	26.8	56.1

4. 他者と交流できる場所が身近にできた

他者と交流できる場所が身近にできたかについて性年代別でみると、「経験がある（自発的）」では、女性30代が18.7%と特に多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	経験がある（自発的）	経験がある（外部から）	解消した経験がない	経験がない・孤立に陥った経験
全体		2,000	8.8	8.8	29.3	53.9
性年代	男性20代以下	53	5.7	11.3	22.6	60.4
	男性30代	154	10.4	7.1	22.7	60.4
	男性40代	221	7.7	9.5	34.4	49.8
	男性50代	166	4.2	10.2	31.9	54.2
	男性60代	218	4.6	7.8	31.2	56.9
	男性70歳以上	155	5.8	5.2	20.0	69.0
	女性20代以下	137	14.6	15.3	20.4	51.1
	女性30代	150	18.7	10.7	31.3	41.3
	女性40代	249	11.6	9.2	35.7	43.8
	女性50代	263	8.0	8.4	32.7	51.7
	女性60代	180	7.8	5.0	22.2	65.6
女性70歳以上	41	2.4	9.8	31.7	56.1	

5. 時間が経過することで、自分の気持ちの変化が生じた

時間が経過することで、自分の気持ちの変化が生じたかについて性年代別でみると、「経験がある（自発的）」では、女性30代が32.0%と特に多くなっている。

<図表 全体、性年代別>

		n	経験がある（自発的）	経験がある（外部から）	解消した経験がない	経験がない・孤立に陥った経験
全体		2,000	19.5	8.5	19.4	53.9
性年代	男性20代以下	53	9.4	11.3	18.9	60.4
	男性30代	154	18.2	5.8	16.9	60.4
	男性40代	221	15.8	10.4	24.4	49.8
	男性50代	166	11.4	6.6	27.7	54.2
	男性60代	218	12.8	9.6	22.0	56.9
	男性70歳以上	155	14.2	5.2	12.3	69.0
	女性20代以下	137	24.8	12.4	14.6	51.1
	女性30代	150	32.0	10.0	20.0	41.3
	女性40代	249	23.7	10.4	23.3	43.8
	女性50代	263	25.5	7.6	16.7	51.7
	女性60代	180	18.9	5.0	11.1	65.6
女性70歳以上	41	14.6	9.8	19.5	56.1	

6. その他の出来事

その他の出来事について性年代別でみると、特筆すべき差異はみられない。

<図表 全体、性年代別>

		n	経験がある (自発的)	経験がある (外部か ら)	解消した経験がない	孤独・孤立に陥った経験がない
全体		342	9.1	3.2	20.5	67.3
性年代	男性20代以下	9	-	-	44.4	55.6
	男性30代	26	3.8	3.8	15.4	76.9
	男性40代	31	6.5	-	29.0	64.5
	男性50代	22	18.2	4.5	22.7	54.5
	男性60代	37	2.7	8.1	21.6	67.6
	男性70歳以上	51	11.8	-	15.7	72.5
	女性20代以下	21	4.8	9.5	4.8	81.0
	女性30代	21	28.6	-	28.6	42.9
	女性40代	40	2.5	7.5	17.5	72.5
	女性50代	43	9.3	-	30.2	60.5
	女性60代	31	9.7	-	12.9	77.4
女性70歳以上	8	25.0	12.5	12.5	50.0	

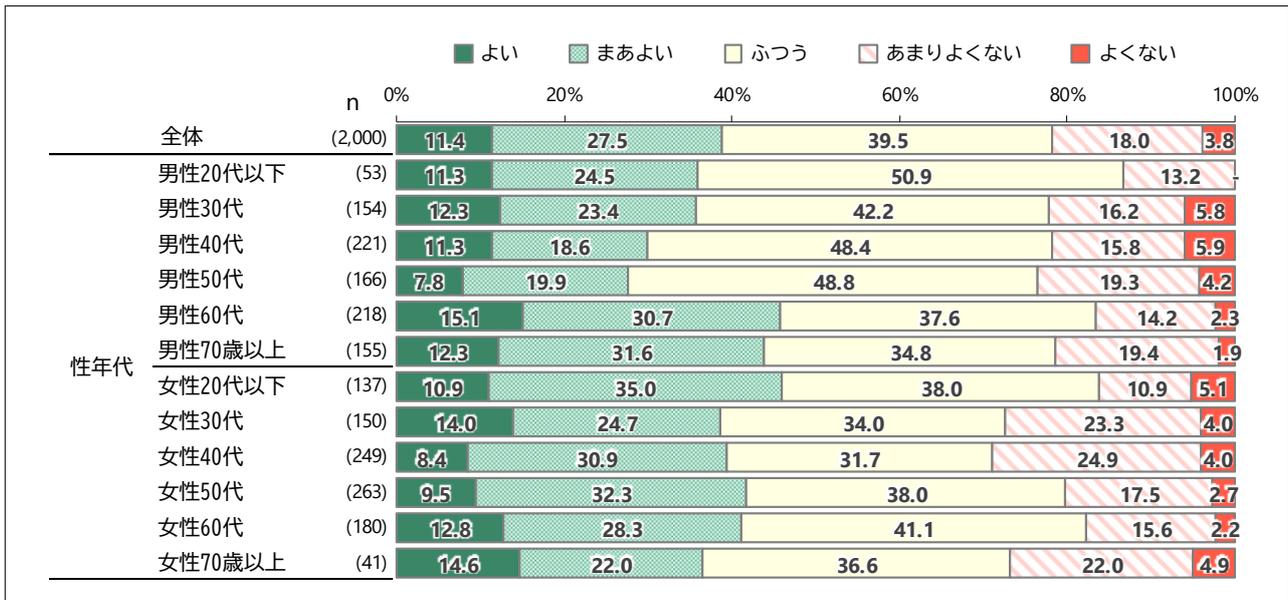
(46) 心身の健康状態

問27 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。(○は1つだけ)

心身の健康状態は、『よい(よい+まあよい合計)』が38.9%、「ふつう」が39.5%、『よくない(あまりよくない+よくない合計)』が21.8%となっている。

性年代別でみると、『よくない』は女性30代~40代、女性70歳以上で3割弱と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



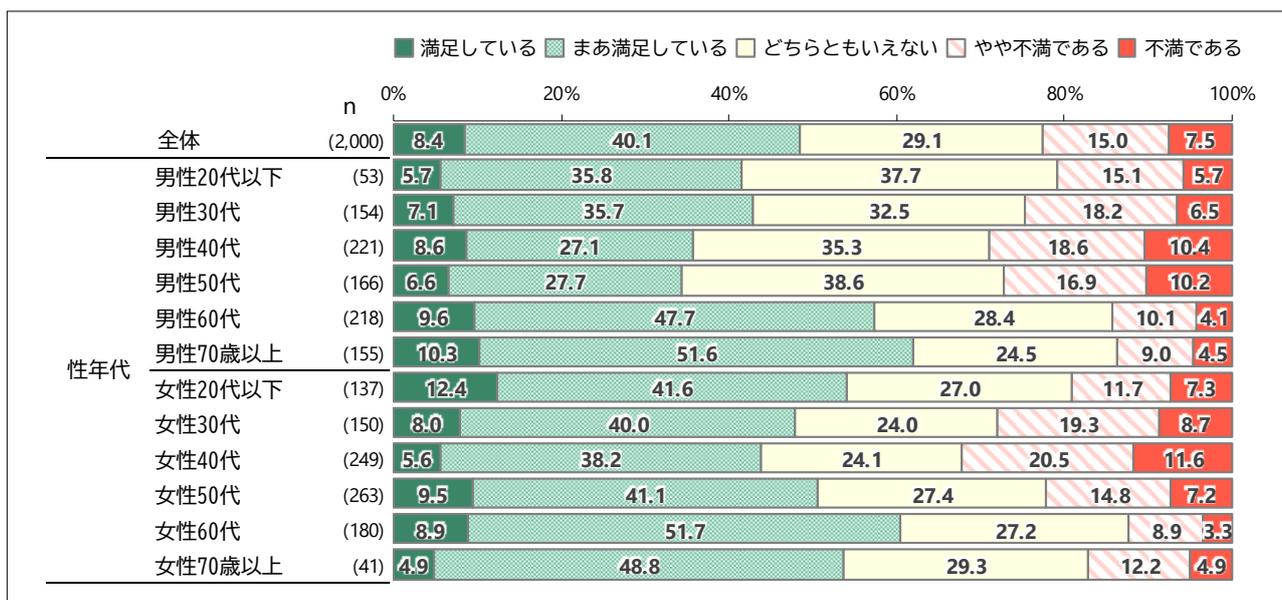
(47) 生活への満足度

問28 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(チェックはひとつだけ)

生活への満足度は、『満足（満足している+まあ満足している合計）』が48.5%、「どちらともいえない」が29.1%、『不満（やや不満である+不満である合計）』が22.5%となっている。

性年代別でみると、『不満』は、女性40代で3割を超えて多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



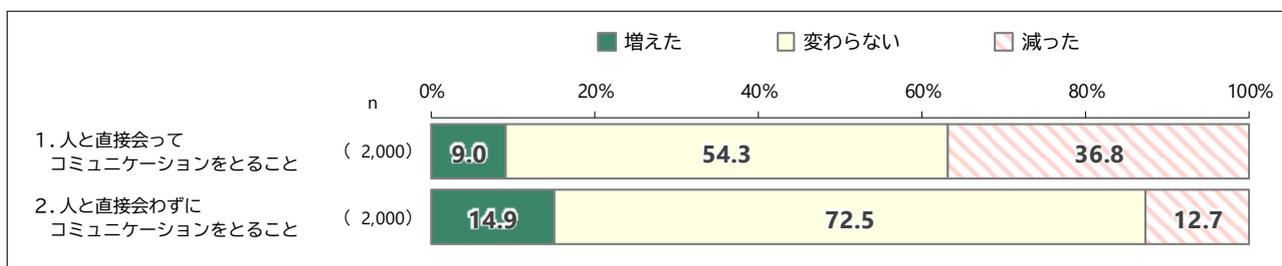
(48) 新型コロナ感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況

問29 新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年3月頃より前と比べて、人とのコミュニケーションにどのような変化がありましたか。1及び2について、それぞれお答えください。(それぞれチェックはひとつだけ)

新型コロナ感染拡大による人とのコミュニケーションの変化の状況は、人と直接会ってコミュニケーションをとることが「増えた」が9.0%、「変わらない」が54.3%、「減った」が36.8%となっている。

人と直接会わずにコミュニケーションをとることが「増えた」が14.9%、「変わらない」が72.5%、「減った」が12.7%となっている。

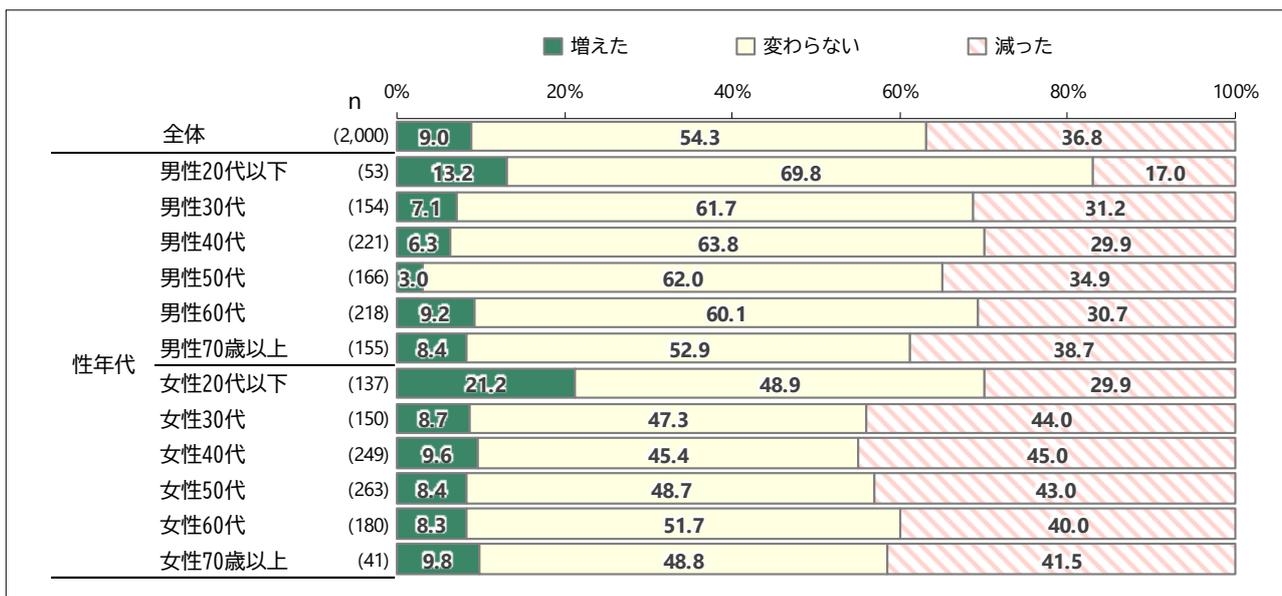
<図表 1～2全体>



1. 人と直接会ってコミュニケーションをとること

人と直接会ってコミュニケーションをとることの変化を性年代別でみると、「減った」はすべての年代で女性が男性の割合を上回っている。

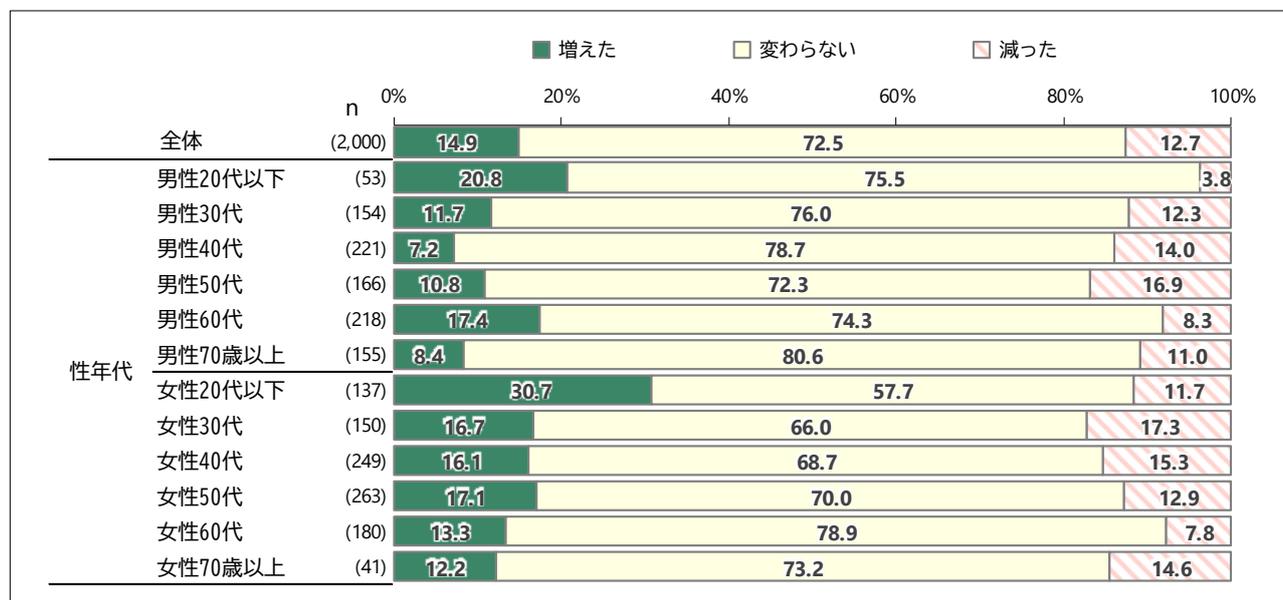
<図表 全体、性年代別>



2. 人と直接会わずにコミュニケーションをとること(例:手紙・電話・SNS・インターネットなど)

人と直接会わずにコミュニケーションをとることの変化を性年代別で見ると、「増えた」は女性20代以下で約3割と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(49) 新型コロナ感染拡大による生活の変化の状況

問30 新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年3月頃より前と比べて、日常生活にどのような変化がありましたか。1～6について、それぞれお答えください。(1～6について、それぞれチェックはひとつだけ)

新型コロナ感染拡大による生活の変化の状況は、生活全体では『好転（良くなった+まあ良くなった合計）』は11.4%、「変わらない」が65.1%、『悪化（やや悪くなった+悪くなった合計）』が23.6%となっている。

家族との関係は、『好転』は11.6%、「変わらない」が79.9%、『悪化』が8.6%となっている。

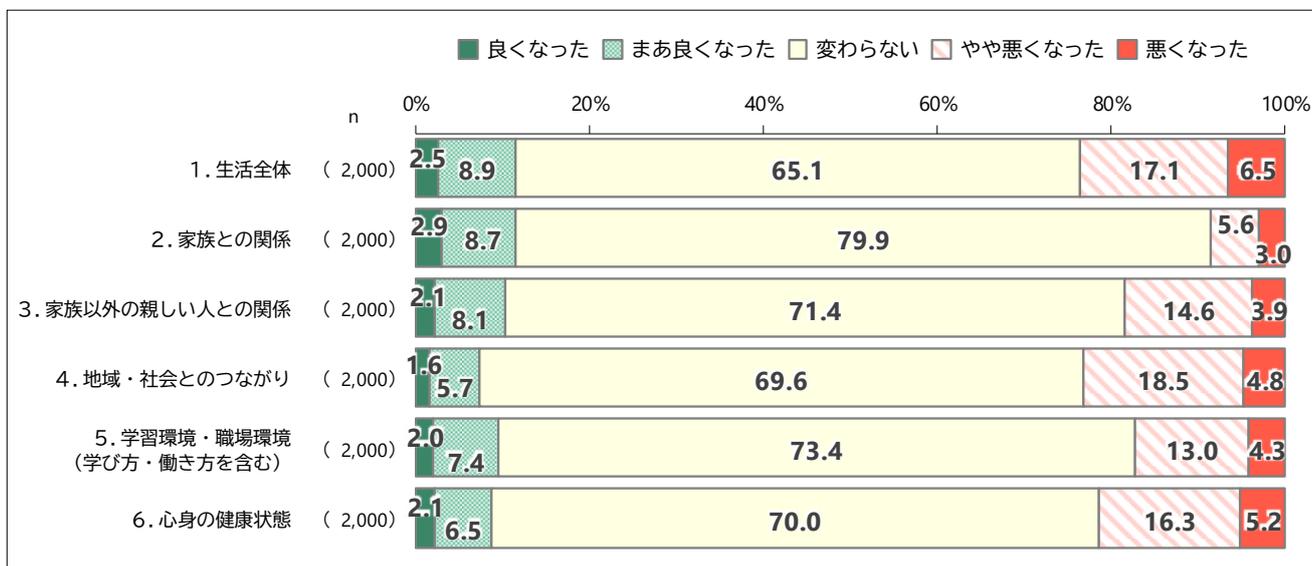
家族以外の親しい人との関係は、『好転』は10.2%、「変わらない」が71.4%、『悪化』が18.5%となっている。

地域・社会とのつながりは、『好転』は7.3%、「変わらない」が69.6%、『悪化』が23.3%となっている。

学習環境・職場環境（学び方・働き方を含む）は、『好転』は9.4%、「変わらない」が73.4%、『悪化』が17.3%となっている。

心身の健康状態は、『好転』は8.6%、「変わらない」が70.0%、『悪化』が21.5%となっている。

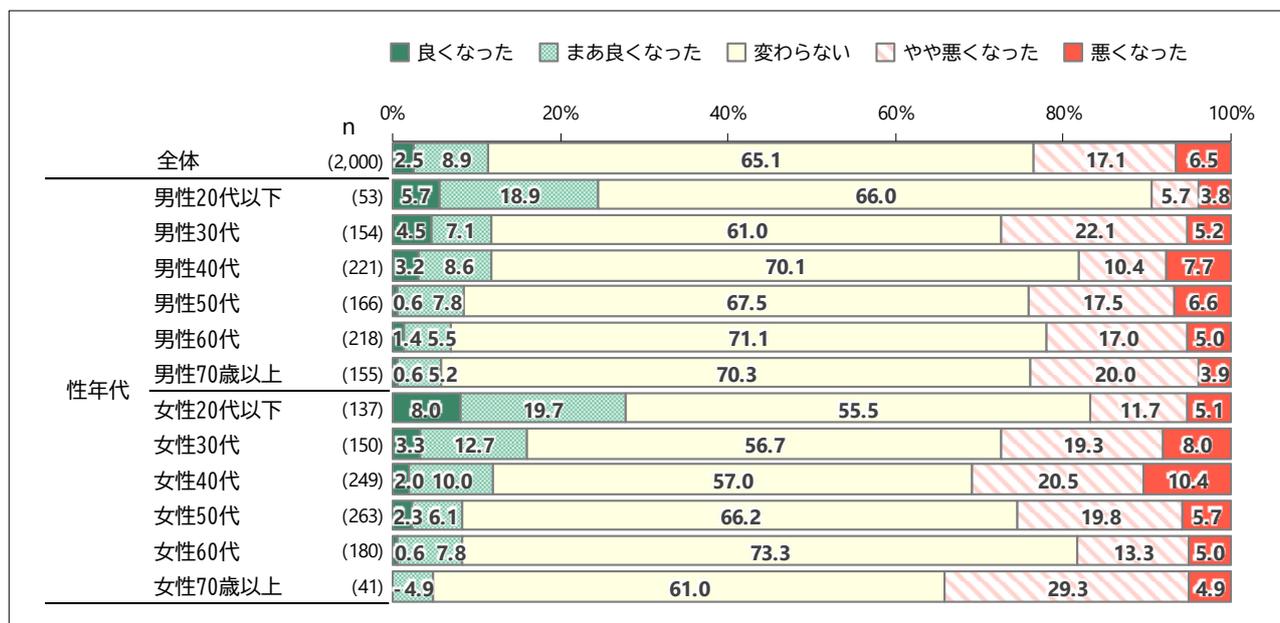
<図表 1～6全体>



1. 生活全体

生活全体の変化を性年代別で見ると、『悪化』は女性40代、女性70歳以上で3割台と多くなっている。

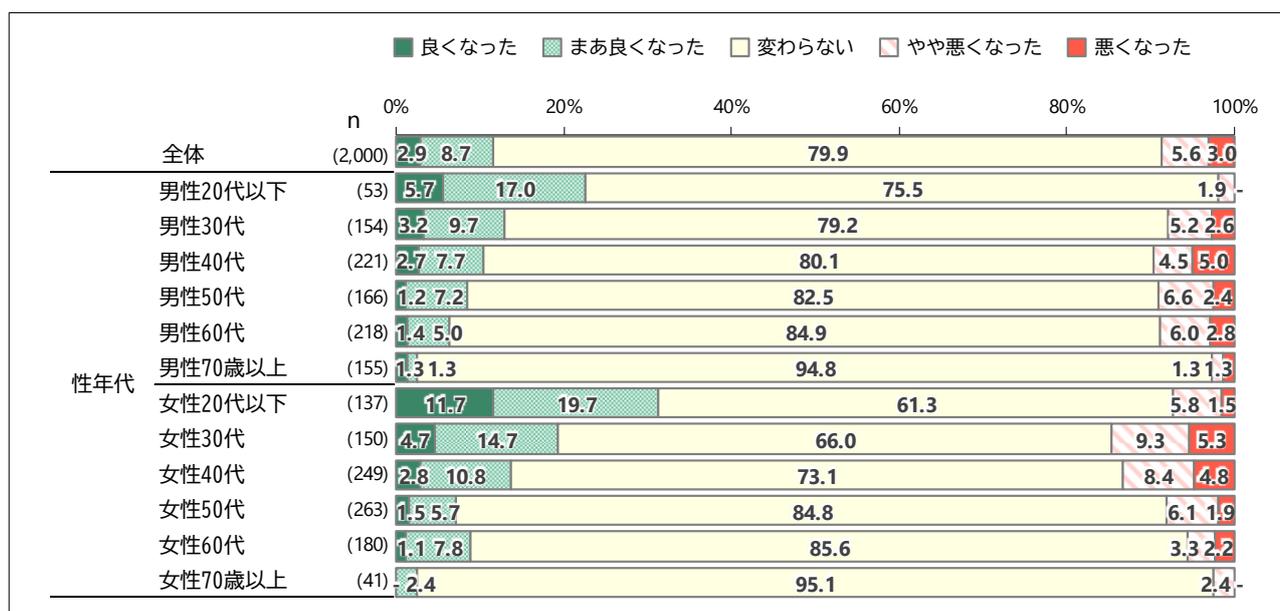
<図表 全体、性年代別>



2. 家族との関係

家族との関係の変化を性年代別で見ると、『悪化』は女性30代～40代で1割強と多くなっている。

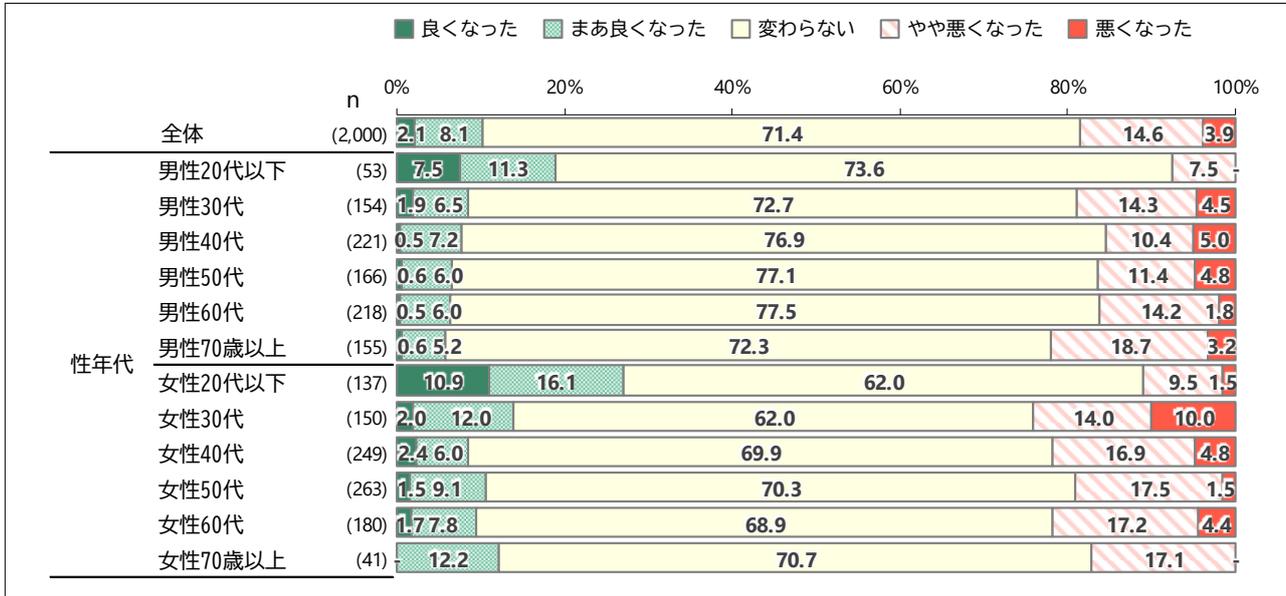
<図表 全体、性年代別>



3. 家族以外の親しい人との関係

家族以外の親しい人との関係の変化を性年代別でみると、『悪化』は男性70歳以上、女性30～40代、女性60代で2割台と多くなっている。

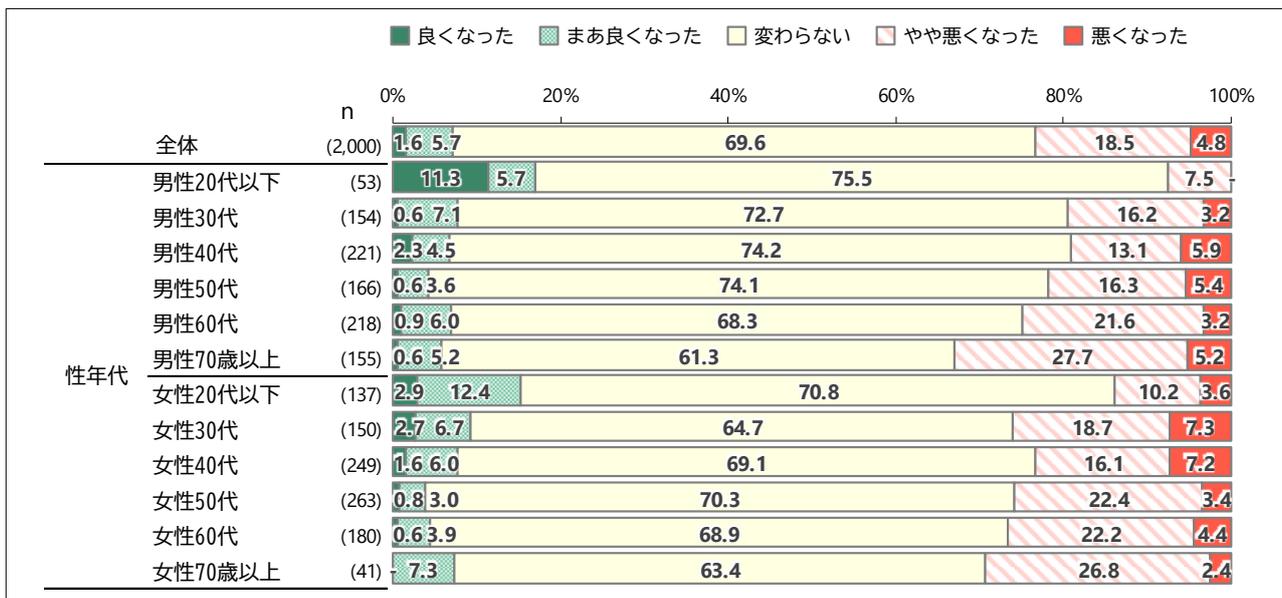
<図表 全体、性年代別>



4. 地域・社会とのつながり

地域・社会とのつながりの変化を性年代別でみると、『悪化』は男性70歳以上で3割強、女性60代～女性70歳以上も3割弱と多くなっている。

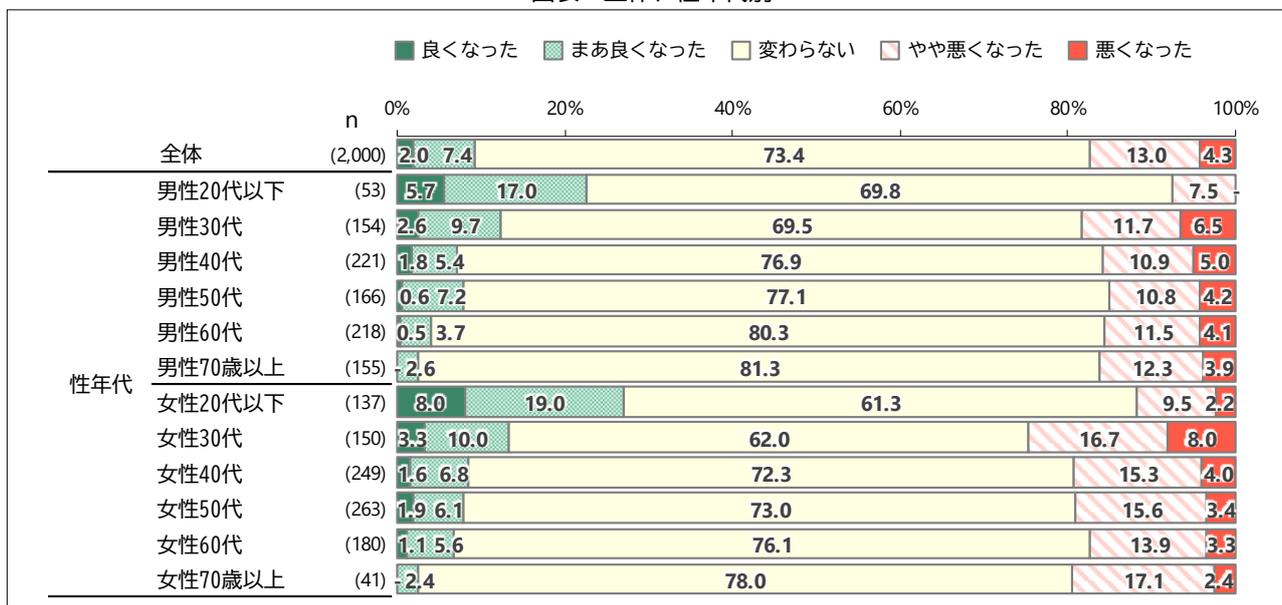
<図表 全体、性年代別>



5. 学習環境・職場環境(学び方・働き方を含む)

学習環境・職場環境の変化を性年代別で見ると、『悪化』は女性30代で2割強と多くなっている。

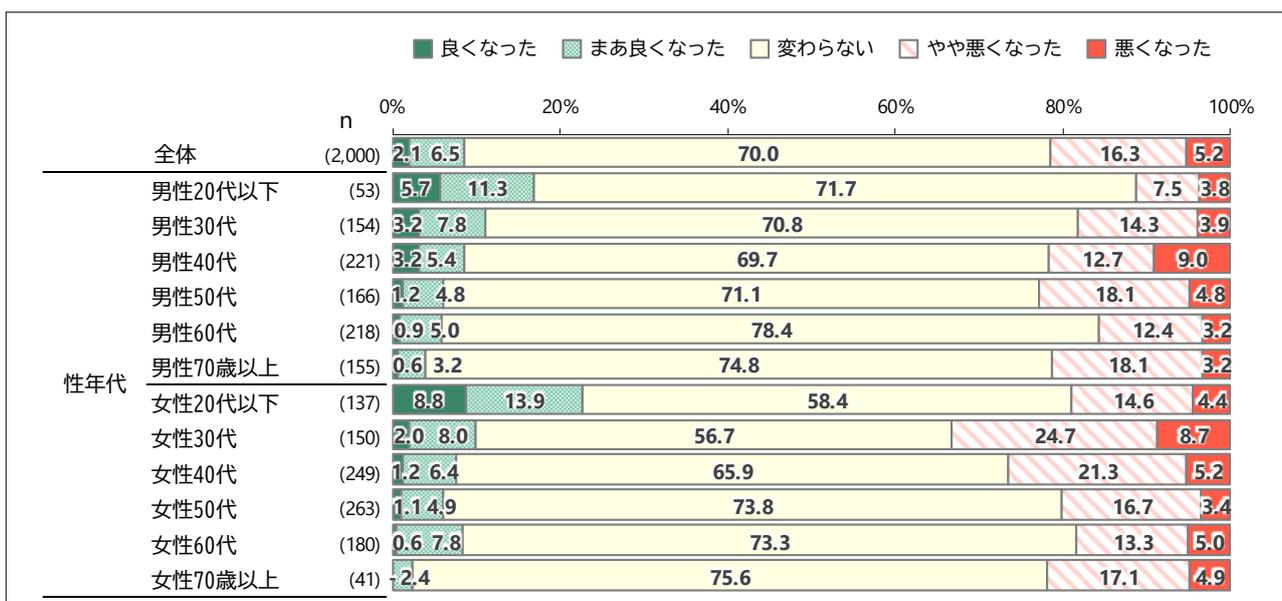
<図表 全体、性年代別>



6. 心身の健康状態

心身の健康状態の変化を性年代別で見ると、『悪化』は女性30代で3割強、女性40代で3割弱と多くなっている。

<図表 全体、性年代別>



(50) 孤独・孤立状態にある方への支援

問31 孤独・孤立状態にある方への支援に必要なことは何だと思いますか。(自由記述)

具体的な記述内容は、以下の表のとおりである。

孤独・孤立状態にある方への支援に必要なこと【抜粋】	
■会う・話相手になる・話をきく	(168件)
・話を聞いてくれる人がいる、味方がいると思ってもらえること	
・会うことだと思います、会って話したり、同じ趣味を楽しんでやったりすること、僕は合わない人と全く話したくないし一人であるのが負担にならないので、うわべだけなら要らないかな	
・淋しいと感じることがあると思うので、寄り添い、話を聞いてあげること、信頼関係を築くことが大切かなと思います。	
・その人の話をとことん聞いてあげる	
■声をかける	(137件)
・周りの人が挨拶、声掛けをする様にする事	
・身近な人が「あなたは一人じゃないんだよ」とそれとなく声を掛けてくれること	
・行政や近所の方の積極的な声かけ	
・迷惑にならない程度の声かけ？	
■相談支援の充実・環境づくり	(66件)
・相談しやすい環境を整え、支援してあげること	
・snsで話を聞いてもらえてアドバイスもしてもらえるようなところ	
・人と関わるのが苦手なので、必要な時だけ利用できる相談窓口があればいい	
・相談し易い環境や専門家の充実	
■経済的な支援	(56件)
・金銭援助	
・ケースバイケースとも思えるが、老若男女古今東西に限らず、経済的援助は必要なのではないかな。	
・お金	
■孤独・孤立状態にある方と関わる姿勢づくり	(49件)
・アドバイスなど上から目線の言動をするのではなく、不満をただ受け止めてほしい	
・無理強いではなく、相手の気持ちや置かれている状況を理解した上での支援が必要だと思います。	
・その人に寄り添って理解しようとする純粋な気持ちや態度	
■見守る・寄り添う	(49件)
・あなたはひとりじゃないよ、ということを伝えて見守ること。	
・適度に距離感を持って見守る。	
・一番近くの人が寄り添うこと	

■気軽に話せる環境・人づくり	(49件)
・何でも話せる話し相手が必要だと思う	
・相手が話しやすいと思える人間関係（環境）をつくる。	
・会話が出来る状況を作ってあげることだと思います。それも、話しやすいように自然に。	
■居場所・コミュニティづくり	(45件)
・同じ悩みを抱えた人同士の繋がりを持つたりすること。理解されないことが一番孤独に繋がると 思います。支援の機会があっても、自分の苦しさが伝わらないのでは、支援など必要ないと思っ てしまいます。	
・近隣の友人を作れるような集まれる場所の確保	
・他者との交流の場を、日常の生活の場で周囲が提供することが大事	
■周囲の気づき・思いやり	(39件)
・周りからの気づきが支援では大切と感じます	
・些細なことでも気づいてあげること	
・思いやりが必要	
■人と関わる・触れ合う・つながる	(32件)
・繋がり創出	
・人と会う機会を増やす	
・同じ境遇を持った人との繋がり、解決できる知識を持った人との関わり	
■支援・相談に関する情報の提供	(26件)
・相談窓口があることのPR活動をして、まずは知ってもらうこと。	
・そういった方への呼びかけかな。孤独・孤立状態にある人が自分から孤独・孤立ですと言いに くいと思う。広報などでテレビなど使ってそういう方がいらっしゃったらここに連絡してくださ いとか流す等したらいいかなと思う。	
・相談しても馬鹿にされそう、解決しない、と思って相談も出来ない人が結構いると思う。ど こに相談していいかもわからないのでもし相談窓口があるならアピールした方がいいと思う。	
■行政による支援	(26件)
・行政からの働きかけ	
・公的な支援団体の設置	
・役場や医療機関などともっと繋がりやすくなったり、支援してもらいやすくなること	
■訪問によるアプローチ	(18件)
・家庭への訪問	
・行政、またはそれに準ずる機関の訪問による介入が必要だと思う	
・地域の福祉担当者じゃなく、近所の方、友人、知人、身近な方が数名で日頃から訪問し、絡 んで行くこと。	

■近所・地域の支援	(15件)
・近所の声かけ ・地区活動	
・町内会等の近所付き合い	
・地域に取り込んであげること	

資料編（調査票）

問1 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合や同性パートナーを含めます。（チェックはひとつだけ）

1 未婚	3 死別
2 配偶者あり	4 離別

問2 あなたの世帯（家族以外の同居人含む）構成をお答えください。なお、「夫婦」「両親」には婚姻届を提出していない場合や、同性パートナーを含めます。（チェックはひとつだけ）

1 ひとり世帯	3 二世帯世帯（両親と子）	6 その他の世帯
2 一世帯世帯 （夫婦のみ）	4 二世帯世帯（ひとり親と子）	↓
↓	5 三世帯世帯（親と子と孫）	問3へ
問3へ	↓	

【問2で「3」～「5」（二世帯世帯又は三世帯世帯）と回答した方へ】

問2-1 同居している人の中に、あなたのお子さんはいますか。（チェックはひとつだけ）

1 いる	→ 問2-2へ	2 いない	→ 問3へ
------	---------	-------	-------

【問2-1で「1 いる」と回答した方へ】

問2-2 同居しているお子さんで一番若い方の年齢（令和5年（2023年）10月1日現在の年齢）を入力してください。

		歳
--	--	---

問3 あなたは現在、何人でお住まいですか。あなた自身を含めた人数を入力してください。

	人
--	---

問4 あなたが最後に卒業した学校、または現在、在学している学校をお答えください。（チェックはひとつだけ）

1 小学・中学	5 大学
2 高校（旧制中学校を含む）	6 大学院
3 専門学校	7 その他
4 短大・高専	

問5 あなたの現在の仕事をお答えください。複数の仕事に従事している場合は、主な仕事についてお答えください。（チェックはひとつだけ）

- | |
|--|
| 1 正規の職員・従業員 |
| 2 非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト（学生アルバイトを除く）） |
| 3 会社などの役員 |
| 4 自営業主 |
| 5 家族従業者・内職 |
| 6 学生・生徒 |
| 7 収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探している） |
| 8 収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探していない） |
| 9 その他 |

※「主な仕事」とは一番長い時間した仕事を指します。

問6 あなたの現在の住まいをお答えください。（チェックはひとつだけ）

- | |
|---------------------------------|
| 1 持ち家（一戸建） |
| 2 持ち家（マンションなどの共同住宅） |
| 3 民営の賃貸住宅 |
| 4 都道府県・市区町村営の賃貸住宅・都市再生機構（UR）・公社 |
| 5 給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舎 |
| 6 その他・わからない |

問7 あなたの世帯の2022年における年間収入（税・社会保険料込み）をお答えください。自営業の場合には営業利益（税込み）をお答えください。なお、年金は収入に含みます。（チェックはひとつだけ）

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 100万円未満 | 6 500～699万円 |
| 2 100～199万円 | 7 700～999万円 |
| 3 200～299万円 | 8 1,000～1,499万円 |
| 4 300～399万円 | 9 1,500万円以上 |
| 5 400～499万円 | 10 わからない |

問8 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。（チェックはひとつだけ）

- | | |
|------------|---------|
| 1 大変ゆとりがある | 4 やや苦しい |
| 2 ややゆとりがある | 5 大変苦しい |
| 3 普通 | |

問9 あなたが人とのコミュニケーションをする際に最も使用する情報通信機器は何ですか。
（チェックはひとつだけ）

- 1 固定電話・FAX
- 2 携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末
- 3 パソコン
- 4 その他の通信機器（インターネットに接続できるゲーム機等）
- 5 人とのコミュニケーションには使っていない

問10 あなたは日頃どの程度、外出していますか。（チェックはひとつだけ）

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 週5日以上2 週3～4日程度3 週1～2日程度 | <ol style="list-style-type: none">4 週1日未満5 外出しない |
|---|---|

問10-1へ

問11へ

【問10で「1」～「3」（週1日以上）と回答した方へ】

問10-1 最近1週間の外出の目的は何ですか。（チェックはいくつでも）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 仕事・学校2 人とのつきあい・交流3 趣味や娯楽、散歩や運動4 地域活動・ボランティア活動 | <ol style="list-style-type: none">5 食事・買い物・日常の用事6 通院7 その他 |
|--|---|

【再び、全員の方へ】

問11 最近1週間の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。（チェックはいくつでも）

- 1 自宅（自室）
- 2 自宅（家族と共用の部屋）
- 3 親族・友人等の家
- 4 職場や学校等の拠点
- 5 趣味や活動等の拠点（職場・学校以外）
- 6 不特定多数の人が利用する場所（公共施設・商業施設・娯楽施設・公園等）
- 7 その他

問12 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。

(1) 同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度

あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、1～3ごとにそれぞれお答えください。(1～3について、それぞれチェックはひとつだけ)

	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない
1 直接会って話す	1	2	3	4	5	6	7
2 電話（ビデオ通話含む）	1	2	3	4	5	6	7
3 SNSや電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7

※SNSでのコミュニケーションは、アプリケーションによるチャットなど、テキストベース（文字情報）でのやりとりを指します。また、電子メールには、SMS（ショートメッセージサービス）も含まれます。

【問2で「2」～「6」（ひとり世帯以外）と回答した方へ】

(2) 同居している人たちとのコミュニケーション頻度

あなたと同居している人たちとのコミュニケーションについて、直接会って話す頻度をお答えください。(チェックはひとつだけ)

1 週4～5回以上	5 月1回程度
2 週2～3回程度	6 月1回未満
3 週1回程度	7 全くない
4 2週間に1回程度	

問13 あなたは現在、どのような活動に参加をしていますか。人と交流する活動についてお答えください。（チェックはいくつでも）

- 1 PTA・自治会・町内会などの活動
- 2 子ども・障害者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動
- 3 上記以外のボランティア活動
- 4 スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）
- 5 その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）
- 6 特に参加はしていない

問14 あなたには、困った時に頼れる人はいますか。（チェックはひとつだけ）

1 いる

2 いない

→問15へ

→【問14で「1 いる」と回答した方へ】

問14-1 あなたは誰を頼りますか。（チェックはいくつでも）

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 自治会・町内会・近所の人
- 4 仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）
- 5 行政機関（国や自治体）
- 6 NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 7 社会福祉協議会
- 8 病院・診療所の医師
- 9 その他

【再び、全員の方へ】

問15 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。（チェックはひとつだけ）

1 いる

2 いない

問16へ

▶【問15で「1 いる」と回答した方へ】

問15-1 あなたは誰に相談をしますか。（チェックはいくつでも）

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 自治会・町内会・近所の人
- 4 仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）
- 5 行政機関（国や自治体）
- 6 NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 7 社会福祉協議会
- 8 病院・診療所の医師
- 9 その他

【再び、全員の方へ】

問16 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。（チェックはいくつでも）

- 1 相談することで解決できる、または解決の手掛かりが得られる
- 2 相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる
- 3 相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である
- 4 相談することが恥ずかしい
- 5 相談すると相手の負担になる
- 6 相談しても無駄である（相談しても解決しない）
- 7 その他

（感じること：_____）

問17 あなたは現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか（既に相談機関等に繋がっている場合も含む）。（チェックはひとつだけ）

1 ある

2 ない

問19へ

▶【問17で「1 ある」と回答した方へ】

問17-1 不安や悩みはどのような内容ですか。（チェックはいくつでも）

- 1 健康
- 2 住まい
- 3 進学、就職など、進路上の問題
- 4 結婚、子育てなど、生活上の問題
- 5 収入や資産、老後の生活設計
- 6 家族・親族間の人間関係
- 7 近隣・地域との関係
- 8 学校や勤務先での人間関係
- 9 事業や家業の経営上の問題
- 10 金銭トラブル
- 11 自然災害や事故、事件などの被害
- 12 恋愛・性関係
- 13 その他

▶【問17で「1 ある」と回答した方へ】

問17-2 不安や悩みについて、家族・親族や友人・知人から、相談するなどの問題解決のための手助けを受けていますか。（チェックはひとつだけ）

1 受けている

2 受けていない

【問17で「1 ある」と回答した方へ】

問18 あなたは、問17-1で回答した不安や悩みについて、行政機関やNPO等の民間団体から支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。（チェックはひとつだけ）

1 受けている → 問18-1～5へ

2 受けていない → 問18-6へ

3 わからない → 問19へ

▶【問18で「1 受けている」と回答した方へ】

問18-1 あなたはどこから支援を受けていますか。（チェックはいくつでも）

- 1 行政機関（国や自治体）
- 2 社会福祉協議会
- 3 NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 4 自治会・町内会
- 5 その他（支援者：_____）

▶【問18で「1 受けている」と回答した方へ】

問18-2 あなたはどのような支援を受けていますか。（チェックはいくつでも）

- 1 経済的な支援（給付や貸付等）
- 2 現物提供等の支援（食料品・日用品の提供）
- 3 人的な支援（世話や介護）
- 4 相談支援（助言や情報提供等）
- 5 その他（支援内容：_____）

▶【問18で「1 受けている」と回答した方へ】

問18-3 支援先を選んだ理由は何ですか。（チェックはいくつでも）

- 1 信頼できると思ったから、信頼できる人がいたから
- 2 期待する支援が得られると思ったから
- 3 支援実績があったから
- 4 県・市公認の団体だったから
- 5 支援を受けるための手続きが簡単そうだったから
- 6 相談しやすそうだったから
- 7 その支援先しか見つからなかったから
- 8 その他（理由：_____）

【問18で「1 受けている」と回答した方へ】

問18-4 あなたはどのようにして支援先を知りましたか。（チェックはいくつでも）

1 ホームページ
2 SNS
3 チラシ
4 行政等への訪問
5 その他（_____）

【問18で「1 受けている」と回答した方へ】

問18-5 支援を受けた結果どう感じましたか。（チェックはいくつでも）

1 不安や悩みを解決することができた、または解決の手掛かりが得られた
2 気持ちが楽になった
3 支援を受けても状況は変わらなかった
4 支援を受けなければ（相談しなければ）よかった
5 その他（_____）

【問18で「2 受けていない」と回答した方へ】

問18-6 その理由をお答えください。（チェックはいくつでも）

1 支援が必要ではないため
2 支援が必要だが、我慢できる程度であるため
3 支援の受け方がわからないため
4 支援を受けるための手続が面倒であるため
5 支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため
6 支援を受けると相手に負担をかけるため
7 支援を申し込んだが断られたため（支援対象外の場合を含む）
8 支援を受けても状況は変わらないと思うため
9 その他 （理由：_____）

【再び、全員の方へ】

問19 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。（チェックはひとつだけ）

1 しようと思う

→問20へ

2 しようと思わない

3 わからない

▶【問19で「2 しようと思わない」、「3 わからない」と回答した方へ】

問19-1 その理由をお答えください。（チェックはいくつでも）

- 1 自分には役に立てることがない
- 2 自分が何をすればよいかわからない
- 3 手間をかけたくない
- 4 自分で解決すべきだと思う
- 5 人に声をかけづらい
- 6 どのように接したらよいかわからない
- 7 不安や悩みの内容によると思う
- 8 負担を感じる
- 9 面倒である
- 10 誰かがやってくれると思う
- 11 興味・関心がない
- 12 そのような余裕がない
- 13 その他

【再び、全員の方へ】

問20 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。（チェックはひとつだけ）

1 決してない

3 時々ある

2 ほとんどない

4 常にある

問21 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。（チェックはひとつだけ）

1 決してない

3 時々ある

2 ほとんどない

4 常にある

問22 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。（チェックはひとつだけ）

1 決してない

3 時々ある

2 ほとんどない

4 常にある

問23 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（チェックはひとつだけ）

- | | |
|----------|---------------|
| 1 決してない | 4 時々ある |
| 2 ほとんどない | 5 しばしばある・常にある |
| 3 たまにある | |

問24 その状況（問23で回答した状況）はどの程度前から続いていますか。（チェックはひとつだけ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1 6ヶ月未満 | 5 3年以上5年未満 |
| 2 6ヶ月以上1年未満 | 6 5年以上 |
| 3 1年以上2年未満 | 7 その他 |
| 4 2年以上3年未満 | |

問25 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。（チェックはいくつでも）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 一人暮らし |
| 2 転居 |
| 3 転校・転職・離職・退職（失業を除く） |
| 4 失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む） |
| 5 妊娠・出産・子育て |
| 6 介護・介助 |
| 7 子どもの独り立ち |
| 8 家族の病気・障害 |
| 9 家族との離別 |
| 10 家族との死別 |
| 11 家族以外の親しい知人等との死別 |
| 12 家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待を含む） |
| 13 心身の重大なトラブル（病気・怪我等） |
| 14 仕事上（職場）の重大なトラブル |
| 15 人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む） |
| 16 金銭による重大なトラブル |
| 17 生活困窮・貧困 |
| 18 自然災害の被災・犯罪の被害等 |
| 19 その他の出来事（その内容：_____） |

20 いずれもない → 次ページの間26へ

→ 次ページの間25-1へ

【問25で「1」～「19」のいずれかに○を付けた（経験した出来事がある）方へ】

問25-1 現在の孤独感（問23で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。（チェックはいくつでも）

- 1 一人暮らし
- 2 転居
- 3 転校・転職・離職・退職（失業を除く）
- 4 失業・休職・退学・休学（中退・不登校を含む）
- 5 妊娠・出産・子育て
- 6 介護・介助
- 7 子どもの独り立ち
- 8 家族の病気・障害
- 9 家族との離別
- 10 家族との死別
- 11 家族以外の親しい知人等との死別
- 12 家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待を含む）
- 13 心身の重大なトラブル（病気・怪我等）
- 14 仕事上（職場）の重大なトラブル
- 15 人間関係による重大なトラブル（いじめ・ハラスメント等を含む）
- 16 金銭による重大なトラブル
- 17 生活困窮・貧困
- 18 自然災害の被災・犯罪の被害等
- 19 その他の出来事
- 20 特に影響を与えたと思われる出来事はない

【再び、全員の方へ】

問26 孤独・孤立の状態が解消（一時的な場合も含む）したとを感じる経験がある場合、それはどのようなきっかけによるものかお答えください。また、そのきっかけができたのは自発的な活動によるものか、行政等の外部からの情報提供等によるものかお答えください。（1～6について、それぞれチェックはいくつでも）

	（自発的） 経験がある	（外部から） 経験がある	消 解 し た 経 験 が な い	陥 っ た 経 験 が な い	孤 独 ・ 孤 立 に
1 相談や話ができる相手との新たな出会いがあった	1	2	3	4	
2 行政等の支援機関とのつながりができた	1	2	3	4	
3 転居等により環境に変化があった	1	2	3	4	
4 他者と交流できる場所が身近にできた	1	2	3	4	
5 時間が経過することで、自分の気持ちの変化が生じた	1	2	3	4	
6 その他の出来事（その内容： ）	1	2	3	4	

問27 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。（チェックはひとつだけ）

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 1 よい | 3 ふつう | 5 よくない |
| 2 まあよい | 4 あまりよくない | |

問28 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。（チェックはひとつだけ）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 満足している | 4 やや不満である |
| 2 まあ満足している | 5 不満である |
| 3 どちらともいえない | |

問29 新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年3月頃より前と比べて、人とのコミュニケーションにどのような変化がありましたか。

1及び2について、それぞれお答えください。（それぞれチェックはひとつだけ）

	増えた	変わらない	減った
1 人と直接会ってコミュニケーションをとること	1	2	3
2 人と直接会わずにコミュニケーションをとること （例：手紙・電話・SNS・インターネットなど）	1	2	3

問30 新型コロナウイルス感染拡大が始まった2020年3月頃より前と比べて、日常生活にどのような変化がありましたか。1～6について、それぞれお答えください。（1～6について、それぞれチェックはひとつだけ）

	良くなった	まあ良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった
1 生活全体	1	2	3	4	5
2 家族との関係	1	2	3	4	5
3 家族以外の親しい人との関係	1	2	3	4	5
4 地域・社会とのつながり	1	2	3	4	5
5 学習環境・職場環境 （学び方・働き方を含む）	1	2	3	4	5
6 心身の健康状態	1	2	3	4	5

問31 孤独・孤立状態にある方への支援で必要なことは何だと思いますか。（自由記述）

